

東洋小野梓著

國憲汎論  
中

明治十六年四月新鐫



著書之其志

隨莊



右係先大人之道里堂先人堂告梓  
曰大丈夫不能當路行其志則宜  
著書言其志梓也未能當路行  
其志則宜著書言其志也此書  
之作其意全在于茲故也集此  
七字明以原於先人戒飾之語  
云先人諱義與字比御號金水

通稱勲吉隨在甚別號也好文  
善書士佐宿毛之人嘗唱義於元  
治慶應之間不幸中途而終嗚呼  
悲哉明治十六年四月三日東洋學人  
小野梓謹識并書



國憲汎論中卷

目錄

第十七章

二百六十一丁

政本ノ職ヲ細論ス

政本ノ職權

議政官ノ選舉ハ小事ニ非ラサルヲ辨ス

國會解散ノ權ハ行政官長ノ專掌ニ歸スヘカナル所以ヲ辨ス

何者カ能ク政本ノ職ニ當ルヲ論ス

辨端ノ所説

本邦ニ在テハ天皇ト人民ト之ヲ分掌スヘキヲ論ス

字兒聖ノ駁論並ニ辨

第十八章

二百七十一丁

議政官ヲ細論ス一

議政ノ職權

其長上ナル所以  
其定分  
誰レカ其柄頭ヲ執ル  
泰西代議政治ノ沿革  
代議政治ノ本質効用  
泰西各土ノ實例

第十九章

二百八十七丁

議政官ヲ細論ス二

議院ノ單複

一局議院ノ利害

二局議院ノ利害

辨端該惠須沙兒察良瑪陳佛蘭麟亞當士乾德小彌兒李拔宇兒摩諾家ノ持  
說

二派所論ノ比較

二局議院ノ利

辨感

第二十章

三百五丁

議政官ヲ細論ス三

二局議院ノ組織

上院ノ組織ヲ論ス

上院ノ組織ニ關スル七種ノ論說

其得失

上院ノ組織ニ關スル歐米亞察各土ノ實例

第二十一章

三百三十一丁

議政官ヲ細論ス四

上院ノ特務

行政參與ノ特權

司法干預ノ特權

官吏職務罪ノ審判  
歐米各土ノ典例并ニ其批評  
職員ノ撰任

歐米各土ノ典例並ニ其批評

第廿二章

議政官ヲ細論ス五

下院ノ組織ヲ論ス一

下院ノ組織ニ係ル八種ノ問案

撰舉權ノ有限無限ヲ論ス

普通撰舉ノ得失

其二様ノ弊害

有限撰舉ノ要須

品等表章ノ三要

年齒

財産

藝業

歐米等諸洲ノ典例

第廿三章

議政官ヲ細論ス六

下議院ノ組織ヲ論ス二

撰舉ノ法規

歐米慣行法ノ多弊

多少兩數ノ併撰

六種ノ考案

立限投票法

積聚投票法

名籍投票法

中意投票法

代作投票法二種  
候補喚名ノ得失

第廿四章

議政官ヲ細論ス七

下議院ノ組織ヲ論ス三

直撰問撰ノ得失

辨端乾德小彌兒李拔ノ所說

歐米各土ノ典例

英國暗密投票ノ成例

第廿五章

議政官ヲ細論ス八

下議院ノ組織ヲ論ス四

議官ノ品等

財産ノ品等ヲ要スルノ非

四百一丁

四百十九丁

行政官吏ヲ除去スルノ不要

海外各土ノ典例

議官在職ノ期限

其長短ノ得失

改撰ノ方法

海外各土ノ典例

重撰ヲ許スノ原理

議官ノ員數

海外ノ典故

第廿六章

議政官ヲ細論ス九

下議院ノ組織ヲ論ス五

代議官ハ一地方ノ代人ナル乎將々全國ノ總代ナル乎

四大家ノ所說

四百四十一丁

泰西各土ノ典例  
代議官俸銀支給ノ得失  
小彌兒字兒聖ノ所論  
歐米各土ノ典例

四百五十七丁

第廿七章

議政官ヲ細論ス十  
下議院ノ特務  
金錢ニ係ル議案ノ起草  
政務官公罪ノ彈劾  
刑端ノ所說  
徵兵ニ係ル議案ノ起草  
議長專任ノ制  
議院ノ自撰ヲ要スル由縁  
上來數項ニ係ル各土ノ典故

四百七十一丁

第廿八章

議政官ヲ細論ス十一  
兩議院ノ通權ヲ論ス  
議案起草ノ權  
發論ノ自由  
拿捕糺治ノ免除  
撰舉ノ當否ヲ監査ス  
議則ヲ自定ス  
歐米各土ノ典例

四百八十五丁

第廿九章

議政官ヲ細論ス十二  
議會ハ開期ヲ立ツヘキ乎將タ永設ナルヘキ乎  
議會ノ議事ハ公行ナルヘキ乎將タ隱匿ナルヘキ乎  
歐米各土ノ典例



第三十章

議政官ヲ細論ス十三

會議則ノ原理ヲ釋ス

會議ノ十不便

開議ノ時刻

議官ノ登場

始議ノ員數

議長ノ撰舉

六種ノ約束

議案、發議、修正ノ宣布及ヒ其収斂

討議ノ順序

修正ノ六種

可否決ノ表明

可否ノ決定

四百九十七丁

十

委員ノ撰任

第卅一章

議政官ヲ細論ス十四

制可ノ權

訂約ノ權

開戦ノ權

諸大家ノ所說

海外各土ノ典例

五百十七丁

十一

東洋學人 小野梓 著

第十七章 政本ノ職ヲ細論ス。政本ノ職權。議政官ノ撰舉ハ小事ニ非ラサルヲ辨ス。國會解散ノ權ハ行政官長ノ專掌ニ歸スヘカラサル所以ヲ辨ス。何者カ能ク政本ノ職ニ當ルヲ論ス。辨端ノ所説。本邦ニ在テハ天皇ト人民ト之ヲ分掌スヘキヲ論ス。宇兒聖ノ駁論並ニ辨。

既ニ第十五章ニ論スルカ如ク代議人撰舉ノ事ト國會解散ノ事ハ所謂ル本國長上ノ官職ニ向テ進退ノ大權ヲ行フモノニシテ一國最重ノ大政ヲ舉クルモノナレハ之レカ柄頭ヲ執ルヘキモノ司法官ニ非ラス行政官ニ非ラス又立法官ニ非ラス三官ノ餘外猶ホ一局所アリテ實ニ之ヲ主持ス今之ヲ稱シテ政本ノ職ト謂フ故ニ政本ノ職トハ立法官ヲ組成シ及ヒ之ヲ解軀スルヲ司掌スル者ヲ謂ヒ一國最上ノ職ナリ論者動モスレハ輒チ曰ク代議人撰舉ノ事ハ是レ民間ノ一私事ニシテ只總ニ一介ノ手續タルニ過キス素ヨリ之ヲ視テ政事ト爲スヘカラスト是レ大ニ誤レリ夫レ能撰人ノ議官ヲ撰舉シテ其職ニ就カシムルハ是レ所謂ル進退ノ大權ヲ實行

スルモノニシテ之ヲ再撰セシ乎是レ之ヲ陟ホスナリ之ヲ再撰セサシ乎是レ之ヲ黜シルナリ而シテソノ陟ト黜トハ天下ノ公ニシテ進ムルト退クルトハ一國政權ノ一部ヲ行フモノナリ然ルナ今マ之ヲ稱シテ是レ民間ノ一私事ノミ天下ノ政事ニ非スト謂フ豈ニ謬誤ニ非ラスシテ何ソ哉嗚呼議官ノ撰舉ハ立法官ヲ組成スルノ核事ヲ行フモノニシテ所謂ル長上ノ威力ヲ舉ケテ之ニ與フルモノナリ其關係固ヨリ一家ノ小事ニ非ラス儼然タル天下ノ大事ナリ然ルヲ彼レ之ヲ極メス直ニ稱シテ是レ一介ノ手續ノミト謂フ是レ豈ニ謬誤ニアラサシ哉論スル者又曰ク國會ヲ解散スルハ行政官職當然ノ務ナリト是レ又非ナリ顧フニ現時泰西ノ各土ニ在テ之ヲ以テ之ヲ行政官職ノ司掌ニ歸スル者多ク然レトモ是レ偶爾此ニ至ルモノ耳余レ明ニ其理ヲ究ムルモノニ非ラサルヲ知ル既ニ論スルカ如ク國會ハ一國至重ノ位地ニシテ之ヲ解散スルハ事体ノ甚ク輕カラサルモノナリ故ニ斯權ニ當リテ之ヲ實行スルモノ必ラス立法官職ノ上ニ位レ之ヲ監臨スルモノニ非ラサルヲ得ス蓋シ其下ナルモノヨリシテ之ヲ解散スルヲセハ是レ所謂ル借越ノ業ニシテ一國ノ秩序是レヨリ亂レ又其同等ナルモノヨリシテ之ヲ解散セハ

是レ所謂ル侵掠ノ爲ニシテ立法官ノ獨立是レヨリ廢ダレハナリ顧フニ夫ノ行政官ハ立法官ノ上ニ位スルモノ乎曰ク否ラサルナリ彼レ輩口其下タルモ勢ヒ之レカ上ニ入ルヘカラス又設立ヒ立法官ニシテ其上ヲラサルモノ之レカ同等タルハ理ノ最モ親易キモノニシテ人ノ争フヲ得サル所ナリ然ルチ今之ヲ解散スルノ大事ヲ舉ケテ之ヲ行政官ノ分掌ニ歸セントス是レ豈ニ當然ノ事ナラン故若シ實ニ之ヲ以テ之ニ歸セン乎是レ借越ノ業ニ非ラスンハ必ラス侵掠ノ爲ナラン夫ノ借越ト侵掠トハ社會ノ秩序ヲ亂リ其安寧ヲ害スルヲ好マン哉然ルニ論者動モスレハ輒チ古人偶爾ノ過ヲ繼承シテ其非ヲ成サントス余レ今勢ヒ之ニ雷同スル能ハサルナリ之ヲ棄スルニ國會ヲ組成シ之ヲ解散スルハ一國ノ大事ヲ行フモノニシテ司法官其柄頭ヲ執ルヘカラス行政官其局面ニ當ルヘカラス立法官モ亦タコレニ當ルヲ得ス必ラスヤ別ニ政本ノ職ヲ設ケ之ヲシテ其局面ニ當リ以テ其柄頭ヲ執ラシメサルヲ得ス唯夫レ超シ自カラ立法ノ事ニ當ルニ至テハ万人ノ堪ヘサル所ニシテ一人ノ專ラニスヘ

カラサル所ナレハナリ而シテ民人タルモノハ議官撰擧ノ法ニ依テ立法官組成ノ職ヲ舉ケ君主タルモノハ國會解散ノ命ヲ以テ其解軀ノ務ニ服ス

辨端嘗テ自カラ問テ曰ク何者ヲシテ政本ノ職ニ當ラシメハ最モ能ク其職ヲ全フスト既コシテ又自カラ答テ曰ク一國民人ヲシテ之ニ當ラシメハ最モ能ク之ヲ全フセシテ而シテ其能ク之ヲ全フスル所以ノモノハ單一ニ之ヲ論スルハ民人ヲシテ之ニ比較セテ之ヲ論スルニ因テ之ヲ明カニス單一ニ之ヲ論スルトハ民人ヲシテ之ニ當ラシメハ果シテ能ク最大衆ノ最大幸福ヲ謀ルニ足ル乎ヲ論スルヲ謂ヒ比較セテ之ヲ論スルトハ民人ヲシテ之ニ當ラシメハ一人若クハ數人ヲシテ之ニ當ラシムルト孰レカ最モ斯職ヲ置クノ本旨ニ合フ乎ヲ論スルヲ謂フナリ何コ由テ單一ニ之ヲ論シ其能ク之ヲ全フスルヲ知ル乎曰ク通數ノ事理ニ由ルナリ曰ク特種ノ實際ニ由ルナリ何チカ通數ノ事理ニ由ルト謂フ曰ク人類ノ本性ヲ推ス是レナリ惟フニ人心ノ感動スル所ト人欲ノ嚮向スル所トヲ以テ之ヲ推スコ天下未ダ已チ害スルチ好ムモノアルヲ觀ヤルナリ何チカ特種ノ實際ニ由ルト謂フ曰ク私事ニノ經歷ニ徴シテ能ク之ヲ全フスルヲ證ス曰ク政事上ノ實際ニ徴シテ能ク之ヲ全

フスルヲ證ス余ヤ今各人ノ私事ニ就テ其代理人ヲ撰擧スルモノヲ見ルコ大抵其人ヲ誤ラヌ又チ米洲聯邦ノ政治ヲ視ルニ米人能ク保擧ノ要ヲ全フスルチ知ル是レ豈ニ私事上ニ政事上ニ其能ク之ヲ全フスルヲ徵證スルモノニ非ラザラン哉何ニ由テ比較シテ之ヲ論シ其能ク之ヲ全フスルチ知ル乎曰ク万人ノ最大衆ノ最大幸福ヲ謀ルニ熱心ナルハ一人若クハ數人ニ比シテ更ニ深甚ナルモノアルチ以テナリ願フニ二人ノ君主數人ノ政權ヲ專ラニスル者能ク最大衆ノ最大幸福ヲ謀ル之チ己レノ幸福ニ超越シメント欲スル手余レ實ニ其然ラサルチ保ス天下誰レカ己レノ幸福ヲ捨テ、人ノ幸福ヲ謀ルモノアラン哉故ニ余曰ク政本ノ職ニ當ラシメシ其歸旨ヲ全フスルモノハ唯其レ國民ヲ然リト爲スト辨端ノ論旨約チ此ノ如シ而シテ其言フ所畧ホ大休ヲ得余レ未ダ大ナル謬誤アルチ見ス然リト雖モ君民同治ノ邦土ニ在テハ多少斯説ヲ損益シ以テ其機實ノ事請ニ添ヘヤルチ得ヌ況ンヤ本邦ノ如キハ天皇斯民ノ最大幸福ヲ謀ルカ爲メニ四海ニ君臨シ給ヒ敢テ天下ヲ以テ一人ノ私ニ奉シ給ハス斯民ト同シク斯土ヲ保タヒ給フノ真謀ナレハ固ヨリ政本ノ職ヲ舉ケテ之ヲ天皇ト民人トニ歸セサルヲ得サルナリ況ンヤ且ツ余ヲ以

テ之ヲ觀レハ國會ヲ組成スルノ事ト之ヲ解軼スルノ事トヲ舉ケテ成ク之ヲ万人  
 ノ手ニ委スルハ民人專制ノ弊ヲ生スルノ基ナルヲ知ル故コ今斯ニ事ヲ割テ之ヲ  
 一人ト万人トニ分置シ一ハ以テ之ヲ組成シ一ハ以テ之ヲ解軼シ二者ヲシテ各々  
 其暴威ヲ逞スルヲ得サテシメ立法官撰舉ノ權ハ民人之ヲ專ラコシ國會解散ノ權  
 ハ天皇之ヲ掌握シ給ヒ二者相依テ政本ノ柄ヲ維持セシムルヲ善トスルナリ  
 或人曰ク民人ノ能ク政本ノ職ニ當ルヲ得ル所以モノハ既ニ其命ヲ聽ケリ惟フコ  
 一國民人ヲシテ成ク起キテ此職ニ當ラシムヘキ乎抑モ又テ限ル所アリテ之ヲ制  
 スヘキ乎曰ク制スル所アリテ之ヲ議官ノ能撰人ニ限ラサルヲ得ス而シテ其之ヲ  
 制シテ之ニ限ラサルヲ得サル所以ノモノハ普通撰舉ノ必行スヘカラサルヲ以テ  
 ナリ余レ後章議官ノ撰舉法ヲ論說スルノ條ニ於テ詳カニ普通撰舉ノ利害ヲ論  
 以テ世ニ質スモノアリ讀者請フ之ヲ參着レ以テ本文ノ意ヲ解スルアレヨ  
 宇兒聖嘗テ其期ニ及ハスシテ國會ヲ解散スルノ非ナルヲ論ヒテ曰ク中世ノ時ニ  
 當テ各國ノ君主タルモノ議院ノ己レニ同意セシコトヲ思フヤ常ニ之ヲ解散スル  
 ノ權ヲ取テ之ヲ己レノ手中ニ掌握シ以テ其意ヲ達ス降テ近世ニ及ヒテ英國君主

ノ國會ヲ解散スルモノヲ觀ルニ其權宛モ一國ノ万事ヲ變換スルノ機關ニ似タリ  
 顧フニ餘外ノ王國若クハ共和ノ國土ニ在テ宜シク之ニ倣フヘキモノ乎曰ク否ヲ  
 サレナリ設ヒ斯特權ノ舉行ニ由テ招ク所ノ不便ナカラシムルモ之ヲ今日ニ行フ  
 ハ實ニ人民自由ノ保舉ヲ費フノ本旨ニ反ケリ況ンヤ夫ノ不便甚ク多シ焉ソ能  
 シ之ヲ今日ニ倣フヘケン哉且ツ夫レ立法官ヲシテ謹慎其職ヲ執リ能ク社會ノ意  
 思ヲ稱道シ能ク其所定ヲ言明スルヲ爲サシメン乎解散ヲ要スルノ理ナシ又之ヲ  
 シテ其意思ヲ稱道セス其所定ヲ言明スルヲ爲サ、ラシメン乎行政官ハ必ラス之  
 ヲ解散スルヲ欲セス却テ其期ニ遇テ議會自カラ解軼シ去ランノニ復テ必ラス外  
 ヲリ之ヲ解散スルヲ要セサルナリ今余ヲ以テ之ヲ言ハ、ハ這般ノ權力ヲ舉ケテ之  
 ヲ行政ノ官長ニ與フルハ恰モ行政官長ヲシテ一國ノ制法者ニ對シ汝ノ會集、既ニ  
 業ニ多シ汝解シヘシト謂フヲ得セシムルカ如シ豈ニ眞誠ノ抑壓ニ非ラサラン哉  
 ト其言フ所一理ナキニ非ラス然レモ宇兒專ラコシ權ヲ舉ケテ之ヲ行政官ノ首長  
 ニ歸スルノ一點ヨリ落想ス故ニ遇テ斯極處ノ言ヲ爲スニ至レルノニ願フニ若シ  
 斯權ヲ舉ケテ之ヲ政本ノ職ニ歸ストセハ宇兒如何カ之ヲ論ス余レ其必ラスシモ

前説ヲ執持セサルヲ知ルナリ今余ヲ以テ之ヲ觀レハ不時國會ヲ解散スルノ事ハ  
 勢ノ甚ク止ムヲ得サルモノニシテ國會ノ所決ヲシテ天下ノ輿論ニ合ハシムル爲  
 メ緊切須要暫クモ欠クヘカラサルノ一大方便ナルヲ知ル余ヤ嘗テ英國ニ遊學シ  
 親シ其國會ヲ解散セシモノヲ觀ルニソノ及フ所大ニ守氏ノ所言ニ似サルモノア  
 リ唯リコレニ似サルノミナラス其勢聞ク大ニ吾人ノ意思ヲ満足シ爲メソソノ妙  
 用ヲ感セザムルモノアリ當時英國ノ宰相迪斯利士斯頓、善辯波判斷ノ事ト愛蘭士大  
 學ノ事トヲ以テ大ニ時望ヲ失シ世論又外交ノ失策ヲ咎ムル深シ然ルニ其愛蘭士  
 大學ノ議ヲ下院ニ下シテ之ヲ議セシムルヤ之ヲ非トスルモノ僅ニ二百八十七人  
 ニシテ之ヲ是トスルモノ尙ホ二百八十四人ノ多キアリ非議ノ過數僅ク三人ニ過  
 キス是ヲ以テ英人大ニ國會ノ所爲ヲ咎メ其輿論ニ添ハサルヲ議ス英國皇帝之ヲ  
 聞キ令テ下シテ其國會ヲ解散セシメ新ニ詔命ヲ發シテ議官ヲ改撰ヒシム詔降テ  
 數月各地各々其代議官ヲ保舉シ以テ詔命ニ對ヘ下院ノ議官六百五十二員ノ中ソ  
 ノ保守黨ヨリ出ツルモノ大凡ソ三百五拾一人アリ輿論深シ其民意ニ合フヲ稱ス  
 是レ蓋シ英國皇帝ノ夫ノ方便ヲ利用セシメ的例ノ一ニシテ是ノ前後又ク必ラス之

ヲ利用スルモノ多カラシ是ヲ以テ之ヲ觀レハ國會ヲ解散スルノ核事ハ寧ロ社會  
 ニ利アルモノ之ヲ害スルノ實ナク其之ヲ害スル者アルハ會々之レカ方便ヲ密用ス  
 ルノ過誤ニ出ツルヲ知ル唯ク夫レ是ヲ以テ之ヲ密用スルヲ防シノ要術ヲ求ムル  
 ハ吾人ノ一務ナリト雖也其害用アルカ爲メ其方便ヲ併セテ之ヲ棄ツヘント云フ  
 ニ至テハ余レ終ニ之ニ與ニスルコト能ハサルナリ  
 既ニ第十五章ニ説クカ如ク泰西各土ノ憲法政本ノ職ヲ明置スルモノアラズ故ニ  
 今其實例ヲ叙テ讀者ノ參照ニ供スヘキモノナシ然レトモ余ヲ以テ之ヲ觀レハ各  
 土ノ憲法大抵暗ト裏ニ在テ夫ノ政本ノ大柄アルヲ認メ議官撰舉ノ權ハ某々ノ國  
 民ニ在ルヲ言明シ國會ヲ解散スルハ君王ノ特權ナルヲ明示スル等其實顯然トシ  
 テ掩フヘカラサルヲ觀ル也

第十八章 議政官ヲ細論ス一。議政ノ職權。其長上ナル所以。其定分。誰レカ其柄頭ヲ執ル。泰西代議政治ノ沿革。代議政治ノ本質效用。泰西各土ノ實例。

隆古社會ノ未タ盛ナラサルヤ人々ノ交通自カラ疎遠ニシテ密切ナラス人情ノ變轉隨テ遲緩シ社會ノ現象殆ント不動ノ如シ是ヲ以テ政治ノ如キモ其間ニ在テ自カラ活潑ノ氣象ヲ出スヲ要セス徒ラニ舊慣古例ヲ墨守シ以テ一國ノ安康ヲ保持スルヲ得タリ唯夫レ是ノ如シ故ニ議政ノ事ノ如キハ當時殆ント無用ノ勞ニ屬シ社會ノ人未タ其效用ノ重キ所以ヲ知ルニ由ラザリキ然レモ社會ノ思想漸ク其精ヲ加ヘ人々ノ交通日々ニ密切ナルニ及ンテ人情ノ變轉月々ニ利敏ヲ致シ社會ノ多事ナル政治隨テ其煩忙ヲ加ヘ徒ラニ舊慣古例ヲ墨守シ以テ其安康ヲ保持スルコト能ハサルニ至レリ是ニ於テ乎議政ノ事漸ク其重キヲ加ヘ人情愈々變轉シテ社會愈々多事社會愈々多事ニシテ政治愈々活潑ニ政治愈々活潑ニシテ議政ノ事愈々貴トク終ニ今日ノ勢ニ馴致シ今ノ時ニ當テ文明ノ諸國大抵皆テ其事ヲ以テ治理ノ最大至要ト爲サハルモノナク一國ノ治安ヲ以テ自カラ任スル者殆ント

皆ナ競テ其位ニ居ルヲ欲スルコ至レリ  
 既ニ第十五章ニ述説セシカ如ク議政官ハ一國ノ政事ヲ商議シ諸般ノ法律章程ヲ  
 定メ及ヒ行政司法ノ二官ヲ監視スル所ヲ謂ヒ政本ノ職ニ對シテ一步ヲ讓ルノ外  
 實ニ一國官職ノ上長タリ論スル者問ク議政官職ノ上長ナルヲ難シ三柄ノ併立ヲ  
 冀フモノアリ特ニ孟的斯鳩<sup>孟的斯鳩</sup>字兒聖ノ如キハ最モ斯說ヲ是トシ稱道自カラ措カス  
 以爲ラク三柄ノ併立ニアラサレハ一國ノ治安得テ保ツヘカラスト特トニ三柄ヲ  
 併立セシメハ政治統一スル所ナク終ニ大亂ニ終ハルコトヲ知ラサルナリ辨<sup>辨</sup>當  
 テ孟的斯鳩ノ說ヲ晒テ曰ク彼レ孟氏未ダ明ニ議政ノ何者タルヲ知ラス敢テ此說  
 ナ作ル知ラスヤ君カ一政府ヲ三分シテ恐怕榮名智德ノ三部ト爲スノ說ハ早ク既  
 ニ老ヒ去テ今盛ナラス六十年來人々ソノ無稽ヲ證スルコトヲ冷語瀝キテ孟氏  
 地下ノ夢ヲ覺マシ後人爲メニ其說ヲ解ク獨リ如何セン字兒聖ノ徒猶ホ三柄併立  
 ノ說ヲ稱道シテ未ダ止マス爲メニ後世ヲ誤マルモノ多ホシ三柄並ニ併立セシム  
 ヘケンヤ若シ之ヲ併立セシメン平政治統一スル所ナク天下終ニ大亂ニ終ハラフ  
 ノミ是レ三大官職ニ就テ長上ノ職ヲ立テ之ヲシテ政治ノ統一ヲ謀ラシメタルヘ

カラサル所以ニシテ議政ノ官實ニ其當ナリ而シテ余ヲ以テ之ヲ首ヘハ夫ノ政本  
 ノ職ノ撰舉ヲ受ケ其解散ニ從フヲ除クノ外議政ノ官職ヲシテ其行爲ノ自主ヲ得  
 セシメ外ヨリ之ヲ盡限スヘカラサルヲ知ル<sup>知ル</sup>當テ曰ク議政官タルハ自在ニ行  
 爲スルヲ得セシムヘキノ理多ホレ而シテ其最要ナルモノヲ謂ヘハ之ヲシテ最モ  
 能ク一國ノ輿望ニ副ヒ最モ能ク其民人ノ利便ヲ謀ルニ足ラシムルニ在リト今引  
 テ以テ余カ說ノ據ル所アルヲ示ス駁スル者問ク議政官職ノ撰舉ヲ怕レ爲メニ首  
 ナ爲スモノアリ曰ク議政官モ亦人ナリ若シ一旦其職ニ當リ己レ自在ニ行爲ス  
 ルヲ得外ヨリ之ヲ撰舉スルナクソハ彼レ必ラス人類ノ本性ヲ暴露シ大ニ其政柄  
 ナ弄ハンは是レ豈ニ一國ノ利便ト謂フヲ得ヤト願フコ是レ全ク非ナク然レト  
 モ世未ダ其撰權ヲ防止スルノ術ニ乏シカラス夫ノ在職ノ期ヲ一定シテ必ラス之  
 ナ改撰シ又時ニ臨ンテ之ヲ解散スルカ如キ皆ナ是レ其撰權ヲ防止スルノ要術ニ  
 シテ其效頗ル多キヲ見ル若シ夫レ然ラハ議政ノ官職ヲシテ其行爲ノ自主ヲ得セ  
 シムルモ余レ未ダ其撰權ヲ弄フノ怕アルヲ見サルナリ是ニ於テ乎願<sup>乎願</sup>トテ泰西各  
 土ノ實例ヲ索ムルニ英國ノ制最モ近キヲ見ル



英國ノ大家鴻句曰ク議會ノ權力ハ至重至大ニシテ未ダ嘗テ其界限ヲ立テスト  
 後チ親刺屈斯頓其義ヲ布演シテ曰ク斯重大ノ權力ハ萬國ノ政体ニ於テ必ラス  
 之ヲ何處カニ歸セサルヲ得ス而シテ我大英王國ハ實ニ其憲法ヲ以テ之ヲ議會  
 ニ歸スト加之近時ノ慣例ニ據ルニ行政ノ大臣ニシテ議會ノ信用ヲ失スレハ必  
 ラス其職ヲ去リ對面ノ黨派其職ヲ襲クヲ恒トス是レ實ニ議政官職ノ上長ヲ是  
 認シ之ヲ實行スルモノニシテ英國大政ノ機樞實ニ此間ニ在テ運轉シ國土ノ治  
 安民人ノ繁榮一ニ此一邊ニ繫レリ蓋シ又妙用ト謂フヘキナリ是ヲ以テ餘外ノ  
 國土ニシテ若シ其國ヲ英國ノ治平ニ致シ其民ヲ英人ノ安康ニ置カント欲セハ  
 宜シク此善美ノ慣例ヲ襲用シ以テ其妙用ヲ全フスヘキナリ  
 議政官ノ長上ナル所以方々ニ此ノ如シ然レトモ自カラ行政ノ事ニ從ヒ自カラ法  
 律ノ司持ニ當ルハ是レ其分ヲ踰ユルナリ是レ政柄總共ノ弊ニ陷ルナリ況ンヤ且  
 ツ行政司法ノ事共ニ其特種ノ實驗ヲ要シ自カラ議政官ノ本質ニ合ハサルモノア  
 リ故ニ夫ノ行政司法ノ二事ヲ舉ケテ之ヲ其當該ノ官職ニ全歸シ自カラ其間ニ干  
 涉セサルハ勢ノ甚ク已ムヲ得サルモノ也小彌兒嘗テ之ヲ論シテ曰ク政ヲ令スル

ト政ヲ爲スト其原ト同シカラニ同一ノ人同一ノ黨能ク萬事ヲ令スルヲ得ルモ能  
 ク咸ク萬事ヲ爲スヲ得ス一軍ノ將帥ニシテ自カラ隊伍ニ列テ親シク戰闘ヲ試  
 ハ必ラス進退離合ノ節度ヲ誤ラシ一隊ノ常人ニ於ケルモ亦ク復ク此ノ如ク願フ  
 ニ甲ノ事ハ一隊ノ人ニ非ラスニハ能ク之ヲ爲スヲ得サルモ乙ノ事ハ一隊ノ人ヲ  
 以テ之ヲ爲スヲ得サルモノアリ夫ノ施政ノ事ノ如キ議會最モ之ニ當ルニ適セス  
 素ヨリ施政ノ細巨ヲ議シテ之ヲ當該ノ官職ニ指揮スヘキモノニアラサルナリ蓋  
 シ施政ノ事ハ一種特別ノ慣行要義アリテ之カ實驗ヲ要スルモノナレハ苟クモ其  
 事ニ習熟スルニアラサルヨリハ終ニ善ク之ヲ處措スルヲ得サルモノナレハナリ  
 ト蓋シ此ヲ謂フナリ

議政官ノ職權概テ上文ノ如シ而シテ一國ノ中誰レカ能ク其柄頭ヲ執ル曰ク政体  
 ノ如何ニ由テ之ヲ執ルモノニ種族ヲ殊ニス而シテ君民同治ノ國土ニ在テ君主ト  
 國會ト相倚テ之ヲ持シ二者諧同シテ其權ヲ舉クヘキノ理ハ殆ント是レ自證必然  
 ノ者ニシテ今更ニ其然ル所以ノ理ヲ述說スルヲ要セサルカ如シ依テ願ミテ泰西  
 各土ノ憲法ヲ釋スルニ之ヲ實行スルモノ英守以下其邦土ニ在シカフサレタ見ル

請フ今其一ニテ舉ケム

英國ノ憲法ヲ纂輯スル者(法律博士武兒無)曰ク英國議會ノ原質ハ君王、貴族、俗  
貴族及ヒ庶民ヲ謂ヒ四者相倚テ本土議政ノ一躰ヲ成スト以テ其制ノ如何ヲ見  
ルヘシ

李恩士憲法第六十二條ニ曰ク立法權ハ國王ト兩院ト共同シテ之ヲ行フ其新法  
ヲ發スル毎ニ必ラス國王ト兩院ノ諧同ヲ要ス又是班牙憲法第十二條ニ曰ク法  
制ヲ定置スルノ權ハ國會ト國王ニ屬スト又葡萄牙憲法第十三條ニ曰ク立法權  
ハ國王ノ制可ヲ請フノ外總テ國會ニ屬スト加之白耳義、巴威客、朔遜海斯、丁林、伊  
太利等ノ憲法皆テ議政ノ權ヲ舉ケテ之ヲ國王ト議會トニ歸シ憲章明ニ之ヲ首  
明ス又其偶然ニアラサルヲ見ルヘシ

議政ノ大柄ヲ舉ケテ之ヲ國王ト國會ニ歸スルノ實例方サニ此ノ如シ而シテ特ニ  
本邦ニ在テハ最モ能ク此實例ヲ襲用セサルヲ得ス蓋シ差人議政ノ法ヲ採テ獨裁  
ノ短所ヲ補ヒ其足ヲサルヲ充クサント欲スルハ我后即位以來始終不渝ノ宸慮ニ  
シテ我儕臣民ノ宜シク翼贊シ奉ルヘキモノナレハナリ余是ニ於テ乎先ツ泰西ニ

在テ代議政治ノ前進セシ蹤跡ヲ叙テ而シテ後テ議會ニ關スル事項ノ細故ニ及ハ  
ントス

孟的斯鳩嘗テ曰ク代議政治ノ種子ハ早ク既ニ播轉シテ日耳曼ノ山中ニ在リト是  
レ思頓種族ノ會議シテ事ヲ行ヒシヲ稱スルモノコレテ代議政治ノ濫觴實ニ茲ニ  
在リ降テ查列曼帝ノ時ニ及ヒテ帝政ノ寛大ナル漸ク其種子ノ成育ヲ幫助セリ史  
ニ稱ス帝其法令ノ必行センコトヲ欲スルヤ時々使テ四方ニ遣ハシ其貴族民人ニ  
就テ之ヲ議シ並ニ新法ヲ布告シ聽訟斷獄ノ事ニ從ヒ哀訴ヲ聞キ款贖ヲ受ケシム  
而シテ朝使ノ來ルヤ各地ノ豪族相會シテ之ヲ迎ヘ又之ヲ時トシテ課税ノ得失ヲ  
公議シ併セテ公益ノ事ヲ建議セリト是レ實ニ公議ニ與カシサレハ納租ノ責ナシ  
ト謂フ所以ノ本原コレヲ後世代議政治ヲ道フモノ皆テ帝ヲ稱シテ其鼻祖ナリト  
謂ヘリ然リト雖ヒ中世ノ所謂ル會議ナルモノハ多クハ貴族ノ會聚コレヲ頗ル限  
ル所アリ漸ク降テ千三百年代我後伏見帝御宇先後ノ頃ニ及ヒテ大都府ノ人民始  
メテソノ代議人ヲ出スノ權ヲ得都府ノ勢愈々進シテ其廣キニ赴キ遂ニ通般ノ民  
人ヲシテ其權ヲ分ツヲ得セシメタリ特ニ英國ノ如キハ國王夙ニ一國ノ俊才ヲ集

同シソノ議ヲ聞キ以テ行政ノ事ニ從ヘリ後チ一千二百十三年我順德帝建保元年ニ至テ王約翰詔ヲ下シテ地方ノ豪族武士ヲ召集シ事ヲ議セシメ二年ヲ越ヘテ又侯伯チ魯仁米士ニ會シ夫ノ大憲章ヲ約セリ而シテソノ憲章ニ宣明シテ曰ク國王一身ノ消費及ヒ太子ヲ立テ嫡女ヲ尙スルノ費用ニ供スル時ノ外ハ本國ノ會議ヲ經ルニアラサレハ一切ノ賦課ヲ爲スヲ得ス但ク國王一身ノ消費等ニ供スルモノト雖モ必ラス非理ノ事アルヘカラスト之ニ加フルニ會議ヲ組織スル所以ノ法等ヲ申明シテ曰ク上文言フ所ノ三費途ノ外賦課ノ事アルニ當テ本國ノ會議ヲ開ク時ハ時日ト場所トヲ定メ大僧正僧正長老伯爵併ニ男爵ノ貴族及ヒ公領ノ日代ヲ召集スヘシ但タ之ヲ召集スルハ必ラス其事由ヲ言明シ會集ノ同議ニ取テ之ヲ決スヘシト是ニ由テ之ヲ觀レハ大憲章ノ所謂ル本國ノ會議ナルモノハ王國會計ノ事ヲ議スルヲ以テ其歸結ト爲シ貴族ト公領ノ地頭トヲ會シタル者コレヲ未タ人民ノ代議人ヲ會セシモノト謂フヘカラスト降テ顯理二世即位ノ十三年ニ及ヒテ大會議ヲ琳閣倫ニ開キ各地武士ノ代議人ヲ會ス足レヨリ先キ地方ノ豪族相集テ威美須土兒ニ會スルヤ國王約スルニ琳閣倫ノ大會議ヲ開クヲ以テシ某々ノ地頭ニ

命シ其地ノ兵士ト善人トヲシテ武士四人ヲ撰舉セシム遂ニ是ニ至テ之ヲ會ス斯會ヤ元ト某々地頭ノ大憲章ニ違フテ告訴スルカ爲メニ開設シ兼ヨリ一時ノ會聚タルニ過キカリシト雖モ其之ヲ以テ代議ノ意思ヲ前進セリトタルハ頗ル其大ナルヲ見ル蓋シ善人ノ字義甚タ廣漠ナルヲ以テ殆ント全地方ノ人衆ヲシテ之ニ當ルノ便ヲ得セシメタレハナリ踵テ顯理三世即位ノ三十八年ニ及ヒテ又代議會ヲ開ク然レトモ當時徵集ヲ受クル者殆ホ各郡ノ武士ニ止テ未タ市府ノ民人ニ及ハス居ルコト四年又詔シテ各郡ヲシテ四名ノ武士ヲ撰舉セシメ各地ノ疾苦ヲ問ヒコレヲ翌年集同ノ議會ニ報告セシム斯ノ如クニシテ代議ノ意思漸ク英人ノ間ニ進歩セシト雖モ其完全ノ境域ニ達シタルハ猶ホ數年ノ後ニアリ一千二百六十四年我龜山帝文永元年英王顯理ノ擒ハルヤ英國政府ハ王名ヲ以テ國會ヲ召集シ貴族僧官ハ身ヲ以テコレニ列シ各郡ハ勳王ノ武士二名各市府ハ方正ノ市民二名ヲ差遣セシム是ニ於テ乎英國代議ノ制漸ク其完全ニ近クヤ在都翁士一世ノ治ニ及ヒテ更ラニ之ヲ完備セシム王即位ノ二十三年佛王兵ヲ舉ケテ英國ヲ侵ス其急ナルニ當テヤ王令ヲ發シテ議會ヲ召集ス詔シテ曰ク凡ソ法制ハ國民一般ニ關涉

スルモノニシテ君王之ヲ立テ國民一般ノ同意ヲ得テ始メテ正當ト稱スヘシ又ク  
 社會全般ノ危害ハ社會全般ノ力ヲ以テコレヲ防禦スヘシ是ヲ以テ朕今汝有衆ヲ  
 會シテ其事ヲ議セシム汝有衆夫レ能ク之ヲ體セヨト是ニ於テ平議會ノ權漸ク全  
 國通般ノ政事ニ及ヒ終ニ進ンテ今日ノ勢ヲ致セリ  
 歐洲大陸ニ在テモ亦均ク代議ノ意思ヲ培養シ其貴族ヲ會シ其平民ヲ聚ムル  
 者頗ル多シ而シテ亞良民王國ノ制ヲ以テ最モ古シトス史ニ據ルニ曰ク亞良民ノ  
 議會ハ貴族僧官及ヒ國邑ノ代議官ヲ以テ之ヲ組成シ其勢恒ニ國王ニ勝ルト世ニ  
 議會ノ國王ニ呈セシ文書ヲ傳フ中ニ言ヘルアリ曰ク吾儕ハ陛下ト均勢ノ權ヲ保  
 持シ或ハ陛下ニ勝ルアリ吾儕實ニ陛下ヲ立テ、ソノ位ニ居ラシム而シテ陛下ヲ此  
 位ニ登スモノハ陛下ヲシテ吾儕ノ權利ヲ保護セシメント欲シテナリ故ニ陛下ニ  
 シテ吾儕ノ權利ヲ保護スルヲ爲サス自カラ放肆スルアツハ吾儕ハ始メヨリ陛下  
 ヲ立テ、斯位ニ即カシメサルナリト以テ其權勢ノ盛ナルヲ見ルヘシ降テ一千百  
 六十九年(我高倉帝嘉應元年)頃ニ及ヒテ加須知流ニ四十七市ノ代議人ヲ會集セ  
 シコトアリ後チコレヲ増加シテ九十市府ノ多キニ至リ一千五百年代ニ至テ其數

漸ク増加シテ貴族僧官ニ陪從スルニ至レリ然レトモ後チ國王ト權ヲ爭フテ勝  
 ス終ニ其勢ヲ失ス

一千二百三十一年我後堀川帝寛喜三年ノ頃ヨリ二百五十年我後深卿帝建長二年  
 ノ頃ニ至ルマテ佛國ノ諸王モ亦各市ノ民人ヲ召集シ以テ其扶持ヲ請ヘルアリ  
 降テ一千三百二年(我後二條帝乾元元年)ニ及ヒテ比利弗拉達兒令テ下レテ貴族僧  
 官平民ヲ召同シ幕仁不威須八世トノ執拗ヲ善處セシメテ後チ路易十世十三世  
 十四世十五世及ヒ十六世ノ朝ニ歷テ租稅ヲ課賦スルノ權ハ恒ニ夫ノ三族議會ノ  
 掌握ニ歸シ之ヲシテ之ヲ議定セシメテ然レトモ革命ノ騷亂ニ遇テ中ヨリ代議  
 ノ制ヲ廢シ一千七百八十七年(我光格帝天明七年)二月會集ノ國會ト雖モ猶ホ未タ  
 代議ノ實アラス其代議ノ實アリシハ同年七月通敏州ノ議會ニ始メテ爾チ弗列能  
 州ノ各州ニ請フテ其貴族僧侶庶民ノ代議人ヲ會セシヨリ漸ク古時三族議會ノ制  
 ヲ復スルニ至リ代議ノ政遂ニ舊ニ復ス

一千二百六十六年(我龜山帝文永三年)ノ頃ニ當テ弗魯達斯共和政治ノ盛ナリシハ  
 代議政治ノ勢力ヲ進推セシメタル者ト謂フヘシ今志須門智ノ記スル所ニ據テ之

ナ言フコ弗密連斯ノ民人ヲ十二分セテ各々其黨社ヲ結ハシメ各々便宜ノ地ニ就  
 テ之レカ會館ヲ建テ其代議人ヲ集メテ諸ノ利害ヲ公議セシメ又行政ノ地則チ撰  
 舉シテ其施政ニ從事ヒシメリト以テ其跡ヲ見ルヘシ  
 是ノ時ニ當テ北米殖民ノ各地モ亦漸ク代議ノ政ヲ行ヒ遂ニ米洲聯邦ノ憲法ヲ大  
 成シテ大ニ其意想ヲ前進セリ爾來宇宙ノ政治日々ニ代議ノ方位ニ傾嚮シ降テ一  
 千八百年代ノ時紀ニ及ヒテ歐洲大陸ノ各土相踵テ立憲ノ政治ヲ行ヒ荷蘭、葡、牙  
 西班牙、瑞士、伊魯西、埃地利、白、日、義、ノ諸國皆チ其憲法ヲ制定シ國會ヲ開クニ至レリ  
 加之南米、泰、亞、三洲ノ殖民皆チ各々其憲法ヲ建テ之レカ國會ヲ開設シ今ノ時ニ當  
 テ海外萬國ノ中野蠻暖昧ノ種族ト魯細亞、土耳其、格、波斯、滿、清、暹、羅、ノ數國ヲ除却スル  
 ノ外所在ノ邦土大抵皆チ國會ヲ開キ一國ノ政ヲ公議セサルモノナク宇宙内ノ輿論  
 翁然トシテ代議ノ政治ヲ冀ヒ夫ノ魯細亞ノ如キ土耳其格ノ如キ強チ之ニ抗スルモ  
 ノト雖モ漸ク抑サレテ之ニ抗スルコト能ハス今ノ勢チ以テ之ヲ推スニ魯土ノ國  
 會ヲ開クニ至ル其期甚チ遠カラサルヲ知ル也嗚呼民ノ自治ヲ冀フハ性ナリ性  
 ニ之ニ抗スヘケンヤ然ルニ世ノ運セサル者動クモスレハ斯民人自治ノ氣象ヲ抑

ヘテ之チ奴隸シ役セシコトヲ冀ヒ日々ニソノ抑制ヲ勉メ以テ自カヲ得タリト爲  
 ス抑モ是レ誤レリ設ヒ若シ其一時ヲ苟偷スルヲ得ルモ一國ノ禍亂早ク既ニ此中  
 ニ生シ愈々抑ヘテ愈々激シ其極ヤ巴黎滿城ノ慘毒ヲ致スハ天下具腦ノ人皆チ知  
 ル所ナリ我儕之ヲ思フ毎ニ未ダ會テ手ニ汗シ心ニ恐レスンハアラサルナリ然ル  
 ニ今ヤ我邦聖天子ノ出ルアルニ遇ヒ大詔一降國會開設ノ期定マル惟フニ今後朝  
 野ノ臣民ニシテ能ク之ヲ對揚スルヲ爲サシメハ万世ノ後チ必ス斯ノ慘劇ノ因チ  
 キヲ知ル蓋シ我儕日本國民ノ最大幸慶ナリト謂フヘシ  
 余ハ此章ノ述説ヲ擱ムルノ前ニ當テ代議政治ノ本質ト其効用ノ如何トヲ約論シ  
 第十九章以下ヲ叙ツルノ地步ヲ爲サント欲ス蓋シ又無用ノ辨ニアラサルヲ知  
 ナリ美良房嘗テ佛蘭西人ニ告テ曰ク代議會ノ國民ニ於ケルハ恰モ地圖ノ土地ニ  
 於ケルカ如シ地圖能ク土地ノ景狀位地ヲ示シ能クソノ全局ヲ表ハス夫ノ議會モ  
 亦ク斯ノ如シ彼レ誠ニ民人ノ縮圖ナリ其民人ノ持論、氣象、意思ヲ表章スルノ狀殆  
 ント地圖ノ山谷、湖川、林野、都邑ヲ表示スルカ如シト數句ノ譬喻能ク得テ代議政治  
 ノ本質ヲ言明シ又一語ヲ副ユルヲ要セス但チ其効用如何ヲ説クニ至テ世ノ學者

或ハ之ヲ輕視スルノ狀アリ辨端曾テ議政ノ權ヲ舉ケテ直ニ之ヲ全般ノ民人ニ與  
 フヘカラサル所以ヲ説テ曰ク大衆會同ノ不便一ニシテ足ラス而シテ其時ヲ得サ  
 ルヲ以テ最ナリトス夫レ一國ノ存スルハ私家ノ職業アツテ社會ノ皆類、盈足スル  
 ニ由ル耳然ルチ今民人各々政治ノ事ニ從ハシテ彼レ必ラス私家ノ業ヲ執ルチ得  
 ス社會隨テ窮乏ヲ告ケ一國終ニ亡ヒン是レ時々其代辦ヲ撰ンテ專ラニ政治ノ事  
 ニ從ハシムルヲ要スル所以ニシテ代議ノ政由テ起ル所ナリト須天倫セ亦タ曰ク  
 民人ノ親政ハ唯リ狭小ノ市邑ニ行フヘクシテ之ヲ廣大ノ邦國ニ行フヘカニス大  
 國巨邦ノ民人能ク撰托代議ノ政ヲ利用シ以テ親政ノ用ヲ爲スチ出故ニ代議ノ政  
 治ハ政体ノ一種ニアラスシテ實ニ合衆ノ政体ヲ實施スルノ器械ナリト曾テ民人  
 自集ノ不便ヲ避クルヲ以テ代議政治ノ特一效用ト爲スカ如シ然レトモ是レ其一  
 ヲ知テ未タ其二ヲ知ラサルノ見耳惟フニ民人自集ノ不便ヲ避クハ其效用ノ次  
 ナルモノナラム今余ヲ以テ之ヲ言ヘハ設ヒ若シ事實ニ於テ民人自カク會集スル  
 チ得ルト爲スモ之ヲ會シテ直ニ政事ヲ議セシムルハ所謂ル万人抑壓ノ弊ヲ披ス  
 ノ基ニシテ天下ノ不便是ヨリ大ナルハナキチ知ル抑モ代議政治ノ社會ニ效アル

所以ノ最大至要ハ一人ノ專制ト万人ノ抑壓ヲ箝制調理シ以テ其宜ヲ得セシメ  
 ト欲スルニ在リ而シテ法制無上ノ實誠コ一人ノ專制ト万人ノ抑壓ヲ箝制調理ス  
 ルニ在ルヲ知ル李振嘗テ曰ク民人ノ親政ハ自主ノ對政ナリ吾人若シ權力ヲ分  
 シテ之ヲ能撰所撰ノ二部ト爲シ一ハ撰舉シテ之ヲ托シ一ハ撰舉セラレテ信任  
 受ケ各々限リ所アルニアラサレハ專制ノ弊終ニ避クヘカクナルナリ夫レ專制ハ  
 保護ノ對面ニシテ保護ハ自主ノ一大要質ナリ而シテ夫レ信任受托ノ人實ニ代議  
 政治ノ價值ヲ貴トフス願フコ人々自任ノ心切ナルハ信任付托ノ事アル時ヨリ切  
 ナルハナキ試ニ大衆雜沓ノ中ニ就テ急ニ一人ヲ擇ヒ之ヲ以テ一事ノ委目ニ充テ  
 大衆ノ爲メニ其利害ヲ商量セシメヨ彼レ必ラス其責ノ重キニ感シ自カラ任スル  
 深カラム今ノ時ニ當テ合衆ノ躁暴ヲ和ケ君主ノ執拗ニ克ツ所以ノ要術唯テ撰托  
 代議ノ政治アルノミト蓋シ之ヲ謂フナリ

第十九章 議政官ヲ細論スニ。議院ノ單複。一局議院ノ利害。二局議院ノ利害。辨端該惠須陟兒察其瑪陟佛蘭麟亞當士乾德小彌兒李拔宇兒李諾家ノ持說。二派所論ノ比較。二局議院ノ利。辨致。

國會ハ一局ヲ以テ之ヲ成スヘキ乎將々二局ヲ以テ之ヲ成スヘキ乎ノ一問ハ近時  
 說者ノ爭フ所トナリ新紙ニ演說ニ之ヲ論スルモノ頗ル多ク器々然トシテ左是  
 右非未タ決スル所アラサルナリ蓋シ國會ノ單一ヲ是非スル其山來甚ク遠ク實ニ  
 一朝一夕ノ事ニ非ラサルナリ特ニ米洲聯邦獨立ノ前後ニ當リテ歐洲大陸諸家ノ  
 議論最モ世間ノ意想ヲ提醒シ米洲ノ大家之ヲ駁論セシカ如キハ世人ノ記憶シテ  
 忘ル、コト能ハサル所ナリ爾來之ヲ論スルモノ歐米ノ間ニ多ク宇内ノ論未タ決  
 スル所アラサルナリ然レトモ其大躰ニ就テ之ヲ論スレハ佛國人種ハ概テ國會ノ  
 單一ヲ冀フモノ、如ク英國人種ハ其重複ヲ是トスルモノ、如シ是ヲ以テ斯切要  
 ノ一問ヲ論決スルノ用ニ供スル爲メ先ツ二論派ノ主張スル所ヲ序テ五ニ其利害  
 ノ所在ヲ明示スルハ本論ヲ述說スルノ途ニ於テ徒爾ノ勞無益ノ業ニアラサルヲ  
 信スルナリ

辨端ハ英國ノ碩學ナリト雖モ其説多ク佛蘭西人ニ重セフレ特ニ國會組成ノ説ノ如キハ嘗テ佛人ノ爲メニ其一局ナルヘキヲ説キ自カラ佛蘭西論派ノ巨擘ト爲ス今其説ヲ節畧スルニ即チ曰ク國會ヲ組成スルニ當テ第一局所謂下議院以外猶ホ別ニ一局ヲ置ント欲セハ之ヲシテ民人ト其利害ヲ共ニセシムル乎將ク之ヲシテ之ヲ共ニセシメサルノ二途ニ外ナラス然レモ民人ト其利害ヲ共ニセシメサル一種ノ議政官アルハ最大衆ノ最大幸福ヲ謀ル所以ノ謂ニ非ラス況ンヤ且ツ夫ノ貴族ヲシテ斯大權ヲ世世攬包セシムルカ如キハ百害有テ未ク一利アルヲ見ハ天ノ豺狼ハ人ヲ害スルモノナリ然レトモ之レヲ殺セハ時アツテ盡キ其皮用フヘシ但テ上院ノ貴族ハ否ラス其社會ヲ害スル豺狼ニ過クルアルモ勢之ヲ殺スラ得ス設ヒ若シ之ヲ殺スヲ得ルトスルモ其皮ハ用フヘカラス故コ今ノ時ニ當テ吾人ノ決スヘキ問案ハ若シ夫ノ第二局ヲシテ民人ト其利害ヲ共ニセシメハ之ヲ組成スルモ社會ニ害ナキ乎ニ在リ曰ク是レモ亦非ナリ其害蓋シ一コシテ是ヲサレナリ請フ一々之ヲ舉ケン曰ク無益ニ時ヲ消費スルナリ蓋シ二局ノ討議ヲ經ルニ當テ許多ノ日子ヲ徒費セシムレハナリ曰ク無益ニ國幣ヲ消費スルナリ蓋シ第二局ノ

議官ニ對シテ多少ノ給與ヲ爲サ、モヲ得サレハナリ曰ク少數ノ説ヲシテ多數ノ説ニ勝ツヲ得セシムルコトアルヤ必セリ蓋シ第二局多數ノ意見第一局ト合ハサルニ當テ第二局中自カラ第一局トソノ意見ヲ同フスルモノアルヘケレハナリ曰ク政治ノ混擾攪雜ヲ免カレサルヘシ抑モ政治ノ單純ナルハ吾人ノ夙ニ期スル所ナリ然レテ今之ヲ混擾攪雜セシムルアリ豈ニ可ナラン哉凡ソ是ノ數者ハ實ニ是レニ局議院ヲ置クノ害ニシテ勢ヒ之ヲ設置スヘカラスナルナリ嗚呼國會二局アルヲ要セス否ナニ局ヲ置クヘカラスナルナリト亞邊該惠須モ亦ク一局ノ議會ヲ冀フモノナリ而シテ其之ヲ冀フノ理極自カラ辨端ニ異ナレリ今其説ヲ要畧スルニ彼レ曰ク凡ソ一社會ノ人民ハ同一ノ問案ニ關シ同時ニ二様ノ意思ヲ有スルモノニ非ラス故ニ議會ノ如キ民人ノ意思ヲ代表スルモノハ勢ヒ一局ナラサルヘカラス若シ二箇ノ議局ノ設クルアラン乎是レ社會自由ノ活動ヲ阻止スルモノナリト佛兒蒙ハ佛國ノ政家ニシテ一局議會ヲ主張セシモノ、且テ其心ヲ奪テ博士佛來須ニ與ヘテ曰ク僕近來米洲各邦ノ憲法ヲ見ルニ多ク我心ヲ厭カシムルニ足ラス惟フニ彼レ深ク其得失ヲ究メス漠然英國ノ制度ニ擬倣セリ是ヲ以テ英國ノ



上下二院ト君主トヲ立ツルヲ見ルヤ彼レ直ニコレニ模倣シテ代議院元老院及ヒ大統領ヲ置キ未ク曾テ政權ヲ聚合シテ之ヲ一箇ノ中心ニ集ムルヲ爲サス夫ノ英國ニ在テ主權ノ強大ヲ箱制スルノルニ三權分立ノ制ヲ採リ之ヲ民人平等ノ共和國ニ用井却テ貴賤分別ノ弊害ヲ基スルカ如キハ誠ニ奇異ノ事ト謂フヘト良瑪陳モ亦熱意シテ一局議院ノ利アルヲ説ケリ嘗テ馬魯士ニ答ヘテ曰ク議院ノ一局ナキヘキハ政柄ノ總共ヲ尙フモノニ冀望スル所ナリ而シテ苟モ議政ノ大權ヲ舉ケテ之ヲ一所ニ集ムルナカラシ平夫ノ卑弱ノ議政官ヲ轉シテ之ヲ尊大無上ノ議會ト爲スヲ得スト加之米國ニ在テハ佛蘭麟ノ如キ夙ニ議院ノ一局ナラシトシテ冀ヒ共佛蘭西ニ使スルヤ附兒蒙ト論シテ大ニ相悅ヒ終ニ其説ヲ施シテ之ヲ邊西威業ノ邦憲ニ行ヒタリ氏曾テ人ニ問テ曰ク既ニ馬ヲ車前ニ施ス奚爲レシ又之ヲ車後ニ繫キ此轍車ヲ對面ノ方位ニ牽カシメント欲スト其二局議院ト非トスルノ意自カラ言外ニ顯ハレ其附兒蒙ト互ニ語テ相悅フ誠ニ故アルナリ

上來ハ議院ノ一局ナラシトシテ冀フ者ノ説ナリ今ヤ又考察ノ歩武ヲ轉シ其二局ナラシトシテ冀フ者ノ説ヲ釋スルニ亞登士乾德小彌兒以下其人ニ乏カカラサル

ナリ大統領亞登士嘗テ米洲建國法ノ穩當ナルヲ辨シ其一局議院ヲ退ケテ二局議院ヲ採ル所以ノ理ヲ説クヤ甚タ詳ナリ博士乾德更ニ之ヲ祖述シテ曰ク議政官ヲ分テ二局ヲ置クノ理ハ米國民人ノ通般ニ許ス所ニシテ實ニ善美ノ政策ニ出テ實驗ノ明徴アルニ依ル而シテ其之ヲ分置シテ二局ト爲シ相分別シテ事ヲ議セシムル所以ノモノハ一局議院ノ弊害甚タ著大ナルヲ以テナリ今余レ實驗ニ據テ之ヲ考フルニ急激狂猛ノ感動アルハ一局議院ノ弊ナリ感情私意偏見ニ迷ヒ一二有力家ノ勢威ニ壓セラレ政黨ノ詭計ニ陷テ急忙ニ事ヲ決シ易キハ又一局議院ノ害ナリ二局ノ議院ヲ設ケ法制ヲ議セシムルモノハ則チ否ラスソノ議ヲ爲スヤ二局共ニ之カ源由ヲ明知シ互ニ其得失ヲ究極シ甲局會ニ決テ讓レハ乙局之ヲ正シ能シ其中庸ヲ保ツテ得爲メニ國ヲ利スル多シ是レ夫ノ一局ノ議院ヲ排シ二局ノ議院ヲ分置スル所以ノ首要ナルモノニシテ蓋シ其當ナリ邊西威業卓爾治亞二邦ノ邦會ハ原ト一局ヲ以テ之ヲ組成セリ然レトモ議事ノ不穩ニシテ其狂暴ナル大ニ世議ヲ招キ二邦ノ民又其虧歛アルヲ思フヤ後チ邦憲ヲ改定スルコ及ヒテ更ニ元老官ヲ置ケリ而シテ政治上一局議院ノ巨害アルヲ證明スルモノハ中世ノ時ニ當テ

伊太利諸邦ニ建立セシ共和ノ政治ヨリ明カナルハ莫シ若シ彼レ一様ニ一局ヲ以テ國會ヲ組成シ又一様ニ其患難ヲ招キ又一様ニ不祥ノ終ヲ爲ヒシニ非ス哉ト小彌兒モ亦タ二局議院ノ説ヲ執ル其言ヨ曰ク一局ノ議會ニ在テ同一ノ人恒ニ相一致シテ常時議場ノ勝ヲ制シ他局其間ニ置喙スルノ恐アラザラシメハ彼レ專横ニ流レ傲驕ニ陷ラン是レ羅馬ノ古時ニ當テ既ニ二種ノ議官ヲ設ケテ所以ニシテ今時二局ノ議院ヲ要スル所以モ亦タ均シク此ニ在リ而シテ議院ニシテ果シテ能ク之ヲ二分スルヲ得ハ彼レ必ラス其權柄ヲ利用シ之ヲ弄フノ虞ナケム况ンヤ中和ハ政治ヲ實施スルノ途ニ於テ緊用必需ノ一大事項ニシテ自由法度ノ治最モ之ヲ要ス願フニ相讓テ政ヲ理シ互ニ與ヘテ事ノ中庸ヲ保チ勉メテ對敵ノ説ヲ敗ラス以テ順良ノ法度ヲ制スルハ誠ニ穩當ノ慣習ニシテ今現ニ二院ノ間(英國ノ兩議院ヲ指ス)ニ行ハレ其益多ホシト李拔モ亦タ二局議院ノ説ヲ是トス其自治論中自カラ發問シテ自カラ答テ曰ク奚爲レシ夫レ二院ヲ要ス何ノ理旨アリテ二ノ數ヲ撰ス曰ク一局ハ及ハス三局ハ過キタリ惟フニ三局院ノ禍害アルハ猶ホ三種ノ黨派ニ於ケルガ如ク兩強相持シテ互ニ下ラザルニ當テ一弱ノ黨背終ニ其曲直ヲ判

決スヘキナリ又一局議院ハ政柄綜合ノ治体ニ屬シ自カラ分掌ノ治体ニ副ハス以テ自由ノ政府ニ用ヘカラサルナリト字兒聖モ亦タ二局議院ノ説ヲ是トス曰ク二局ノ議院ヲ要スル所以ノ眞意數多アリ而シテ第一ハ之ヲ以テ急遽ニ政事ヲ議定スルノ弊ヲ避ク是レ也蓋シ彼此ノ議局ニシテ互ニ他局ノ查察スルヲ知シハ其議案ヲ起草スルニ當テ謹テ其意ヲ用ヒ其得失ヲ究メ恐ニ之ヲ商議シ勉メテ其名望ヲ社會ニ失ハサルヲ務メ爲メニ爲政ノ宜ヲ得ルト雖モ若シ之ヲ畫シテ一局ト爲スアラハ彼レ自カラ其名望ヲ重セス議政又隨テ誤謬多カルヘケレハナリ況ンヤ議院ヲ組成シテ二箇ノ部局ヲ分置セハ自カク議政ノ權柄ヲ持スルモノヲシテ專横ノ所爲ナカラシムルヲ得ム余今我米洲聯邦ノ議院ニ在テ甲黨ノ過強ニシテ乙黨ノ過弱ナルモノヲ見ルニ過強ノ政黨屢々驕慢自擅ノ勢ヲ顯ハシ爲メニ議政ノ患弊ヲ致シ議會ノ狀夫ノ有爲ノ敵手アリテ其行爲ヲ監視スル時ノ比ニ非ンザルナリ蓋シ之ニ抗スル者微セハ彼レ流レテ寡人ノ治理ヲ爲スヘケレハナリ夫ノ一局ノ議院ニシテ之ニ對スルモノナキハ殆ント之ニ類ス故ニ別ニ又一局ヲ設ケ以テ其行爲ヲ監セシメサルヲ得スト

上文ハ是レ泰西名家ノ二局議院ヲ是トスルノ説ナリ今ヤ顧ミテ前項一局議院ヲ是トスルモノヲ取リ相較シテ彼此ノ得失ヲ列スルニ概テ左ノ如シ

一局議院ノ利六種アリ

- 一ニ曰ク日子ヲ徒費セス
  - 二ニ曰ク國費ノ徒費ヲ減ス
  - 三ニ曰ク少數ノ説ヲシテ多數ノ説ニ克クシムルノ處ナシ
  - 四ニ曰ク議政ノ混擾無シ
  - 五ニ曰ク民人自由ノ活動ヲ阻止セス
  - 六ニ曰ク政柄總共ノ趣旨ニ合ス
- 一局議院ノ害七種アリ
- 一ニ曰ク急激狂猛ノ感動多シ
  - 二ニ曰ク感情私意偏見ニ惑ヒ有力家ニ抑壓セラルルアリ
  - 三ニ曰ク政黨ノ詭計ニ陥リ易シ
  - 四ニ曰ク專横傲驕ノ所爲ニ流レ易シ

- 五ニ曰ク政治ノ和同ヲ得ス
  - 六ニ曰ク政柄總共ノ弊ニ陷ル
  - 七ニ曰ク名望ヲ重セス杜撰事ヲ決ス
- 二局議院ノ利四種アリ
- 一ニ曰ク彼此相箝シテ專横傲驕ノ所爲ニ流レス
  - 二ニ曰ク彼此相誣テ爲政ヲ忽慢ニ付セス
  - 三ニ曰ク政治ノ和同ヲ得
  - 四ニ曰ク政柄總共ノ弊ニ陷ラス

二局議院ノ害六種アリ

- 一ニ曰ク日子ヲ徒費ス
- 二ニ曰ク國費ヲ徒費ス
- 三ニ曰ク少數ノ説ヲシテ多數ノ説ニ克クシムルノ處アリ
- 四ニ曰ク議政ノ混擾アリ
- 五ニ曰ク民人自由ノ活動ヲ阻止ス

六ニ曰ク政柄總共ノ趣旨ニ合ハス

二派ノ論趣大約此ノ如シ而シ今余ヲ以テ之ヲ見レハ二派ノ執テ得失ナリト爲ス所感ク一局若クハ二局ナルニ根由スル者ト謂フヘカラス其中間ノ局部ノ一ナルト二ナルトニ關セサルモノアリ今一之ヲ列論セシコ一局議院ノ利點中第四ハ必スシモ其特有ノ利ト謂フヘカラス蓋シ是レ議事章程ノ整否ニ由テ其關係ヲ異ニスル者ニシテ若シ能ク之ヲ整頓スルヲ得ハ二局ノ議院ナルモ終ニ議政ノ混擾ヲ致サレハ也故ニ二局議院ノ害點中第四ニ居ルモノハ自カラ滅殺シテ既ニ害ニ非ラス一局利點ノ第五、二局害點ノ第五ハ余未ダ何ノ由來スル所ナルヲ詳コセス寧ロ其無稽ノ浮語ナルヲ知ル故ニ其利其害共ニ吾人ノ意思ヲ動カスニ足ラス一局利點ノ第六、二局害點ノ第六ハ本來論旨ヲ殊ニス惟フコ政柄ヲ總共スニカラザルノ理ハ吾人ノ深ク了知スル所ナリ故ニ余ヲ以テ之ヲ觀レハ一局利點ノ第六、必シモ利ナラス二局害點ノ第六却テ利便アルヲ知ル然レトモ又論歩ヲ前進セテ一局議院ノ害點ナルモノヲ觀察スルコ第一、第二、第三ハ必ラスシモ一局特有ノ弊害ナリト謂フヘカラス夫ノ急激狂猛ノ感動ヲ發シ感情私見ニ惑ヒ有力家ノ抑制ヲ

甘シ又政黨ノ詭計ニ陷ルアルハ二局ノ議院ト雖モ往々免レ難キモノコレヲ必シモ一局ナルカ故ニ非ラズ論者間ニ佛蘭西ノ例ヲ引テ斯害點ヲ證明スト雖モ是レ其緣故ヲ極メス徒ラニ其效果ニ就テ之ヲ是非スルヲ說ナルノミ到底之ヲ以テ一局議院ノ罪ト爲スヘカラス所謂緣故トハ何ソ曰ク有力家ヲシテ自抗ノ機ヲ掌握セシムルノ原因是レナリ讀者幸ニ細カニ之ヲ心ニ問ヘ夫ノ有力家ノ勢權ナルモノハ議院出頭ノ日始メテ之ヲ擅ニスルヲ得ル者乎將タ撰舉ノ際ニ當テ既ニ己ニ之ヲ弄スルヲ得ル者乎余ヲ以テ之ヲ見レハ撰舉ノ際或ハ直接ニ彼ノ無力ノ人ヲ強ヒ或ハ斜ニ此ノ無氣ノ輩ヲ逼リ以テコレヲ得ル者ナレヲ知ル蓋シ人ノ常情力能ク之ヲ爲スニ足リ勢ニ能ク之ニ乘スルニ足ラハ必ス之ヲ時トシ自己ノ私ヲ濟スモノコシテ撰舉荷モリノ法ヲ尽キス保舉ノ際若レ一二ノ私ヲ行フヲ已レリ下レルモノヲ制スルコトヲ得ハ有力ノ者豈ニ拱手シテ自カラ止マンヤ然ルニ佛人自由ヲ尊フノ餘リ誤テ普通撰舉ノ法ヲ用ヒ矮屋ノ愚漢陋巷ノ貧民ヲ皆撰舉ノ權利ヲ有セシムルカ故、夫ノ有力家ハ數ニ行私ノ機ヲ掌握シ縱ニ己レノ權ヲ振ヒ遂ニ名ヲ代議人ニ托シ國會々中ニ自己ノ欲ヲ逞スルノ道路ヲ得タリ唯

夫ノ國會ノ議官其名ハ人民ノ代人ナリト雖モ其實ハ右族合議ノ体ヲ爲シ全ク  
 代議政治ノ實ヲ害セルモノアリ是ヲ以テ議官ノ衆庶ニ於ケル其利トスル所自カ  
 ラ相別異シ議官ノ議官ニ於ケル其利トスル所往々相同シク那ノ議官ノ利トスル  
 所甚ク這ノ議官ニ不利ナラス故ニ那ノ議官之ヲ唱ヘテ這ノ議官之ヲ和シ勿ク之  
 ナ可決シ又民人ノ爲メニ其利害得失ヲ密考スルヲ用キサルナリ唯夫レ然リ有力  
 家ノ勢權ハ實ニ撰擧ノ際ニ成リ議院出席ノ口始メテ之ヲ顯ハスモノナリ是ヲ以  
 テ其緣故ハ撰擧ノ失制ニ在テ國會ノ一局ナルニ在ラサルナリ觀察シテ茲ニ至レ  
 ハ二派ノ利トシ害トスル所漸ク滅殺シテ其數ヲ少ニシ其利其害大約左ノ如シ

一局議院特有ノ利

- 一ニ曰ク日子ヲ徒費セス
  - 二ニ曰ク國計ノ徒費ヲ減ス
  - 三ニ曰ク少數ノ説ヲシテ多數ノ説ニ克タシムルノ感ナシ
- 二局議院特有ノ利
- 一ニ曰ク彼此相符シテ專横傲驕ノ所爲ニ流レス

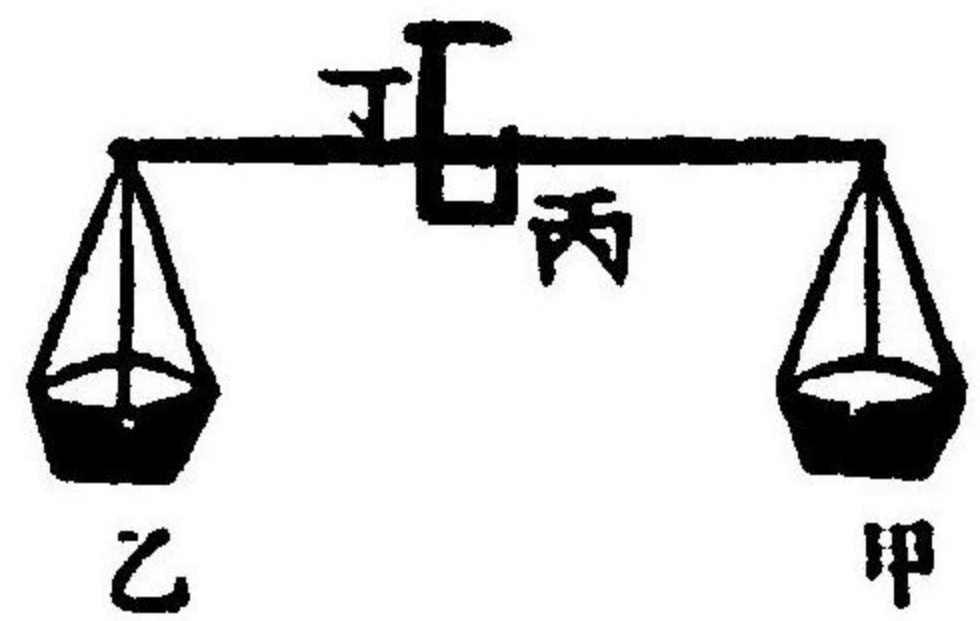
- 二ニ曰ク彼此相競ヒ爲政ヲ以テ忽慢ニ付セス
- 三ニ曰ク政治ノ和同ヲ得

是ニ於テ更ニ觀察ノ歩武ヲ進メ二者ノ利トスル所ヲ講スルニ日子ヲ徒費セズ速  
 ニ政治ヲ議定シ遲緩ノ爲メ有爲ノ機ヲ失スルノ虞ナキハ實ニ一局議院ノ利點ニ  
 屬ス然レトモ試ニ觀察ノ方位ヲ轉シ二局議院ノ日子ヲ徒費スルモノヲ見ルニ又  
 未ダ盡ク害ナリト謂フヘカラサルモノアリ願フニ議決遲緩シ爲メコ好時機ヲ失  
 スルアルハ明ニ二局議院ノ弊害ニ屬スト雖モ其遲緩スルカ爲メ社會ノ興望ヲ  
 其嚮背ヲ明表スルヲ得セシムルアリ其利便ノ重キ未ダ必スシモ時機ヲ失スルノ  
 害ニ降ラス若シ夫レ然ラハ日子ヲ徒費セサルノ利未ダ四滿無缺ノ者ト爲スヘカ  
 ラス寧ロ利害相半スルモノト謂ツヘキナリ又國幣ノ徒費ヲ増スノ害ハ事ノ明白  
 ナルモノナリ然レトモ彼此相競ヒ爲政ヲ以テ忽慢ニ付セサルハ又利ノ明白ナル  
 モノナリ願フニ其重キ果シテ何ノ邊ニ在ル乎今余ヲ以テ之ヲ言ヘハ多少ノ徒費  
 ナ爲スモ寧ロ爲政ヲ以テ之ヲ忽慢ニ付セサルヲ冀フナリ況ンヤ之レカ爲メ爲政  
 ノ忽慢ヲ致サ、ルアラハ第二局ヲ置クノ費用未ダ必ラスシモ徒費ナラサルナリ

又少數ノ説ヲシテ多數ノ説ニ克クシムルノ虞ナキハ明ニ一局議院ノ利點ニ屬ス然レトモ政治ノ和同ヲ得ルハ二局議院特有ノ利點ニシテ一局議院ノ無キ所ナレハ二者互ニ相下ラス相殺シテ共ニ絶無ニ歸ス惟夫レ是ノ如シ是ヲ以テ一局議院特有ノ利點既ニ扣除シ去テ其一ヲ餘マサス却テ二局議院特有ノ利點ニ於テ第一ノ一項ヲ餘マスアルノミ是ニ因テ之ヲ觀レハ二局議院ヲ置クハ社會通般ノ正理ニシテ別ニ異常ノ障礙アルニ非ラサレハ殆ント之ヲ動スヘカクサルモノナルヲ知ル

社會通般ノ理勢正サコ此ノ如シ惟ノニ本邦特有ノ事情ニ於テ之ヲ實行スルコ不便ナル者アル乎曰ク有ルコト無シ然レトモ惑フ者間ト或ハ其不便アルヲ言フ余ノ如キモ亦タ嘗テ自カラ惑ヘルモノアリ余嘗テ自カラ論シテ曰ク世ノ議院ニ上下アルヲ要スト爲スモノハ大抵政權ノ權衡ヲ平等ニスルヲ以テ其本旨ト爲シ歐州古今ノ故事ヲ引テ之レカ證ヲ爲ス者多シ然ルニ余ヲ以テ之ヲ見レハ此ハ是レ歐洲古昔ノ過ヲ傳ヘテ之ヲ改ムルヲ知ラサルモノナリ請フ上院ヲ以テ政權ノ權衡ヲ平等ニスル能ハサル所以ノ理ヲ論シ上下ノ議院ヲ分置スルノ有テ無益ナル

所以ヲ證セン抑モ世間ニ三個ノ物ヲ以テ權衡ヲ平等ニスルノ術アル乎余ノ愚慮ニ之ヲ查出スルコト能ハサル也今下ニ載スル所ノ圖繪ヲ取リ驗ヘテ之ヲ論セン  
コ甲ハ行政官ノ大權ヲ把總シタル君主ニシテ乙ハ民人ノ代議人ナリ而シテ丙ナル樑木ハ國土ノ安寧ニシテ之ヲ懸垂シタル一條ノ鈎ハ國土ノ憲法ナリ然ラハ則チ上院ナルモノハ果シテ下圖ノ何物ニ當ツヘキヤ余ノ愚未ク之ヲ知ラサルナリ唯夫レ然リ夫ノ上院ナルモノハ平時ニ在テ政權ノ權衡ヲ整理スルコト由ナキ者ナリ然リト雖也時或ハ其變ニ處シテ之カ功德ヲ著明スヘキノ理ヲ具スルヲ以テ世人或ハ之ヲ引テ上院ノ必須ヲ證スル者多シ蓋シ是レ其一ヲ知テ未ク其二ヲ問ハサルノ弊ナリ苟モ人間ノ實境ニ就キテ其關係ヲ考フレハ其非ナルコト直ニ明白ナルヘシ抑モ世間若シ人類ノ情欲ヲ界限スルノ法アラシメハ君權ノ偏重ニ當テ民權ノ上院ヲ設ケ民權ノ偏重ニ當テ君權ノ上院ヲ置キ以テ彼ノ偏重ヲ抑ヘ此ノ偏輕ヲ揚ケハ或ハコレニ依テ政權ノ權衡ヲ平等ニスルノ功德ヲ全フスルヲ得ヘシト雖也借哉人類ノ情



欲ハ終ニ界限スヘカラサルモノニシテ隨テ得レハ隨テ欲スルハ人間自然ノ性ナリ是ヲ以テ若シ上院ヲ設置スルノ術ヲ以テ幸ニ政權ノ權衡ヲ平等ニスルノ地位ニ至レハ新揚ノ黨ノ必ス其勢ニ乘シ之ヲ以テ自己ノ勢權ヲ皇張シ新抑ノ黨ニ勝ント欲スル者ハ是レ必致ノ勢ニシテ上院合併ノ力既ニ能ク之ヲ揚ケテ平等ナラシムルニ足ラハ又彼ヲ再抑シテ此ヲ偏重ナラシムヘキハ太ク至難ノ事ニ非ラサルナリ唯々夫レ上院ヲ設置シテ彼ノ偏重ヲ抑制スルト爲ス者ハ却テ此ノ偏重ヲ基スルモノニシテ所謂ル前門狼ヲ出レテ後門虎ヲ入ル、モノ也豈ニ之ヲ功德ノ全キモノトセンヤ故ニ曰ク變ニ處シテ其功ヲ奏スト云フモノハ其一ヲ知テ未タ其二ヲ問ハサルノ論ナリ夫レ然リ夫ノ上院ナル者ハ遂ニ無益ノ長物タル耳若シ無益ノ長物ニシテ止マハ尙ホ可ナリト雖モ後門入虎ノ具ニシテ既ニ有害ノ惡據アラハ君民ノ同治シテ君權民權ノ共ニ偏スヘカラサル邦土ニ川ユヘキモノニ非ラサルナリト是レ元ト余ノ感ナリ而シテ其之ヲ排駁スルノ要點ハ專ラニ二局ヲ組成スルノ方法ニ在テ未ダ曾テ二局其者ノ利害ニ及ハサルナリ故ニ今日ニ在テコレヲ觀レハ前日ノ說大ニ其正鵠ヲ失シ爲メニ天下ヲ誤ルモノ多キヲ知ル余覺

ニ自カラ其罪ヲ謝セザルヲ得ン哉

唯夫レ余ハ實ニ我カ前說ノ非ナルヲ知ル然レモ夫ノ上院ヲ以テ皇室ノ藩屏ト爲サント欲スルモノニ至テハ余決シテ之ニ與ミセス議者曰ク上院ヲ設ケ下院ノ激昂ヲ控制スルニ非ラサレハ終ニ能ク王室ノ尊榮ヲ保持スヘカラスト抑モ是レ誤レリ而シテ其誤ナル所以ノモノハ或人善ク之ヲ辨セリ請フ今引テ以テ議者ノ感ヲ解カン或人ノ說ニ曰ク我朝古代ニ在テ王家深ク民意ヲ重ンシ庶民厚ク天子ヲ仰キ其相依ニ畜ニ親子ノミナラザルナリ是レ我邦君民ノ相離レサル所以ニシテ世界万国ニ冠絶スル所以ナリ惜哉中古以還相家政柄ヲ私シ王道漸ク衰ヘ武門之ヲ攘ムニ及ンテ其弊勝テ數フヘカラス是レ戊辰ノ革命ヲ致セシ所以ニシテ君民相親ノ復古是ニ於テ乎大成ス願フニ而今以テ復王室ニシテ庶民ヲ抑壓スルノ意ナカリモハ庶民離レカ亦不軌ヲ王室ニ謀ルモノアラン哉然ルニ議者ハ曰ク云トト即テ是レ上院ノ之ヲ保護スルナクシハ皇室自カラ其威嚴ヲ保タセ給フニ足ラスト謂ハシカ如シ是レ豈ニ皇威ヲ冒瀆シ其尊嚴ヲ敬ハサルモノニ非ラサラン哉試ニ願ミニ舉國人民一致ノ力ヲ以テ王室ヲ擁護スルト上院ノ一微力ヲ以テ之ヲ守

ルト統レカ最モ強大確固ナル議者ト雖モ必ラス民人一致ノ力ニ頼ルノ最モ堅固ナルヲ知ラム若シ夫レ然ラハ上院ヲ以テ皇室ノ藩屏ト爲サント欲スルノ説ハ一個ノ妄想ニシテ到底其據ル所ナキヲ知ルナリト説簡ニシテ意長ク先ツ大ニ我意ヲ得タルヲ知ル

今例ニ依テ万国ノ政体ヲ涉獵シ其實行スル所ヲ見ルニ大抵皆ナ二局ヲ以テ其國會ヲ組成シ六大洲中國會ヲ置ク者無慮七十國ニ下ラス然レトモ其之ヲ一局ニ止ムルモノハ日耳曼列國ノ一ナル朔世兀登堡以下一二ノ小國アリテ僅ニ之ヲ用ニルアル耳又以テ天下ノ大勢ヲ徴スヘキ也

第二十章 議政官ヲ細論ス三。二局議院ノ組織。上院ノ組織ヲ論ス。上院

ノ組織ニ關スル七種ノ論説。其得失。上院ノ組織ニ關スル歐米亞亞各土ノ實例。

二局ヲ以テ議政官ヲ組成スヘキノ理ハ既ニ前章ヲ以テ之ヲ講究シ了ハレリ今又述説ノ地歩ヲ進メ如何シテ夫ノ二局ノ議院ヲ組織スル乎ヲ究ムルニ其下院ハ明ニ民人保舉ノ代議官ヲ以テ之ヲ組織スヘキヲ知ル但シ其上院ノ組織ニ至テハ世論間ニ其歸チ一ニセス驚々然トシテ殆ント定マル所アラサルナリ

甲ハ曰ク宜シク世襲ノ貴族ヲ以テ上院ヲ組成スヘシト英國ノ憲法ヲ説ク者博士武兒無曰ク貴族ノ一隊ハ君民ノ間ニ立テ二者ノ侵掠ヲ阻障シ共ニ其權利ヲ扶持スルニ效アリ且ツ上下貴賤ノ權衡ヲ保全シ庶民ヨリ以テ天子ニ至ルマテ各々其位ヲ正クシ恰モ金字塔ノ基礎廣潤ニシテ終ニ一尖形頭ニ終ルカ如クナラシム願フニ夫ノ君民ノ兩極ヲ直ニ相近接セシメス以テ斯政府ノ安康ヲ維持スル者ハ實ニ貴族ノ一隊ナラン故ニ貴族ハ柱墩ノ如ク下モ足テ庶民ニ接シ上モ頭ニ君王ヲ戴シ是ヲ以テ貴族ニ一朝其位置ヲ失シ廢絶シ了ハルアラハ君民共ニ墳頤ノ



禍ヲ免ル、コト能ハサルナリ唯夫レ是ヲ以テ貴族ノ名爵アルハ本國ヲ利益スルモノニシテ其名爵ヲ辱フスルモノ獨立自別シテ之カ議會ヲ開クハ又均シク本國ニ利便アルモノ也ト老彌兒モ亦曰ク世襲ノ貴族ヲ以テ上院ヲ組織スルハ能ク第二議局(上院)ヲ設置スルノ趣旨ヲ全フスルコト足ルト然レモ是レ英國歴史上ノ慣例ヲ維持スル爲メ此説ヲ附會スル者コレヲ固ヨリ實理ト相合ハス英國以外終ニ之ヲ用ウルニ由ナキナリ蓋シ其弊夥多コシテ勢之ヲ以テ天下ノ大政ヲ料理セシムルコト足ラザレハナリ請フ少シク之ヲ謂ハシ願フコト夫ノ世襲的ノ上院ナルモノハ其勢ヒ微弱コシテ獨立スヘカザサルノ時ニ當テハ自己ノ便ニ依テ其議ヲ左右セ或ハ君ニ偏シ或ハ民ニ偏シ其德恒ナラス其弊ヤ甚シテ政權ノ偏重ヲ起スモノニシテ其強大コシテ獨立スヘキ時ニ至テハ必ラス上ハ君權ヲ抑ヘ下ハ民權ヲ壓シ中立シテ唯自己黨類ノ私利ノミヲ營ミ威力ヲ以テ社會ヲ專制スレモノナラハ余實ニ人類ノ本然ヲ以テ之ヲ徵ス夫レ人類ノ言行ハ其思慮ニ因テ發シ其思慮ハ其情欲ニ因テ動クモノニシテ一旦情ノ發動スルヤ心思必ラス先ツ自己ノ利益ニ反フ者ハ人類ノ本性ナリ而シテ斯ノ情欲ナルモノハ天地ニ亘リ古今ヲ極メテ違

消滅スヘカザサルモノナレハ夫ノ貴族ノ如キト雖モ其本性ヲ具スルハ疑ナ容レサル所ナリ苟モ耳目ヲ具ヘ斯情欲ヲ失ハサル者コシテ一旦爲政ノ特權ヲ有セシメ世々之ヲ繼承セラル、ノ恐ナカラシメハ豈ニ其權ヲ空フシテ自カラ退カンヤ必ラスヤ之ヲ以テ己ノ欲ヲ逞クスヘキナリ故ニ世襲的ノ上院ヲ指シテ微ニシテ偏黨シ強ニシテ營私ノ弊アリト爲スモノハ決シテ選説ニアラザルナリ之ニ加フルニ夫ノ貴族ハ常ニ居所ニ置ナルヲ以テ事故ヲ更ヘサルノ人多カルヘシ故ニ往々思想ノ才ニ乏シク隨テ政ヲ議スルコト密ナラサルナリ噫若シ海宇異域ノ愛國家ヲシテ之ヲ聞カシメハ其偏スルスタ尙ホ且ツ之ヲ憎ム況ンヤ營私シテ專制ニ加フルニ議政不密ノ弊アルニ於テハ之ヲ如何ン多弊ナリト云ハサルヲ得ンヤ聞カ如クシハ頃日華族諸氏ハ自カラ集同シテ上院組織ノ事ヲ議シ類リコ英制ニ模倣セントスルノ意アリト果シテ是レ信然ナル乎余ハ帝國ノ爲メニ其不可ナルヲ鳴サント欲スルナリ況ンヤ且英國今時ノ制ノ如キハ既ニ其實質ヲ一變シテ當時ノ上院ニ似ス議官ノ席半ハ一代ノ貴族ヲ以テ之ヲ盈タシ其能シ上院ノ議事ヲ嚮導スルモノハ多シハ夫ノ法律、軍旅、政事、理財、文學等ニ名アル平民ニシテ新

族ニ列叙セラレタルモノナレハ英國近時ノ上院ハ軍口君撰ノ上院ト傳スヘキモ之ヲ稱シテ右族世襲ノ上院ト爲スヘカラサルナリ然ルヲ今蘇族諸氏ニレテ之ニ模倣セントス抑モ是レ極メサルノ弊ナリ

乙ハ曰ク宜シク富家豪族ヲ以テ上院ヲ組織スヘシト孟的斯鳩義象ノ徒實ニ此説ヲ持ス孟的斯鳩曰ク何邦カ富家豪族ナカラザラソシテ其コレアルヤ渠レ必ラズ特別ノ議政局ヲ設クルヲ求メシコレテ允サ、ラソカ渠ノ徒相謀テ社會ノ治安ヲ亂ラン故ニ善政ヲ好ムモノハ設ヒ其國ニシテ古傳ノ右族院ナカラシムルモ新ニ其右族ヲ以テ之ヲ組成スルノ上院ヲ置キ其難政ヲ濟スト議象モ亦曰ク何ノ邦何ノ土ヲ問ハス必ス財本ニ衣食スルモノト其勞働ニ活度スルモノヲ問フ是レ此二箇ノ人種實ニ各別ノ議政局アルヲ要ス若シ之ヲシテ各別ニ議政局ヲ設クルヲ得サラシメシ平甲ノ利乙ニ害セラレサレハ乙ノ益必ラス甲ニ侵ラレン而シテ天下ノ事終ニ擾亂無政ノ域ニ陷ランノミト其説ク所或ハ理アルカ如シ然レトモ是レ虚空ノ妄想タルニ過キス到處其正理ニ背クモノナルヲ知ル佛人報白補管テ二家ノ説ヲ駁シテ曰ク貧富ノ爭果シテ斯ノ如ク夫レ重大ニシテ斯ノ如ク夫レ

鎮靜ニ難キモノ乎今余ヲ以テ之ヲ觀レハ貧富ノ間其爭ナキニ非ラズ然リト雖モ余明ニ議政局ノ各別ヲ要スルカ如キ重大ノモノニアラスシテ而モコレヲ要スルカ如キ鎮靜ニ難キモノニアラサルヲ知ルナリ況ンヤ且ツ各別ニ其議政局ヲ置カシムルハ夫ノ爭鬪ヲ安鎮スルノ方コアラズシテ寧ロ之ヲ激烈ナラシムルモノト謂フヘク其極ヤ一國ノ建立ヲ破壞スルニ終ルノ恐ナキ能ハスト宇兒聖モマタ義象ヲ駁シテ曰ク義氏ノ説當ラス氏ハ謂フ一ハ富家ヲシテ其局固ニ充テラシメ一ハ勞役者ヲシテ之ニ居ラシメ共ニ之ヲ撰舉スヘシト是レ最モ非ナリ世人間ノ貧富赤手ヨリ起リ一生ノ間巨万ノ富ヲ致スモノ多クハ顧フニ氏ハ何處ニ就テ斯人ノ貧時ト富時トヲ分截セントスル平氏ニシテ能ク之ヲ分截スルヲ得ハ氏ハ必ラズ斯社會ヲ分裂スルノ實力アラント數句ノ冷語濫キ得テ義象ノ醉夢ヲ打醒ス余今殆ント其非ヲ辨スルヲ要セサルナリ

丙ハ曰ク君撰ノ議官ヲ以テ上院ヲ組成スヘシト獨逸ノ政家多ク此説ヲ持ス今其言ヲ按スルニ即チ曰ク下院ハ是レ人民ノ代議人ヲ集同シ万人ノ意想ヲ代表スルモノナリ然ルニ君王單獨ニシテ其術ニ當ル軍口夫レ薄弱ナルナカラソシテ平是レ上

院ヲ設ケ以テ君王ヲ輔翼セシメ庶民ノ侮辱ヲ防禦スヘキ所以ニシテ君撰ニ採テ其局員ヲ舉グルハ蓋シ理ノ必然ナリト其君民ヲ見ル恰モ仇讐ノ如ク一國ノ不祥是ヨリ大ナルハ莫シ夫レ君民ノ相依ルハ猶ホ魚ト水トノ如シ魚心アリ水登コ心ナカラサラン哉是ヲ以テ君王ニシテ社會ヲ利濟スルノ良徳ヲ欠クナカシメハ民人豈ニ之ニ抗スルノ意ヲ起スモノアランヤ率口之ヲ奉シテ其實弊ノ万歳ナラシコトヲ冀フノミ嗚呼民人ニシテ既ニ君王ニ抗スルナラシコトノ意想ヲ代表スル議官タルモノ豈ニコレニ抗敵スルノ理アラシヤ若シ夫レ然ラハ君撰ノ上院ヲ設ケ故サラニ民撰ノ下院ニ抗抵セシメントスルハ率口民人ノ歡心ヲ失スルモノニシテ却テ君王ヲ保護スル所以ニアラサルナリ今余ヲ以テ之ヲ觀レハ上院ヲ設置スヘキノ理趣君王ノ權威ヲ保護セントスルコアラシク實ニ政治ノ安全妥當ヲ冀フニ在リ其理趣既ニ君王ノ權威ヲ保護セントスルニ在ラストセハ其君撰ヲ要スル所以ノ理自カラ消盡シ今之ヲ排論スルヲ要セサルナリ頃日我邦上院ノ事ヲ謂フモノ間々之レヲ設ケ以テ君威ヲ保護スルノ器具ト爲サントス故ニ其論スル所多クハ君撰ニ取テ之ヲ組織セントスルカ如シ然レトモ是レ感ナリ王家ノ威嚴ハ

重且大ナリ豈ニ區々一上院ノ議官ヲ以テ之ヲ保護スヘキ者ナランヤ況ンヤ且我カ三千餘万ノ同胞誰レカ烈祖ノ遺民ニアラサラン誰レカ陛下ノ臣子ニアラサラン皆ナ是レ三千年ノ久レキ王家ノ恩澤ニ沐浴シ十五年ノ間陛下ノ仁徳ニ懷順シタルモノナレハ王家若シ愛民ノ令徳ヲ欠カセ給フナクンハ臣民誰レカ不敬ヲ帝威ニ加フルモノアラシヤ是レ理ノ最モ明ナルモノニシテ私利ノ爲メソノ明ヲ失スルモノニアラサルヨリハ必ラス明ニ之ヲ了知スルヲ得ヘキモノナリ況ンヤ帝王ノ威嚴ハ民望アルヲ以テ始メテ尊重ナルモノニシテ苟クモ民望ヲ失スルアラハ千百ノ上院アリト雖モ終ニ得テ其威嚴ヲ保護スヘカシサルモノナリ果シテ然ラハ帝家ニシテ眞ニ其威嚴ヲ保タセ給ハント欲セハ宜シク列聖愛民ノ容行ヲ繼カサセ給ヒ益々民望ヲ養ハセ給フヘシ何ソ區々一上院ノ力ニ依頼シ以テ斯堂々タル帝威ヲ保護スルヲ爲サンヤ

丁ハ曰ク上院ハ各地方所撰ノ元老ヲ以テ之ヲ組成スヘシト米洲聯邦ノ制ヲ謂フモノ多ク之ヲ主張ス乾徳嘗テ米洲聯邦ノ憲法ヲ註釋シテ曰ク元老官ハ今六十員アリ實ニ三十州ノ代議人タリ而シテ其各州均シク二人ノ元老ヲ差出シ敢テ土地

ノ廣狹人口ノ多寡貴賤ノ富乏ヲ問フテ之ヲ増減セサルモノハ我邦政治上避クヘ  
 カラサルノ事情有リテ各州相助ケ相頼ルノ餘ニ出テ實ニ自主ト是認スルコ  
 基スト字兒聖モ亦タ曰ク我聯邦ハ幸ニシテ各州平等ノ權ヲ損セス以テ第二議院  
 ナ建立スルヲ得タリ世人間ノ人口ノ配額ヲ以テ其元老ヲ差出セシメシコトナ言  
 フモノアリ然レトモ今ニ至テ猶ホ每州二人ノ制ヲ實行ス願フニ是レ他ナシ人民  
 ノ其制ヲ信憑シテ其完全ノ法度ナルヲ許スノ故ナラト二家ノ說米洲聯邦ニ適  
 スルモ未タ他邦ニ通スルヲ必トセス始メ米洲ノ獨立スルヤ各州既ニ自カラ立テ  
 其州民ヲ治理シ互ニ相下ラス願フニ此ノ時ニ當テ之ヲ共合ニ以テ一大聯邦ヲ建  
 立スル事甚タ容易ナラス是ヲ以テ土地ノ廣狹人口ノ多少ヲ問フテ須キス各州均  
 シク平等ノ權ヲ有スルヲ得セシメ以テ其一致ノ心ヲ強カラシメシモノ、故ニ  
 其國ニシテ米洲聯邦ト同一特種ノ事情アラシメハ之レカ例ニ倣フ或ハ止ムヲ得  
 サルカ如シ然レトモ其特種ノ事情ニシテ其國ニ存スルナカラシメハ余未タ其可  
 ナル所以ヲ知ラサルナリ故ニ曰ク二家ノ說ハ米洲聯邦ニ適スルモ未タ他邦ニ通  
 スルヲ必トセスト敢テ強辨ヲ爲スニアラサルナリ

戊ハ曰ク上院モ亦タ下院ト均シク民撰ノ議官ヲ以テ之ヲ組織スヘシト或人說ヲ  
 爲シテ曰ク夫レ上院ヲ設置シ下院ニ對頭セシムル所以ノ要旨ハ之ヲ以テ政治ヲ  
 圓滑穩當ナラシメ以テ社會ノ安康ヲ謀ラント欲スルニアルノミ固ヨリ異種ノ門  
 族ヲ以テ之ヲ組織シ以テ民權ノ發達ヲ抑制セントスルカ如キ抽陋ノ趣旨ニ根基  
 スルモノニアラサルナリ是ヲ以テ下院ト同シク民撰ノ議官ヲ以テ上院ヲ組織シ  
 均レク民人ノ意思ヲ表章セシムヘキハ理ノ甚著明ナルモノニシテ今更クニ其然  
 ル所以ヲ辨論スルヲ要セサルモノナリト言或ハ理アルカ如シ然レトモ細カニ其  
 歸スル所ノ結果ヲ講シ其及フ所ノ實事ヲ詳スレハ戊ノ說モ亦未全ク可ナラサル  
 ナ知ルナリ該惠須管テ論シテ曰ク凡ソ一社會ノ人民ハ同一ノ問案ニ關シ同時ニ  
 二様ノ意思ヲ有スルモノニアラスト人民ノ意思實ニ同時ニ二様アルコトナシ故  
 ニ第一第二ノ議局ニシテ均レク人民ノ撰舉ニ取ラレメハ其實ヤ一局議院ヲ二分  
 シテ左右ノ分課ヲ置クモノニ過キス到處下院ノ足ラサルヲ補ヒ政治ノ運行ヲ圓  
 滑穩當ナラシムルノ目的ヲ成就スルニ足ラサルヘシ願フニ世ノ上院ニ望ムモノ  
 ハ政治ノ運行ヲ圓滑穩當ナラシメント欲スルニ在ルノミ然ルニ今之ヲ以テ其目

的ヲ全フスルニ足ラストセハ余レ勢之ニ與ニスルコト能ハサルナリ  
 己ハ曰ク下院ノ議官ヲシテ下院ノ外ニ就テ上院ノ議官ヲ撰舉セシムヘント小彌  
 兒ノ第二說實ニ己ノ說ニ屬ス小彌兒曰ク第二議局所謂上院ヲ組織スル第二ノ成  
 案ハ第一議局所謂下院ヲシテ其局員外ニ就テ之ヲ撰舉セシムルニ在リ願フニ此法  
 案ニ據テ之ヲ組成スルヲセハ民撰ト大差異アルコトナク唯々僅ニ直接間接ノ別  
 アルニ過キサルノミ而シテ其狀宛モ米州聯邦ノ元老官ノ如クナレハ必ラス多數  
 爲政ノ制度ト相悖ラス又自カラ大ニ輿論ノ勢力ヲ伸スラ得ン且第一議局ノ撰舉  
 ニ係ルヲ以テ其第二議局ニ於ケル自カラ嫉妬ノ念ヲ薄クシ爲メニ二者相執拗ス  
 ルノ流弊ヲ免ル、ヲ得ン之ニ加フルニ能ク撰舉ノ法ヲ尽スヲ得ハ必ラス組成ノ  
 大要ヲ誤マラス夫ノ偶然ノ事ニ依テ民撰ノ議官タルヲ欲セカリシモノ若クハ才  
 能未ダ外ニ顯ハレシテ爲メニ民撰ヲ得サリシモノ等ヲ撰舉スルヲ得ルヲ以テ  
 大ニ一國有爲ノ人士ヲ集メ以テ此第二議局ヲ組織スルヲ得ン豈ニ又可ナラスヤ  
 ト其論スル所一理ナキコアラ然レモ若シ下院ヲシテ上院ノ議官ヲ撰舉スルヲ  
 爲サシメハ上院ノ議官タルモノ能ク下院ニ對シ公平無偏ノ說ヲ操持シ之ヲ設置

スル所以ノ目的ヲ成就スルヲ得ル乎其命脈ハ下院ノ握ル所ナリ上院ノ議官モ亦  
 タ感情アルノ人ナルヘケレハ余レ甚ク其說ヲ倚曲スルナキヲ保セサルナリ惟フ  
 ニ若シ其說ヲ倚曲シ下院ノ意思ヲ迎向シ若クハ之ニ雷同スルアソシ平是レ既ニ  
 上院ヲ設置シ政治ノ穩當ヲ謀ラント欲スルノ目的ヲ破レリ既ニ其目的ヲ破ルノ  
 恐レアリ吾人豈ニ其說ニ與ニスルヲ得ン哉

庚ハ曰ク下院ハ既ニ人民ノ代議官ヲ以テ之ヲ組成シ万民ノ意嚮ヲ代表スルアリ  
 故ニ上院ハ實歴アルノ人ヲ以テ之ヲ組織シ一身ノ功績ヲ表章セシムルヲ勉  
 ムヘント小彌兒ノ第一說實ニ此說ニ屬ス小彌兒曰ク夫レ代議官タル者ノ爲政ノ  
 能ニ乏シキハ是レ之ヲ保舉スル人民ノ其才能ヲ具備セサルニ根シ天下ノ人往々  
 爲政ノ鍛鍊ヲ經サルニ基ス故ニ此ノ足ラサルヲ補ハント欲セハ勢ヒ爲政ノ鍛鍊  
 アル者ヲシテ議政ノ事ヲ相伴セシメサルヘカラス唯夫レ是ヲ以テ第一議局ニシ  
 テ万民ノ意想ヲ代表スルアラハ第二議局ハ一身ノ才德ヲ表章セシメサルヘカ  
 ス但タ其才德ヲ現ニ社會ノ公事ヲ執ルニ依テ之ヲ保証シ又其實歴ヲ以テ之ノ堅  
 固ナラシムルヲ要ス今之ヲ再言スレハ第一ノ議局ニシテ人民ノ代議官ヲ以テ之

ナ組織セハ第二議局ハ政事家ヲ以テ之ヲ組織シ夫ノ要職ニ居リ君ヲ天下ノ大政ニ參與セシモノヲ以テ其局ニ當ラシムヘシ願フニ此ノ如クコシテ第二議局ヲ組織スルヲセハ唯リ政治ヲ調和スルノ效用アルノミナラス又將ニ別ニ大ニ爲ス所アラントス彼レ唯リ第一議局ノ所爲ヲ箝制スルノミナラス又必ラス之ヲ箝迫シテ善良ノ方位ニ向ハシムルヲ得ム而シテ之カ議官タル者ハ自カラ社會先進ノ人ナルヘケレハ其人民ノ實利ヲ害スルコト少キ又知ルヘキナリト此說最モ其當ヲ得ルコト似タリ既ニ論スルカ如ク世ノ上院ニ望ム所ハ相箝シテ專横驕肆ノ事ヲ制シ以テ政治ノ穩當ヲ謀ラント欲スルニ在リ故ニ其組織ニシテ能ク下院ノ專横ヲ箝制スルニ足リ能ク其足ラサルヲ補フヲ得ハ直ニ之ヲ斷シテ中適ノ制度ト稱シテ可ナリ然ルニ況ンヤ之ヲ爲シテ餘カアリ猶ホ之ヲ能迫シテ善良ノ方位ニ向ハシムルヲ得ハ其至善ノ制タル又疑ヲ須キサルナリ余故ニ曰ク庚ノ說最モ其當ヲ得ルト蓋シ之ヲ經キサルヲ知ルナリ是ヲ以テ若シ我邦ニシテ異日上議院ヲ置キ立憲政治ノ妙用ヲ全フセント欲セハ宜シク庚ノ說ヲ活用シ之ヲ實行シ以テ之ノ宜シキヲ制スヘシ必ラス甲乙丙等ノ說ニ拘シ以テ王室ノ怨望ヲ招キ以テ社會ノ實

利ヲ害スヘカラサルナリ論者或ハ本邦今マ老練有爲ノ政事家ニ乏キヲ鳴ラシ庚ノ說ヲ實行スルノ難キヲ言フモノアラム然レトモ是レ極メサルノ弊ナリ惟ニ今之ヲ本邦ニ實行スルハ難ハ則チ難ナリ然レトモ是レ一時ノ難タルニ過キス今ヤ我邦政事家ノ才力ヲ切蹙スルノ疆場ニ乏シク其官ヲ授ケル又未タ其方ノ美ヲ尽サス爲メニ老練有爲ノ政事家ヲ養成スルニ由ナレト雖モ今ヨリ後チ國會ノ開設アルニ遇ヒ政家ソノ才力ヲ發露スルノ疆場ヲ得政黨相競アソノ實力ヲ戰ハステ得ハ其間自カラ老練有爲ノ大家ヲ養成シ上院ヲシテ大ニ才能ノ發淵タルヲ得セシムルニ至ラム吾人今一時ノ難アルヲ以テ萬世ノ大計ヲ誤マルヘカラサルナリ

上議院組織ノ理論概テ上來ノ如シ今ヤ又例ニ依リ宇内各土ノ實例ヲ講スルニ據地利以下二十餘國ノ制正ニ左ノ如シ

埃地利帝國上院ノ組織ハ世襲君撰ノ二制ヲ混用シ丁年ノ皇族貴族ノ土地ヲ領スル者大教正教正及ヒ才學勳功ノ士ニシテ皇帝ノ特命シテ終身之ニ任スル者ヲ以テ其議官ト爲ス

匈牙利王國ハ王族舊教并ニ希臘教ノ教正匈牙利州ノ貴族及ヒ奧呂基須其善仁  
亞十蘭志兒邊尼亞三州ノ貴族代理官ヲ以テ其議官ニ充テ實ニ世襲右族撰舉ノ  
二制ヲ併用ス

羅馬尼亞王國ハ間接民撰ノ制ヲ用ヒ以テ其上院ヲ組織シ國民ノ二十五歳ニ滿  
テ書ヲ讀ミ字ヲ寫スヲ得ル者ヲシテ先ツ其撰定人ヲ保舉セシメ更テ撰定人  
ヲシテ其元老官ヲ撰舉セシム昨明治十四年ノ調査ニ據ルニ元老官七十六人ア  
リ

塞爾維侯國ハ君撰ノ議官ヲ以テ上院ヲ組織シ每州一人ノ程度ニ據テ國侯之ヲ  
撰舉シ常住其職ヲ執ラシメ會期ヲ立テス

日耳曼帝國ノ上議院ハ列國ノ代議官ヲ會集スル所ニシテ聯邦各土ノ政府各々  
其當器ノ人ヲ撰任シ其意見ヲ代表セシムツノ數實ニ五十九人トス

普魯士王國ノ上院ハ世襲右族撰舉及ヒ君王特撰ノ三制ヲ混用シ七種ノ議官ア  
リ七種一ニ曰ク成年ノ親王二ニ曰ク維也納會議ニ於テ公認セレ公族十六家ノ  
長三ニ曰ク國王ノ勅立セル有地貴族ノ長四ニ曰ク終身ノ貴族但シ豪農巨工或

ハ聲望アルモノニ就キ國王ノ撰任セシ者五ニ曰ク有爵貴族ノ撰任シテ其意思  
ヲ代表スル者六ニ曰ク大學校僧正及ヒ五才口以上ノ人民アル大邑長ノ代理人  
七ニ曰ク國王ノ特撰ヲ以テ終身若クハ某ノ時間上院ノ議官ニ任セシル者  
是レナリ

巴威器王國ノ上院ハ親王法親王大教正及ヒ舊家貴族ノ長以上世襲及ヒ天主教  
ノ教長新教ノ僧官等ニ就キ國王ノ勅任スル者ヲ以テ其議官ニ充テ所謂世襲  
君撰ノ二制ヲ併用ス

瓦兒田堡王國ノ上院ハ貴族院ト稱シ王族及ヒ貴族ノ長者元ト日耳曼國會ニ差  
人ヲ出セシ地方ノ代議人並ニ國王ノ勅撰シテ終身之ニ任スル者ヲ以テ其議官  
ニ充ツ但テ勅撰ノ議官ハソノ定員ナシト雖モ議官全數ノ三分之一ニ超過セザル  
ヲ要ス

迦遜王國ハ世襲君撰民撰右族撰舉帶職自當ノ五制ヲ混用シ以テ其上院ヲ組織  
シ實ニ諸親王八侯地ノ領主世襲有地貴族ノ代議人十二人右族撰舉國王ノ直撰  
ノ終身貴族ニ叙スル者十二人(君撰)八府ノ知事五大學併ニ禮布爾山大學坊泉州

聖伯得寺院ノ總理(帶職自當)及ヒ其代議人(民撰)ヲ以テ其議官ト爲ス但其議官  
リ其撰舉人タルモノハ大學寺院ノ總理ヲ除クノ外皆ナ一年金七百五十圓以上  
ノ入額アル土地ヲ所有スルヲ要ス

巴教公國ノ上院モ亦タ器ホ迦遜ノ制ニ類シ實ニ公族ノ成年ニ至リタル者十貴  
族ノ家長累世十二萬五千圓以上ノ價アル土地ヲ所有スル者布爾堡天主教頭新  
教管長大學ノ代議人二名及ヒ國公撰任ノ議官八人ヲ以テ之ヲ組織ス

海軍公國モ亦タ世襲帶職自當君撰ノ三制ヲ混用シ公族並ニ貴族ノ長者天主教  
ノ教正新教ノ管長魏美大學ノ別當及ヒ國公撰任ノ終身議官ヲ以テ其上院ヲ組  
織ス但タ國公ノ撰任スルモノハ其數十名ヲ超ヘサルヲ要ス

漢堡府ノ元老官ハ十有八員アリソノ一半ハ制法ノ學ニ富メルモノヲ用キソノ  
殘員中七名ハ必ラス商賈ノ中ヨリ之ヲ舉ク而シテ之ヲ撰定スルモノハ本府ノ  
代議官ニシテ在職終身ヲ例トシ他ノ官吏タルヲ許サス但タ奉職六年ニ滿ルト  
キハ之ヲ辭スルヲ得ヒシムトアリ其制稍々己ノ說ニ近シ矣

丁抹王國ノ上院ハ元老官ト稱シ議官六十六人アリ其十二人ハ現任若クハ前任

ノ下院議官ニ就キ國王之ヲ勅撰シ終身其職ヲ奉ヒシメ其五十四人ハ間撰ノ法  
ヲ以テ之ヲ撰舉シ在職八年其官ニ充ルモノハ齡三十歳ニ滿テ汚行ノ聞ナキヲ  
要ス但タ議官撰定人ハ三箇ノ種類ヲ以テ之ヲ成立シ州郡ニ在テ重稅ヲ納ル  
者都邑ニ在テ重稅ヲ納ル者ノ代理人及ヒ撰權ヲ有スル全國民人ノ代理人ヲ  
以テ之ヲ組織スルヲ法トス

瑞典王國ノ上院ハソノ下院ト均シク民人ノ撰舉ニ取テ其議官ヲ任ス上院ノ議  
官百二十八人ト稱シ人口三万毎ニ一官ヲ撰舉スルヲ法トス而シテ之ヲ撰舉ス  
ルノ權ハ每州ノ州會及四都府ノ府會ニ歸シ其議官タルモノハ年齡三十五歳ニ  
滿テ撰舉ノ以前三年ノ久キ二万二千二百五十圓ノ價值アル不動産ヲ所有シ若  
クハ一千百十五圓ノ入額所得ヲ有スルモノニ限リ在職九年ヲ定例トス

諾威王國ノ國會ハ一種別様ノ制ヲ用ヒ稍々一局議院タルノ觀アリト雖モ又一  
面ヨリ之ヲ觀レハ二局議院ノ實アルヲ免レス故ニ余今之ヲ茲ニ叙テ以テ其制  
ヲ示ス蓋シ不倫ノ事ニ非ラサルヲ知ルナリ諾威現行ノ憲法ニ據ルニ國民ノ齡  
二十五歳ニ滿テ現ニ官吏タル者並ニ營テ官吏タリシ者自六十五圓以上ノ價ア



ル不勤産ヲ所有スル者、五年以上ノ定期ヲ立テ上文ノ土地ヲ小作スル者及ヒ都府民タルノ權利ヲ得タル者ハ皆テ國會ノ議員ヲ撰舉スルノ權ヲ有シ其齡三十歳ニ滿テ十ヶ年以上ノ諸國ノ國內ニ住居シ現ニ撰舉人タルノ權利ヲ有スル者ハ皆テ被撰ノ權利ヲ有ス而シテ其撰舉ノ法ハ問撰ノ制ヲ用キ毎三年各州各府ノ人民ハ其州其府ノ分寺ニ集會シ都府ニ在テハ撰舉人五十名ニ一人州郡ニ在テハ撰舉人百名ニ一人ノ割ヲ以テ其撰舉人ヲ撰舉セシメテ國會議員ヲ保舉セシム而シテ國會議官ノ會集スルヤ豫メ之ヲ二分シテ之ヲ甲乙ノ二室ニ坐セシメ甲ハ議官總數ノ四分ノ一ヲ以テシ乙ハソノ三分ヲ以テストアリ以テ其實質ノ如何ヲ知ルヘシ

佛蘭西ハ數々ソノ制度ヲ變革シ上院ノ廢置頗ル常ナラス而シテ今之ヲ置クノ制ヲ按スルニ路易十八世所定ノ憲法及ヒ統領那威烈翁所行ノ憲法アリ路易所定ノ憲法ニ據ルニ上院ノ議官ハ貴族ヲ以テ之ニ充テ定員ナシ國王隨意ニ貴族ヲ立テ或ハ終世或ハ永世ソノ位ニ在ルヲ得セシメ滿廿五歳ニ至レハ上院ノ議席ニ列シ滿三十歳ニ至レハソノ議決ニ加ハルヲ許ストアリ又那威烈翁所行ノ

憲法ニ據ルニ元老官ハ定員一百五十人ト爲シ僧都陸海軍將及ヒ統領所撰ノ常人ヲ以テ之ニ充テ在職終身ト爲ストアリ又以テ其大要ヲ知ルニ足ル

自耳義王國上院ノ議官ハ下議院議官ノ半數ニ當ルヲ以テ其定員トシ下院ノ議官ヲ撰舉スル者別ニ撰舉シテ之ヲ差出ス議官ノ在職ヲ八ヶ年ト定メ毎四年ニ其半員ヲ改撰ス但議院解散ノ時ハ此例ニ在ラス而シテ議官タルニ品等アリ曰ク白日義ニ生レ若クハ之ニ歸化シ其自耳義國民タル者曰ク國法ニ從ヒ民權及ヒ政權ヲ享有スル者曰ク自耳義國ニ住居スル者曰ク年齡四十歳以上ナル者曰ク直稅四百二十圓以上ヲ納ムル者但シ其州ノ民人中直稅四百二十圓以上ヲ納ムル者僅少ニシテ人口六千人毎ニ元老官ヲ差出スルコトヲ得サル時ハ更ニ之ニ準ク最高ノ直稅ヲ納ル者ヲ加ヘテ之ヲ投票撰舉スルヲ得シメ毎六千口必ラス一元老官ヲ差出スルヲ要ス是レナリ國王ノ偏嗣ハ十八歳ノ齡ニ至レハ上院ノ議席ニ列シ廿五歳ニ至レハソノ可否決ノ數ニ加ハルヲ得ルヲ定例トス

瑞士聯邦ノ列邦議會ハ自カテ上議院ノ位置ニ當ルカ如シ而シテ聯邦國憲第六

十九條ニ據ルニ列邦議會ハ列邦ノ代議士四十四員ヲ以テ之ヲ組織ス每邦代議士二員ヲ撰任ストアリ稍々米洲聯邦ノ元老官ニ類セリ

荷蘭王國ノ上院ハ議官三十九人ヲ定員トシ每州ノ議會ニ於テ人口三千コトニ一員ノ割ヲ以テ州内重量ノ直稅ヲ納ル、者ニ就テ之ヲ撰舉ス但其被撰人ハ荷蘭國民ニシテ民權政權ヲ全有シ年齡三十歳ニ滿ツルノ資格ヲ備フルヲ要シ在職九年三年コトニ其三分一ヲ更撰ス

伊太利王國ハ又一種ノ制ヲ用ヰ自カラ前ノ致者ト同シカラス今其憲法ヲ按スルニ本國上院ノ議官ハ實ニ二種ノ原質ヲ以テ之ヲ組成シ一ハ丁年ノ王族ヲ以テシ一ハ國王ノ勅撰シテ終身其職ニ在ラシムル者ヲ以テス但ク國王ノ之ヲ勅撰スルニ制アリ頗ル被撰者ノ品等ヲ限ル曰ク年齡四十ニ滿タサルヘカラス曰ク曾テ顯要ノ職ニ在リ若クハ文學藝術ニ名アリ若クハ國家ニ裨益アルノ事業ヲ爲シ若クハ年々六百圓以上ノ納稅ヲ爲ス者ヲサレヘカラスト是レナリ是レ班牙王國ノ元老官ハ三箇ノ種類ヲ以テ之ヲ組成シ其第一種ハ自家ノ權利若クハ帶職ノ故ヲ以テ直ニ議官タルモノヲ稱シ國王ノ子及ヒ太子ノ子ニシテ丁

年ニ至ル者、一等貴族ニシテ年々一万二千圓以上ノ入額ヲ所得スル者、海陸軍ノ大將、印度大僧都、僧都、樞密議長、上等裁判長及ヒチユエノスタル、レキノ一級判長ノ類是レナリ其第二種ハ國王ノ特撰ヲ以テ終身之ニ任スルモノヲ稱シ定員凡ソ一百人トス其第三種ハ公立諸協會及ヒ高稅支納者ノ撰舉スルモノヲ稱シ每五年其半數ヲ改撰スルヲ定制トス

葡萄牙王國ノ上院議官ハ國王ノ之ヲ勅撰シ終身其職ニ居ラシム按スルニ昔時ハ貴族中間ノ上院ノ議官ヲ世襲セシモノアリシト雖モ一千八百六十四年(我孝明天皇元治元年)ノ公會ニ於テ其世襲ヲ廢止スルノ法令ヲ議決シ凡ソ大學ヲ卒業シ並ニ二千五百圓以上ノ入額アル貴族ニアラサレハ議官ノ職ヲ繼承スルヲ得サラシム

英吉利王國ノ上院議官ハ皆テ貴族ヲ以テ之ニ充テ凡ソ五箇ノ種別アリ第一、世襲ノ特權アル者、第二、國王ノ新叙スル者、第三、帶職ニ依ル者即チ英國ノ諸大教正、第四、終生間之ニ撰任セラレ、者即チ愛蘭ノ貴族、第五、國會一期中ソノ撰ニ當ル者即チ蘇格蘭ノ貴族是レナリ按スルニ昔時ニ在リテハ貴族ヲテ國會ニ參席

セシムルト然ラサルトハ一ニ昔ナ國王ノ全權ニ歸シ憲倍須漢ノ後後ト歐王  
 ノ特詔ヲ受クニアテサレハコレニ臨ムコトヲ得キラシメテ然リト雖モ  
 世襲貴族ノ上院ニ參席スルヲ得ルノ權利ハ其存スルコト既ニ久シク若シ其祖  
 宗ノ旨ヲ詔勅ヲ受ケ其會議ニ參與セシ証左ヲ提出セハ能ク其世襲ノ權利ヲ討  
 索スルコトヲ得ク又新列ノ貴族ハ詔勅ヲ以テ特ニ貴族ニ列叙セラル、者コ  
 シテ其之ニ叙セラル、ヤ又勅釋ヲ下シテ之ヲ上院ニ徵ス而シテ一旦其勅書ヲ  
 得ハ登時直ニ列會スルモ否ラサレモ爾後上院議官タルノ權利ヲ有、又勅カス  
 ヘカラス而シテ貴族ノ上院ニ列席スル權利ニ就テ疑問アルトキハ其當該ノ人ハ  
 某ノ事務長官ヲ經テ徵召ノ勅書ヲ垂レンコトヲ請願シ大檢事爲メニ其理ヲ申  
 明ス是ニ於テ王之ヲ允キント欲スレハ直ニ其請ニ從ヒ若シ之ヲ難ニスルハ  
 大檢事王ニ勸メテ之ヲ上院ニ下議セシム上院ハ則チ全院ノ議官ヲ以テ商量委  
 員トシ其決議ヲ報セシメ以テ之ヲ奏聞ス又世襲貴族ハ上院ノ定則ニ依リ一二  
 ノ式ヲ用キスシテ直ニ席ニ就クヲ得其新ニ之ニ列セラレ新ニ會同ニ參シタル  
 者ハ紹介ノ式ヲ經テ其坐ニ着クヲ要ス而シテ國王貴族ヲ立ツルノ特權ハ殆ク

ト籍制スル所ナク近時ノ政府屢々此權ヲ用キテ以テ上院ノ議官ヲ任ス然レト  
 モ英蘇聯合ノ條規ニ據ルニ蘇格蘭貴族ノ代理人ヲ撰舉スルノ權利ハ特ニ當時  
 現ニ其家ヲ爲セシ貴族ノミニ盡ストアリ今是ニ由テ之ヲ觀レハ王位ニ蘇格蘭  
 ノ新貴族ヲ立ツルヲ得サルノ狀アリ剩サヘ之ヲ實際ニ徵スルニ其絶世ヲ繼キ  
 其廢家ヲ起スモノ、外ハ王家至戚ノ人ニアラサルヨリハ未ダ曾テ之ヲ列シテ  
 新貴族トナセシコトアラス又英愛聯合ノ條規ニ據ルニ現在ノ貴族ニシテ既ニ  
 其三家ヲ亡フトキハ國王新ニ一家ヲ立ツルヲ得若シ其貴族ニシテ滅ベテ一  
 人ニ至レハ一家絶シテ一家ヲ立ツルヲ得トアリ再英國ノ憲法史ヲ按スルニ  
 一千八百七十三年(我今上明治六年)ノ會同ニ於テ貴族ノ上院ニ列セシ者四百七  
 十九人アリ其四人ハ王族ニシテ其二人ハ大政正共二十人ハ公爵ノ者共十九人  
 ハ侯爵ノ者共一百零九人ハ伯爵ノ者共二十四人ハ子爵ノ者共二十四人ハ政正  
 共二百三十三人ハ男爵ノ者共一十六人ハ蘇格蘭貴族ノ代理人共二十八人ハ愛  
 爾貴族ノ代理人トス然レトモ其中猶ホ未ダ丁年ニ及ハサルモノアリ又其世襲  
 ノ爵位アルト官職アルトキ以テ上院議官名簿ノ中其名ヲ復寫スルモノ數名ア

リ而シテ一千八百三十年以後ニ在テ上院職官ノ名籍中ニ其名ヲ載スルモノヲ  
 觀ルニ一千八百三十年(我仁孝帝天保元年)ハ三百九十三人同四十年(我天保十一  
 年)ハ四百五十七人同五十年(我孝明天皇嘉永三年)ハ四百四十八人同六十年(我萬  
 延元年)ハ四百五十八人同七十年(我今上明治三年)ハ四百七十三人ト爲ス而シテ  
 此世襲貴族ハ大抵其家ヲ八百年代(我光格帝寬政十一年以前)ニ興ス者多ク其  
 最舊ノ貴族ニシテ一千三百年代(我後伏見帝正安元年以前)ノ末ニ興ル者三家其  
 四百年代(我後小松帝應永六年以前)ニ興ル者四家其五百年代(我後柏原帝文龜六  
 年以前)ニ興ル者七家其六百年代(後陽成帝慶長五年以前)ニ興ル者十二家其七百  
 年代(我東山帝元祿十二年以前)ニ興ル者三十五家其八百年代(我光格帝寬政十一  
 年以前)ニ興ル者九十五家其九百年代ニ興ルモノ二百三十九家アリ而シテ一千  
 八百三十年以還七十二年(今上明治六年)ニ至ルマテ凡四十年ノ間貴族新叙ノ宜  
 旨ヲ發スル者前後一百八十八回トス即チ其三十四人ハ虞禮侯執政ノ時コレヲ  
 叙テ其三十九人ハ馬爾保稔侯執政ノ時其十一人ハ比爾氏執政ノ時其二十四人  
 ハ羅該侯伯執政ノ時其二十三人ハ白爾米兒須頓氏執政ノ時其二十五人ハ

馱兒備章侯執政ノ時其四人ハ治彌禮利氏執政ノ時其廿八人ハ虞長土須頓  
 氏執政ノ時之ヲ叙テ爾後猶ホ若干名ヲ加ヘリトアリ今是ニ因テ之ヲ觀レハ英  
 國ノ上院ソノ名ハ世襲ノ貴族ヲ以テ之カ議官ヲ組成スト雖モ其實ハ官撰ニ類  
 スルニ右族撰舉帶職自當ノ二制ヲ以テスルモノニシテ其名實ノ相副ハサル誠  
 ニ此ノ如シ然ルニ世ノ論者問ク英國ヲ以テ世襲上院ノ制ヲ用ウルモノト爲ス  
 アリ抑モ是レ極メサルノ弊ナリ

米洲聯邦ノ元老官ハ各邦ノ邦會ニ於テ之ヲ公撰シ在職六年每邦二人ヲ差出ス  
 但チ此官ニ撰ハルモノハ年齢三十ニ滿チ聯邦國民ノ名籍ニ在ル既ニ九年ノ  
 久ニ及ヒ又其邦内ニ住居スルヲ要ス

巴西帝國ハ又一種ノ制度ヲ立テ前ノ數者ト同シカラス今其憲法ニ據ルニ元老  
 議官ハ終身ノ職官ニシテ之ヲ撰舉スル爲メ各州先ツ候補者撰定會ヲ開キ各々  
 候補者三人ヲ指名シ之ヲ國帝ニ奉ス國帝ハ宰相ト議シテ其一人ヲ勅撰ストア  
 リ而シテ其議官タルモノハ本國木生ノ國民ニシテ年齢四十歳ニ滿チ一歳八百  
 圓以上ノ所得アルモノタルヲ要ス蓋シ又一種ノ制度ト謂フヘシ

平智共和國ノ元老官ハ稍々己説ノ方案ニ據テ之ヲ組織スルモノ、如シ而シテ其任期ヲ定メテ二年ト爲シ撰舉人指名ノ候補者ニ就キ代議官之ヲ撰定ス  
 加拿陀英屬地議會ノ元老ハ各州ノ民人ニ就テ總督之ヲ撰舉シ終身之ニ任ス但シ其議官タルモノハ生來ノ英人若クハ歸化ノ英人ニシテ年齢三十歳ニ滿テ其撰任セラル、州縣ニ於テ四千弗以上ノ價アル動産若クハ不動産ヲ所有スルヲ要ス

上來ノ外立憲ノ政ヲ行ヒ上議院ヲ置クモノ無慮數十國ニ下ラス然レトモ其制度略ホ上文所叙ノモノニ如ク未ダ曾テ大ナル差異アルヲ見サルナリ故ニ今ソノ重複冗雜ヲ避ケ總テ省略ニ從フ讀者若シ照例ニ足ラサルヲ感セハ幸ニ自カラ考フル所アレ焉

第廿一章 議政官ヲ細論ス四。上院ノ特務。行政參與ノ特權。司法干預ノ特權。官吏職務罪ノ審判。歐米各土ノ典例並ニ其批評。職官ノ撰任。歐米各土ノ典例並ニ批評。

上院ヲ組織スルノ制概テ前章ニ述フルカ如ク今ヤ又述説ノ步武ヲ邁メ上院ノ特務如何ヲ講究スルニ泰西諸家ノ所説及ヒ各土ノ實例各々異同アリ甲ハ曰ク諸政ヲ議定スルノ職務外猶ホ別ニ某々ノ施政權ヲ舉ケ之ヲ上院ノ議官ニ與フヘシト宇兒聖説ヲ爲シテ曰ク上院ニシテ人員夥多ナラス而モ能ク人民ノ信孚ヲ全フスルトセハ宜シク之ニ與フルニ施政ノ性質アル一種ノ特權ヲ以テシテ其勢力ヲ堅クスヘシ例ヘハ外國ノ條約ヲ批可スルカ如キ是レナリ抑モ外交ノ事ハ其商議ノ有効ヲ冀メカ爲メ其機密ヲ保ツテ要シ爲メ之ヲ施政部内ノ全權ニ屬シ夫ノ立君ノ國土ノ如キハ概シテ之ヲ君主ノ特權ナリト稱スト雖モ所謂ニル條約ナルモノハ廣シ關係ヲ法律憲法ノ上ニ及ホシ夫ノ通商條規ヲ定ムルカ如キ直ニ收稅ノ難易ヲ致シ又隨テ議政官ノ職權ヲ拘束スルモノアレハ勢ヒコレヲシテソノ間ニ干預スルヲ得セシメサルヲ得ス是レ蓋シ米洲聯邦ノ國憲ニ於テ元老官ヲシテ

各國訂盟ノ條約ヲ裁定スルノ特權ヲ有セシムル所以ニシテ誠ニ事ノ宜シキヲ得ルモノナリト其言フ所自カラ甲ノ説ニ屬ス而シテ米洲聯邦以下兩三國ノ國憲現ニ之ヲ實行ス

米洲聯邦國憲第二條第二節第二項ニ曰ク大統領ハ元老官ト商量シ其全員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ハ外國政府ト其條約ヲ訂盟スルノ權アリ又之ト商量シ其承諾ヲ得ハ遣外公使、各省長官、領事、及上等判事ヲ任スルノ權アリト是レ元ト大統領ノ職權ヲ明舉スルカ爲メ設クル所ノ條項ニ屬スト雖モ其裏面ヨリ之ヲ推セハ自カラ元老官ノ職權ヲ明示スルモノタルヲ知ル亞兒傳世テ此條ヲ註解シテ曰ク元老官ハ其員數僅少ニシテ代議官ノ夥多大衆ナルニ似ス故ニ夫ノ外交ニ關スル事ノ如キ重大ノ問題ヲ商議スルカ爲メ便利甚多ホシ但、其條約ヲ結フニ當テ始ヨリ元老官ノ交渉ヲ要スル乎將テ元老官ハ其成案ヲ可否スルニ止ル乎ノ一案ハ國憲中未ダ明文ノアル有ルヲ見ス然レトモ華聖東ノ言ニ據テ之ヲ謂ヘハ施政官ハ條約商議ノ前後ニ於テ元老官ノ意ヲ諮問スルヲ得ヘットアリト以テ米洲憲法ノ意ヲ明カスニ足ル

日耳曼帝國ノ上院モ亦旁ラ行政參議ノ職權ヲ帶フソノ憲法第七條第八條等ニ據ルニ行政ノ諸規則ヲ定メ及ヒ諸局課ヲ廢置スルノ議ニ參シ七種ノ常置委員ヲ置キ陸軍及各所ノ城堡ニ關スル事、海軍ニ關スル事、關稅及ヒ正租ニ關スル事、貿易及ヒ外交ニ關スル事、鐵道、郵便、電信ニ關スル事、司法ノ事、歲計ノ事ヲ分課セシメ宰相ノ指揮ヲ受ケ其事ニ從ハシムルモノナルヲ觀ル

漢堡自立都府ノ元老官モ亦テ議政權ノ外、別ニ行政ノ全權ヲ有シ其議長、副議長ハ在職ノ故ヲ以テ直ニ本府ノ知事、副知事、タルヲ制トス

葡萄牙王國ノ憲法ハ某ノ時機ニ際シ上議院ヲシテ行政官ノ事ヲ行ハシム其憲法第四十一條ニ貴族院ノ特權ニ三種アルヲ示ス其第三ニ曰ク國王ノ勅令ニ當テ假攝政官タル者國會ヲ召集スルヲ有セサレハ貴族院ハ自カラ之ヲ召集シ眞正ノ攝政官ヲ組成スルノ特權アリト

聖土美無毫共和國モ亦テ北米聯邦ノ制ニ倣ヒ元老院ヲシテ各省長官撰任ノ議ニ參セシムルヲ法トス

乙ハ曰ク某々ノ司法權ヲ舉ケテ之ヲ上院ノ議官ニ與ヘ以テ諸官吏ノ公罪等ヲ審

判セシムヘント英國ノ憲法ヲ註釋スルモノ存テ孟的斯鳩ノ説ヲ祖述シテ曰ク國  
 會ヲシテ司法ノ職權ヲ行ハシムル一種ノ慣例ハ本來日耳曼人古代ノ慣行ニ仍リ  
 更ニ之ヲ修正改良セシモノナリ今通般ノ理ニ據テ之ヲ首ヘハ魁メテ立法司法ノ  
 總合ヲ避クヘキハ事ノ當ナリト雖也夫ノ官吏ノ行政ヲ誤リ以テ人民ノ權利ヲ損  
 傷シ通常ノ法官其罪ヲ問フヲ得サルニ當テ勢又之ヲ正スノ一官ナカラサルヘカ  
 ラス惟フニ是ノ時ニ當テ下院ノ議官ヲシテ之ヲ審斷セシメシ平彼レ實ニ被害者  
 即チ人民ノ代人ナリ宜シク其罪ヲ彈劾スヘシ勢也其判官タルヘカラス然ラハ則  
 チ通常ノ裁判所ヲシテ之ヲ審理セシメシ平彼レ威嚴甚輕シ必ラス告發者即チ下  
 院ノ抑壓ニ當ルニ堪ヘキラン是レ上院ヲシテ其審判ノ責ニ當ラシムヘキ所以ニ  
 シテ彼ノ貴族ハ人民ト其利害ヲ同フセス又之ト其感情ヲ異ニスルモノナレハ其  
 審判自カラ公平中適ノ宜ヲ得ン矣ト而シテ米洲聯邦ノ憲法ハ之ヲ祖述シテ其權  
 チ元老官ニ歸シ歐洲大陸各土ノ憲法多ク之ニ倣フ今英國以下數邦ノ憲法ヲ案ス  
 ルニ其明文凡ソ左ノ如シ

英國ノ慣習法ヲ編スル者博士武兒無曰ク國會ノ高等ノ法院タル所以ハ諸般ノ

法律ヲ議定スルノ故ノミナラス實ニ上下議官ノ犯罪ヲ審判スルニ依ル而シテ  
 ソノ彈劾ノ狀ハ下院之ヲ發シ上院之ヲ審判スト

米洲聯邦國憲第一條第三節第六項曰ク元老官ハ諸凡ノ彈劾ヲ受理シ之ヲ糾  
 治スルノ全權ヲ有ス其聯邦ノ大統領ヲ糾治スルニ當テハ大審院長之カ上席ヲ  
 占ムト亞兒傳之ヲ註釋シテ曰ク此一項ハ英國ノ憲法ニ基テ之ヲ設ケ此項アル  
 ニ依テ元老官ハ某々糾治ノ爲メ司法ノ權職ヲ行ヒ其罪案ヲ成斷スルヲ得而シ  
 テ其聯邦ノ大統領ヲ糾治スルニ當テ大審院長コレカ上席ヲ占ムルモノハ抑モ  
 故アリ蓋シ聯邦ノ大統領ニシテ有罪ノ宣告ヲ受ケ其職ヲ革メラルハアテハ副  
 統領之ニ代ヘルヲ本國ノ定制ト爲スヲ以テ副統領私意ヲ挾ムノ嫌ナキ能ハス  
 故ニ元老ノ議長タル副統領ヲシテ其審斷ニ關セシメヌ却テ大審ノ院長ヲシテ  
 其上席ヲ占ムルモノナリト又隨宜ノ一法ト稱スヘシ

西班牙王國ノ舊憲法モ亦テ元老院ニ與フルニ司法ノ職權ヲ以テスルアリ其憲  
 法第十九條曰ク元老院ハ立法ノ職權ヲ保有スルノ外猶ホ別ニ左ノ三權ヲ有  
 ス第一代議院ノ彈劾ニ係ル執政官ノ公罪ヲ裁判ス第二法律ニ違テ國王ノ身體

若クハ威嚴ニ對スル犯罪及國ニ對スル重罪ヲ裁判ス第三法律ニ定メタル特權  
ニ際シ之ニ定メタル規程ニ遵ヒ元老議官ノ公罪ヲ裁定スト是ニ因テ之レヲ觀  
レハ西班牙舊王國ノ憲法ハ元老院ニ與フルニ唯リ官吏ノ公罪ヲ裁判スルノ權  
ヲ以テスルノミナラス又更ニ擴ケテ國事ノ犯罪ヲ審斷スルノ全權ヲ以テセ  
モノナルヲ觀ル

葡萄牙王國ノ制モ亦タ概テ西班牙舊制ノ如ク上院ニ與フルニ司法ノ職權ヲ以  
テシ更ニ其廣キヲ加フルカ如シ其憲法第四十一條ニ曰ク貴族院ハ左ノ特權ヲ  
有ス第一王族若クハ執政若クハ參議若クハ貴族院議官ノ犯罪及ヒ代議官ノ會  
期中ニ犯シタル罪案ヲ審斷ス第二執政若クハ參議ノ責任ニ就キ其有無ヲ審斷  
スト其權タル唯リ官吏ノ公罪ヲ審斷スルニ止マラス又擴ケテ某々ノ常事犯ニ  
及ホスモノナルヲ觀ル蓋シ過キタリト謂フヘシ

佛蘭西ニ在テハ路易十八世所定ノ憲法實ニ上院ノ司法權アルヲ言明ス其憲法  
第廿八條ニ曰ク貴族院ハ大逆ノ罪ヲ犯シ及ヒ國土ノ安寧ヲ亂ル者ヲ審判スト  
是レナリ

丁抹王國ハ一種別様ノ制ヲ建テ某々ノ司法權ヲ舉ケテ之ヲ上院ノ議官ニ與フ  
其憲法第六十八條ニ曰ク高等法院ハ大審院ノ判事及ヒ上院ノ議官ヲ以テ之ヲ  
組成シ各々全員ノ當半トスト又其第六十九條ニ曰ク高等法院ハ國王若クハ下  
議院ノ宰相ヲ彈劾スル者ヲ受理レ之ヲ審斷スルノ權アリト以テ其別様ノ一制  
タルヲ觀ルヘシ

上院ヲシテ司法ノ職權ニ干預セシムルノ典例概テ此ノ如シ而シテ其之ヲシテ之  
ニ干預セシムルノ要ハ之ヲ以テ官吏ノ公罪ヲ審判セシメント欲スルニ在ルカ如  
シ依テ因ミニ歐米各土ニ在テ官吏ノ公罪ヲ審判セシムルモノヲ講スレハ上文所  
述ノ外猶ホ許多ノ典例アリ今其一ニテ舉ケンニ白耳義以下方ニ左ノ如シ

白耳義王國ノ典例ハ上下ノ兩院ヲシテ各々彈劾ノ權ヲ有セシメ大審院之ヲ審  
判スルモノ、如シ其憲法第四十條ニ曰ク各院ハ糾治ノ權ヲ有スト又其第九十  
五條ニ曰ク大審院ハ事實ノ裁判ヲ爲サス但テ諸大臣職務罪ニ係ル裁判ハ此例  
ニ在ラスト相照シテ其實ヲ知ルヲ得

巴敦公國ハ又別様ノ一例ヲ立テ唯リ議院ヲシテ諸大臣ノ公罪ヲ彈劾審判セシ



ムルノミナラス又人民ヲシテ其措置ノ不當ヲ告訴スルヲ得セシメ大審院之ヲ受理審判スルヲ制トス

諾威王國ハ大臣ノ公罪ヲ彈劾糾治スルニ當テ議會ノ乙室其劾訴狀ヲ作リ甲室ノ議官高等裁判所ノ判官同ト作シ其判決ヲ下スヲ制トス

以上所述ノ論說及ヒ典故口就キ概括シテ其得失ヲ論センコ第一元老官ノ條約ニ干預スルモノヲ以テ行政參與ノ特權ト爲スハ宇氏ノ說當ラサルカ如ク抑モ外國ト條約ヲ結フハ一國ノ大事ニシテ之ニ依テ某々ノ法制ヲ調停シ又之ニ依テ關稅賦課ノ制ヲ定メ以テ其屬民ヲ治理拘束スルモノナレハ本國ノ議政官ヲシテ之ノ批准ヲ爲サシムルハ議政官正當ノ職務ヲ行フモノナルノミ惟フニ條約ノ訂盟ニシテ其機密ヲ保ツテ要セス公開シテ之ヲ商議スルヲ得ルモノナラレハ直ニ之ヲ國會ニ下シ細カニ其得失ヲ議セシムヘシ唯ク如何セン條約訂結ノ事ナル多少臨機應變ノ計畧ヲ要ス爲メニ商議ノ機密ナルヲ欲スルモノナレハ勢ヒ之ヲ以テ之ヲ國會ノ公議ニ付スルヲ得ズ唯ク之ヲ成案ノ批准ニ止メ若シハ少數ナル元老官ヲシテ之ニ干預セシムルモノ、故ニ的切ニ之ヲ官ヘハ某々ノ議政權ヲ停止

シテ之ヲ國會ノ下院ニ與ヘス僅ニ之ヲ上院ノ議官ニ與フルモノト稱スヘク未ダ上院ヲシテ行政權ニ參與セシムルモノト謂フヘカヲサルナリ第二各省長官等ノ撰任ニ干預スルモ亦ク議會ノ行政權ニ參與スルモノト言フヘカヲス抑モ内閣ハ有望ノ政黨ヲ以テ組成スヘキノ理ハ昔人ノ夙ニ論スル所ニシテ輿論ノ許ス所ナルノミナラス又所謂ル行政官ナルモノハ議會ノ所決ヲ奉シテ之ヲ天下ニ施行スルノ責ニ當リ毎ニ命テ議會ニ聽クヘキモノナレハ其之ヲ撰任スルニ當テ議會ノ干預ヲ被ルハ決シテ非當ノ事ニ非ラサルナリ果シテ然リ故ニ其干預ノ權ヲ盡シテ之ヲ元老官ニ限ルハ余レ輩ニ其不備ナルヲ覺フ第三日耳曼帝國ノ常設委員及ヒ漢堡自立都府ノ元老官ノ如キハ明カニ行政ニ參與スルモノト謂フヘシ然レトモ是レ元ト議政行政ノ二權ヲ一所ニ綜合スルモノニ非ラス自カラ其分界ヲ明別スルモノ、如クナレハ寧ロ議政行政ノ二官ヲシテ相容レ互ニ惹スルノ餘地ヲ獲フヲ得セシメ隨テ政治ノ運行ヲ圓滑ナラシムルニ便アラム第四官吏ノ公罪ヲ審斷スルノ權ハ明カニ司法權ノ一種ニ屬ス然レトモ斯ノ一權ヲ議會ニ歸スルノ故ヲ以テ議政司法ノ二權ヲ一所ニ總合セリト稱スヘカヲス否ナ某々ノ時機ニ畫限

スルヲ以テ之ヲ之ニ總合スルモ未ク自ラ其弊害アルヲ見サルナリ但ク西班牙葡  
 萄牙二國ノ憲法ノ如ク之ヲ據ケテ國事犯若クハ某々ノ常事犯ニ及ホスニ至テハ  
 其弊ヤ多ホシ第五官吏ノ公罪アルニ當テ議官ト判官トシ混シ會審ノ法庭ヲ開キ  
 若クハ大審院ヲシテ其劾訴ヲ受ケシムルカ如キハ共ニ一種ノ制度ト稱シテ不可  
 ナキカ如シ  
 之ヲ要スルニ議會ノ全部若クハ其一部ヲシテ某ノ時機ニ際シ某ノ事項ニ關シ若  
 クハ行政若クハ司法ノ事ニ干預セシムルハ事ノ甚ク非理ナルモノニ非ラス又會  
 審ノ法庭ヲ開キ官吏ノ公罪ヲ審判セシムルカ如キハ皆ナ一種ノ制度コレヲ未  
 其曲所アルヲ見ス唯ク夫レ是ヲ以テ此政取ノ制度ノ如キハ其國情ニ適スル如何  
 ナ察シテ之ヲ用捨スヘキアルノミ未ク始ヨリ孰レカ適シ孰レカ適セサルヲ判別  
 スルヲ要セサル也  
 上議院職員ノ制歐米各土ノ典例頗ル一ナラス殊ニ其議長擔任ノ事ニ至テハ故實  
 大ニ異同アリ今其首要ナルモノヲ講スルニ英國以下數國ノ典例概テ左ノ如ク  
 英國ノ制ニ據レハ上院ノ議長ハ大法官コレヲ選シ其書記官以下ハ上院自カラ

之ヲ擔任ス

米洲聯邦ノ制ニ據レハ元老官ノ議長ハ副統領コレニ對シ書記官以下ハ元老院  
 自カラ之ヲ擔任ス  
 日自曼帝國ノ制ニ首相上院ノ議長ヲ選シ書記官以下ハ上院自カラ之ヲ擔任ス  
 寺魯士ノ制ニ上米ノ數制ニ異ナレリ其憲法第七十八條ニ曰ク各院ハ其議長副  
 議長ヲ撰フト上院自カラ其議長ヲ選舉スルノ權アルヲ觀ルヘシ  
 捷斯利王國ノ憲法第九條ニ據ルニ會期毎ニ勅撰ヲ以テ上院ノ議長副議長ヲ任  
 シ書記官以下ハ上院自カラ之ヲ擔任ストアリ  
 佛蘭西ニ在テハ路易十八世所定ノ憲法條兩那爾烈翁所行ノ憲法互ニ異同アリ  
 甲ハ英國ノ制ヲ模倣シテ大法官上院ノ議長ニ當リ乙ハ年々元老官ニ就テ統領  
 之ヲ擔任スルヲ制トス  
 丁抹王國ハ議院自撰ノ制ヲ用ニ其憲法第六十條ニ曰ク各議院ハ議長ヲ撰舉シ  
 及ヒ議長閑席ノ時ハ假議長一名若クハ數名ヲ撰舉スルノ權アリト  
 白耳義王國モ亦議院自撰ノ制ヲ採リ每會コレヲ更撰スルヲ定制トス其憲法第

三十七條ニ曰ク每會各院ハ其議長及副議長ヲ撰フト蓋シ之ヲ開フナリ  
 荷蘭ノ制ハ壞物利ト均シク國王ノ勅撰ヲ以テ上院ノ議長ヲ任ス其憲法第八十  
 七條ニ曰ク國王ハ會期毎ニ上院ノ議長ヲ撰任スト蓋シ之ヲ開フナリ  
 上議院職員ノ制ニ係ル歐米各土ノ典例概テ此ノ如シ而今大別シテ其種類ヲ分  
 ツコ議院自撰國王勅撰ノ二門トス或人曰ク上院ハ國王ノ輔翼タリ是ヲ以テ國王  
 勅シテ其職員ヲ任スト上院ヲシテ果シテ專ラニ國王ノ輔翼タルモノナラシメ  
 乎或人ノ説或ハ當ルアラフ然レトモ立憲ノ國土ニ在テ國王政治ノ輔翼タルモノ  
 獨リ上院ノ議官ニ止マラス廣ク之ヲ朝野ノ衆庶ニ及ホスヘキモノナレハ勢ヒ之  
 ナ上院ノ議官ニ盡限シ爾他ノ議官等ヲ外人視スヘカラス而シテ若シ之ヲ外人視  
 スルアラハ政治ノ運行自ラ梗概シテ圓滑ナラス爲メ一國ノ治理ヲ誤ルニ至ラ  
 ム吾人豈ニ其不祥ヲ見ルニ忍ヒン哉唯夫レ是ヲ以テ國王ハ宜シク上下ノ二院ヲ  
 平等視スヘシ必ス彼ヲ疎シ此ヲ親シムヘカラス否ナ上下ノ二院皆テ國王政治ノ  
 輔翼タリ彼此ノ間決テ親疏厚薄ノ別アルヘカラスナルナリ彼此ノ間既ニ親疏厚薄  
 ノ別アルヘカラス或人ノ説將キニ何ニ據テ之ヲ立テントスル乎余レ其據ル所ナ

キヲ知ルナリ且ツ饒ヒ或人ノ説ノ如ク上院ハ王家輔翼ノ責任ヲ專擔スルモノナ  
 ラシムルモ國王勅シテ其職員ヲ任スルニ至テハ議院自主ノ權利ヲ破却スル甚多  
 ホシ吁々天地間ノ事物ソノ自主ヲ得ハ必ラス活動シ之ヲ得サレハ必ラス委靡ス  
 是ヲ以テ上院ノ如キモ其自主ヲ失スレハ余レ其能クスルナキヲ知ルナリ故ニ我  
 邦ノ如キハ曩日議院自撰ノ制ヲ採リ以テ上議院ノ自主ヲ全フスヘキヲ知ルナリ

第廿二章 議政官ヲ細論ス五。下院ノ組織ヲ論ス一。下院ノ組織ニ係ル八種ノ問案。撰舉權ノ有限無限ヲ論ス。普通撰舉ノ得失。其二種ノ弊害。

有限撰舉ノ要須。品等表章ノ三要。年齒。財産。藝業。學業等諸洲ノ典例。

立憲ノ政治ヲ創メ民ト共ニ其國ヲ治理セント欲スル邦土ニ在ラハ議院ノ一局ヲ設テ必ラス本國ノ輿望ヲ代表セシメ其政治上ノ才能ト其志想トヲ表章セシメテルヘカラス是レ人民ノ代議官ヲ以テ下議院ヲ組織スヘキ所以ノ原理ニシテ字内ノ輿論既ニ定マル所ナリ故ニ余レ今敢テ深ク其然ル所以ノ理ヲ説カス直ニ其組織ニ係ル各種ノ問題ヲ條論シ以テ述説ノ歩ヲ進ムヘシ

下議院ノ組織ニ係ル問案ノ要ナルモノ八種アリ一ニ曰ク撰舉權ハ有限ナル乎將ク無限ナル乎二ニ曰ク撰舉ノ法ハ何等ノ制ニ據ル乎多數ヲシテ少數ヲ壓セシムル乎將ク多數少數共ニ其代議官ヲ差出スルヲ得セシムル乎四ニ曰ク撰舉ハ人民ノ直撰ニ取ル乎將ク複撰ニ取ル乎五ニ曰ク投票ハ何等ノ制ニ據ル乎開示ノ投票ヲ用ウル乎將ク暗密ノ投票ヲ用ウル乎六ニ曰ク代議官ハ其品等ヲ立ツルニ要ス

ル乎七ニ曰ク代議官在職ノ年期ハ何等ノ点ニ定ムル乎八ニ曰ク代議官ハ撰舉地  
 方ノ意思ヲ代表スヘキ乎將ク全國人民ノ輿望ヲ表章スヘキ乎撰舉人ノ意見ニ據  
 テ一國ノ政事ヲ議スヘキ乎將ク自己ノ意見ヲ以テ之ヲ論スヘキ乎是レナリ此ノ  
 八種ノ問題タル皆十是レ代議政体ノ主要ニシテ各々重大ノ關係ヲ有レ世論問  
 之ニ及フノヨリナラス泰西學者ノ議論歐米各土ノ實例往々異同アリ未ダソノ一致  
 ナ見サルモノナレハ余ハ條ヲ重テ重テ連テ其得失當否ヲ細論セサルヲ得ス而レ  
 テ其第一着ハ撰舉權ノ有限無限ナルヲ論定スルニ在リ  
 撰舉權ノ原理ヲ説ク者曰ク撰舉ノ權ハ人生通般ノ權利ニシテ人々ノ平等ニ享有  
 スヘキモノナリ蓋シ一國ノ政治ハ其屬民一般ニ及スヘキモノニシテ其得失利害  
 各人ノ頭上ニ落トル者ナレハ之ヲ商量議定スルノ權ヲ舉ケテ之ヲ其人ニ與フ  
 ヘキハ事ノ當ニ然ルヘキモノナレハナリ試ニ讀者ニ向テ君ハ君ノ用ヲ節シテ貯  
 藏シテ財産ノ一分ヲ出シ之ヲ我ニ納メサカヘカラス然レトモ君ハ余カ何等ノ  
 用ニ供スルヲ問フヘカラス君ハ唯賦從テ之ヲ出シ其之ヲ何等ノ用ニ供スル  
 ハ我意思ノ儘ノミト謂ハ、則チ可ナラソ平曰ク否ナリ君ニシテ君ノ財産ヲ割愛

スヘキノ令テ聽カハ君ハ當然ニソノ供用ノ如何ヲ問フヲ得ヘシ唯々夫レ君ニ  
 テ當然ニ供用ノ如何ヲ問フヲ得則チ又當然ニ君ノ意思ヲ表章シ其得失利害ヲ討  
 論評議スルヲ得ヘキナリ是レ撰舉ノ人生通般ノ權利ナル原理ニシテ時勢ト人情  
 トヲ察シ廣ク之ヲ國內ニ及ホスヘキモノナリ撰舉權ノ原理實ニ此ノ如ク而シテ  
 普通撰舉、有限撰舉ノ二論依テ起ル矣  
 普通撰舉ノ理ヲ説ク者曰ク人誰レカ一國政治ノ下ニ棲息セシレモノアラン乎貧  
 人富豪ヨリシテ以テ車夫馬丁ノ陋民ニ至ルマテ皆ナ均シク政治ノ約束ヲ受ケソ  
 ノ利害得失ヲ蒙ラザルモノナシト又曰ク誰レカ一國政治ノ費用ヲ負擔セザルモ  
 ノアラン乎ソノ間接ト直接ト別ハ之レアランモ富人食者共ニ均シク其配額ヲ納  
 ルト又曰ク誰レカ一國防禦ノ責ニ當ラザルモノアランヤ貧賤ナルモ己レ貧困ナ  
 ルノ故ヲ以テソノ責ヲ辭スルヲ得ス然ルヲ今マ貧賤ナルノ故ヲ以テ一國ノ政治  
 ヲ商議スルノ權ヲ得セシメズ唯リ富有ノ人ヲシテ之ヲ專掌セシムルアル可ナラ  
 ソ平曰ク否ナリ政治ノ得失利害ヲ蒙ル貧富元ト主伴ナシ之ヲ商議スル又豈ニ彼  
 此ノ別アルヘケンヤ其理實ニ此ノ如シ是ヲ以テ撰舉ノ權利ハ普ク之ヲ國內ノ衆

民ニ及ホスヘシ勢ヒ彼レニ限り此ニ盡スヘキモノニアラサルナリト辨論小彌兒ノ徒實ニ此論派ニ屬ス辨論管テ英國撰舉權改正法案ナル者ヲ草シテ曰ク天下果シテ苦樂ヲ感覺セサルノ人アル乎(一)何物カ是レ果シテ人生ノ幸福快樂ナル乎(二)ソノ貧富貴賤ヲ分タス甲人ノ苦樂ハ能シ乙人ノ苦樂ニ過不及シ社會全般ノ苦樂ヲ輕重スルニ足ル乎(三)天下果シテ苦惱ヲ甘シテ快樂ヲ追フモノアル乎(四)天下果シテ苦惱ハ避クヘカラス快樂ハ追フ當カラサルノ人アル乎(五)天下ノ人ソノ苦惱ヲ避ケソノ快樂ヲ追フノ途ニ於テ終生其行爲ヲ轉スルコトナキ乎(六)天下ノ人其事ヲ爲スニ當テ自カラ其決案ヲ定ムルニアラザレハ必ラズ外ヨリ之ヲ領取スルナラム願フニ天下ノ廣キ果シテ自カラ其決案ヲ定メズ又外ヨリ之ヲ領取スルヲ爲サズ以テ其事ヲ爲スモノアル乎(七)天下果シテ自定決案ノ外ニ我行爲ヲ決スヘキモノナキ乎夫ノ一生至要ノ時ニ際シ果シテ能ク由外領取ノ決案ヲ用ウルヲ要セサル乎(八)一家ノ私事ヲ輕シテ一國ノ公事ヲ重シスルモノ天下果シテ幾人アル乎(九)唯テ夫レ此ノ如キ是ヲ以テ主治者被治者ノ關係ニ在テ其利害ノ感情ヲ異ニスルニ際シ其主治者タル寡人ニシテ威力アラヘ之レカ被治者タル大衆ハ如何ノ待

遇ヲ受クヘキ乎主治者ノ胸懷彼レノ如シ其關係知ルヘキナリ勢ヒ上來ノ如シ是ヲ以テ吾人ハ撰舉ノ權利ヲ普及シテ之ヲ通般ノ人衆ニ與ヘ以テ其弊害ヲ防止スルノ保固ト爲ササルヘカラスナリ況ンヤ且ツ撰舉ノ權利ヲ舉ケテ廣ク之ヲ有衆ノ間ニ及ホスアラハ其利必ラス甚ニ止マラス猶ホ別ニ三箇ノ益アリ曰ク人々シテ撰舉權ヲ享有スルノ快樂アルヲ覺ヘシム曰ク上流下流ノ人々シテソノ感情ヲ一致セシメ隨テ各人ノ惡事ヲ抑ヘソノ長徳ヲ養ハシム曰ク被撰人ヲシテ魁メテ公平無私ノ措置ニ出ルノ念ヲ多カラシム是レナリト辨論又其國憲考案ニ結言レテ曰ク撰舉ノ權利ハ廣ク之ヲ天下ノ有衆ニ與ヘサルヘカラス固シテ若シ之ヲ與ヘサルモノアラソ乎勢ヒ其然ル所以ノ理ヲ明示セサルヲ得ス今余ヲ以テ之ヲ謂ヘハ貧者下流ノ幸福モ亦ク是レ社會幸福ノ一部ナリ其關係未ダ曾テ富人上流ノ幸福ト異ナル所アラズ而シテ爲政者ノ之ヲ見ル又必ラス二者ノ別アルヘカラスルヲ知ルナリ夫レ立法官ヲ撰任スルノ權利ヲ舉ケテ之ヲ人民ニ與フルモノハ之ヲ以テ主治者ノ弄權ヲ防止スルノ具ニ當テ以テ其幸福ヲ保固セシメント欲スルニ在ル耳若シ夫レ然ラハ窮困下流ノ人々シテ區有上流ノ人ト均シク撰舉ノ

權利ヲ享有スルヲ得セシムルハ理ノ最モ著明ナル者ニシテ余レ未ダ之ヲ拒絕ス  
 ヘキノ道理アルヲ發見スル能ハスト小彌兒モ亦タ撰舉權ノ濶大ナルヘキヲ論シ  
 テ曰ク夫レ政事ハ天下ノ人共ニ其利害ヲ蒙リ兼ヨリ彼此ノ分別アルモノニアラ  
 ス平等ニ其害ヲ蒙リ平等ニ其利ヲ受クル者ナレハ之ヲ是非スルハ人生通般ノ權  
 利ニシテ其權利アル人ノ宜シク平等ニ享有スヘキモノナリ然ルテ今大不利ア  
 ルニアラスシテ此權ヲ稽留シ以テ之ヲ某ノ人ニ付與セサルアラハ則チ可ナラ  
 ツ乎誠ニ可ナラサルナリ其人ニシテ租稅ヲ納ルニ強ヒラレン乎彼レ必ラス其  
 供給スル所以ノ費金ヲ問フテ得ン又其人ニシテ賦課ヲ爲スヲ強ヒラレン乎彼レ  
 必ラス何故ニ其賦課ヲ爲スヲ問フテ得ン又其人ニシテ法令ヲ遵守スルヲ強ヒラ  
 レン乎彼レ必ラス何ノ故ニ此法令ヲ公布スル乎問フテ得ン是レ此ノ發問ヲ得  
 ルノ一事實ニ其人ヲシテ自己ノ意想ヲ吐露スルノ機會ヲ得セシム唯ダ夫レ是テ  
 以テ文物周備ノ國土ニ在テハ勢ヒ其人民ヲシテ政治域外ニ放逐セラル、ノ屈辱  
 ナ受クシムヘカラス否チ彼レ自家ノ過失ニ出ツルニアラサルヨリハ決テ政治  
 ニ干預スルノ權利ヲ奪却スヘカラサルナリ願フニ何等ノ人ト雖モ他人事ヲ其ニ

運命ヲ裁治シ已レ之ニ預ルヲ得サルアラハ則チ之ヲ稱シテ屈辱ヲ蒙ルモノト云  
 フヘシ今余ヲ以テ之ヲ觀レハ假令ヒ人類ノ進歩シテ人間不可思議ノ位ニ改瓦  
 スルアラソモ若シ此ノ類ノ屈辱ヲ蒙ルモノ人アラシメハ彼レ必ラス彼ノ政治ニ  
 干預スルヲ得ル人ノ如ク優美ノ快樂ヲ受クルヲ得サルアラム蓋シ主治者ハ撰舉  
 權ヲ有スル人ノ爲メニ動作レ日モ亦是レ足ラヌ汝ノ及ハサラソナ  
 コレ勉ムヘキ者ナレハ何ノ違フツテ夫ノ願慮ヲ要セサル種族ノ爲メニ非有爲ノ  
 カヲ用ウルヲ爲シヤ願フニ夫ノ種族ノ利益ハ之ヲ謀ルモ唯ダ其意ニ之レ任セ  
 之ヲ謀カラサルモ亦唯ダ其意ニ之レ任セ吾テ其責ナキモノナレハ之カ主治者ニ  
 ルモノ必ラス自カラ苦ソテ其餘ナキノ力ヲ奮ヒ之ヲ此ニ用キサルヲ知ルナリ是  
 チ以テ撰舉權付與ノ制ニシテ某人若クハ某ノ種族ヲ除却シ全然之ニ預ルヲ得セ  
 シメヌ又成丁ノ人ニシテ已レ之ヲ享有スルヲ欲スルモ猶ホ且ツ之ヲ除却シ以テ  
 之ヲ得セシメサルアラハ余ハ斷シテ之ヲ不備ノ制度ナリト謂ハントスト之ニ加  
 フルニ佛蘭西ノ政家ハ相率テ普通撰舉ノ說ヲ和同シ甚シキニ至テハ魏列國ノ如  
 キハ直ニ普通ノ撰舉ヲ稱シテ是レ共和ノ政治ナリト謂フニ至リ其種ヤ那國列國

三世ヲソ口ナ人民普通ノ撰舉ニ藉リ佛國帝王ノ位ニ登ルノ利便ヲ得セシメタリ  
 夫レ辨端小彌兒ハ一代ノ大家ニシテ今人ノ重スル所ナリ其官ヲ所或ハ據ル所ア  
 ラム然レトモ今余ヲ以テ之ヲ言ヘハ世間果シテ所謂ル普通撰舉ナルモノアリテ  
 之ヲ實行スルヲ得ル乎甚タ疑ハサルヲ得ス辨端小彌兒ノ二家ハ自カラ稱レテ普  
 通撰舉ノ說ヲ取ルモノト言フト雖モ其說ノ所ノ方案ヲ詳カコシ之カ歸結ヲ論ス  
 レハ夫ノ二家モ亦タ有限撰舉ノ論派ニ屬シ之ヲ稱シテ普通撰舉ノ說ヲ贊同スル  
 モント言フヘカラス(下段ノ論說ヲ參看セヨ)設ヒ若シ之ヲ然ラストナシ眞ニ普通  
 撰舉ノ制ヲ實行スルヲ得ルトスルモ若シ之ヲ實行シテ之ヲ其國ニ施セハ其弊ヤ  
 流レテ右族專制ノ實ヲ爲シ否ヤレハ必ス國民擅治ノ實ヲ致サン余未ダ眞成ノ自  
 治ヲ冀フモノト爲メニ普通撰舉ノ利アル所以ノ理ヲ查見スルコト能ハサルナリ  
 余レ請フ具キニ其故ヲ論シ以テ其然ル所以ノ理ヲ示サム  
 何ニ因テ普通撰舉ノ制ハ右族專制ノ實ヲ爲シ易シト謂フ乎曰ク右族ノ人私ヲ行  
 フテ隘屋ノ小漢陋巷ノ貧民ヲ籠絡シ其撰舉ノ權ヲ買得ス是レナリ讀者ノ熟知ス  
 ルカ如ク夫ノ隘屋ノ小漢陋巷ノ貧民ハ已レ自カラ獨立スルノ念思ニ乏シク又往

義氣廉耻ノ心ナキモノ多ケレハ素ヨリ遠大高尚ノ其徳ヲ備フルモノ少ナク事  
 口短少卑陋ノ徒タルニ過キス而レテ其投票ノ權利ヲ付與セラレヨリ如何カ  
 之レヲ見ル尊重ノ事ナリト爲ス乎將ク輕易ノ事ナリト爲ス乎渠レ小漢貧民ノ徒  
 ハ撰舉權ノ直接ニ自家ヲ利セサルヲ見テ之ヲ尊重ノ事ナリト爲サス事ロ一種ノ  
 煩勞ナリト爲スヤ必セリ是ヲ以テ彼徒往々右族ノ私囑ヲ受ケ事ロ直接ニ利益ヲ  
 受クルノ勝レルヲ咸覺シ甘シテ右族ニ籠絡セラレ其投票スル所名ハ小漢貧民ノ  
 投票ナリト雖モ其實ハ右族ノ教唆ニ出テ基ヲシキニ至テハ自己ノ意思ヲ在タル  
 モ猶ホ且ツ右族ノ意向ニ合ハシ以テ其利益ヲ私セント欲スルヤ必セリ況ンヤ且  
 ツ人間ノ常情力能ク之ヲ爲スニ足リ勢ヒ能ク之ニ乘スルニ足ラハ必ラス之ヲ特  
 トシ自己ノ私欲ヲ濟ス者ニシテ黃金世界ニ到ルニアラサルヨリハ吾人ノ終ニ絶  
 無テ期スヘカラサルモノナレハ苟クモ撰舉ノ制其完善ヲ尽キス保障ノ際若シ一  
 二ノ私利ヲ略ハンメ以テ己レヨリ下レル者ヲ制御スルヲ得ハ右族ノ者豈ニ拱手  
 シテ自カラ止ムノ理アラシヤ彼ノ徒必ラス其機會ニ投スルノ動作ヲ誤マラサル  
 ナリ是ヲ以テ隘屋ノ小漢陋巷ノ貧民ニシテ皆ナ撰舉人タルノ權利ヲ有スル邦土



ニ在テハ右族ノ徒屢々私ノ機會ヲ掌握シ縱ニ己ノ威權ヲ振ヒ還ニ名ヲ代  
 議人タルニ托シテ自己ノ私欲ヲ國會ノ中ニ逞フスルニ至ラム而シテ國會ノ議官  
 其名ハ人民ノ代議人ナリト雖モ其實ハ右族合議ノ軀ヲ爲シ全然代議政治ノ實想  
 ヲ失却シ人之レヲ曉ラス議官ノ衆民ニ於ケル其利トスル所自カラ相別異シ議官  
 ノ議官ニ於ケル其利トスル所略々相同作シ那ノ議官ノ利トスル所甚ク遠ノ議官  
 ニ不利ナラス還ノ議官ノ不利トスル所又甚ク彼ノ議官ニ利アラサレハ此ノ議官  
 之ヲ唱ヘテ彼ノ議官コレヲ和シ甲乙雷同彼此相附和シ未タ會テ人民ノ爲メハ其  
 利害得失ヲ密察スルヲ爲サズルナリ唯々夫レ是ヲ以テ普通選舉ノ制ヲ稱シテ人  
 民一般ノ意思ヲ以テ其人ヲ保舉スト謂ハ所謂ル其名目ノヨシニシテ其實ハ有願撰  
 舉ノ法ヲ實行シ彼ノ輩ヲ除却セシ時ニ異ナラス到處此權ヲ普及セシムルノ利便  
 アルヲ見サルナリ若シ唯其利便ヲ見サルノヨシニシテ止マラハ余レ今マ敢テ之ヲ  
 論セス軍口黙ト付スヘシト雖モ如何セン右族ノ徒之ニ乘シテ其威權ヲ逞フス  
 ヘキノ憑據アリテ此ノ如クコレヲ保舉セラレタル議官ハ自カラ人民一般ノ信孚  
 ヲ損シ其議決モ亦々隨テ世間ノ信用ヲ棄クニ足ラス終ニ政治ノ公益ヲ喪スニ足

ラサレハ余ハ斷シテ之ヲ非政ノ一ナリト結論セサルヲ得ス余故ニ曰ク普通選舉  
 ノ一弊ハ右族專制ノ實ヲ爲スニ在リト豈ニ又然ラス哉

上來ハ是レ小漢貧民ノ徒ニシテ右族ニ籠絡セラレ右族其原ニ乘スル時ノ弊ヲ説  
 ケリ今ヤ又彼ノ徒之レニ籠絡セラレス自カラ其欲望ヲ肆マシコセントスル時ノ  
 弊ヲ論セシニ其極ヤ或ハ賤民擅治ノ實ヲ致サム何ニ因テ其賤民擅治ノ實ヲ致ス  
 テ知ル乎曰ク議官タルモノ賤民ノ毀譽ニ動カサレ其動心ヲ得ルヲ勉メ爲メニ政  
 治ノ中適チ誤ル是レナリ讀者ノ既ニ熟知スルカ如ク所謂ル貧富ナル者ハ自家ノ  
 勞動ヲ憚ルニ基シ自カラ招クノ罪ナリト雖モ彼レ小漢陋民ノ徒ハ往々之ヲ曉ク  
 ス却テ其罪ヲ富有餘裕アルノ人ニ歸シ唱ヘテ曰ク彼レ天下ノ富有ヲ壟斷セリ是  
 テ以テ我ヲシテ此ノ貧窶可憫ノ域ニ到ラシム請フ彼ノ所有ヲ割テ之レヲ我ニ分  
 テヨ彼レモ亦々社會ノ一員ナリ我レモ亦々社會ノ一員ナリ汝何ソ彼我ヲ分ツ汝  
 豈ソ我ヲシテ平等ノ權ヲ得セシメザル乎ト小漢貧民ニシテ虛無黨與ノ口氣ヲ帶  
 ヒサルモノ殆ソト稀レナリ爲メニ一國ノ治理ヲ亂ル者又誠ニ僅少ナラサレテ知  
 ルナリ夫レ財產共通貧富平均ノ説ハ其皮相是ニ似タリト雖モ其實想素ヨリ是ナ

ラス所謂ル業ノ末ヲ奪ヒ節度ノ雅樂ヲ亂ルモノニ過キサレハ勢ヒ之ヲシテ真正ノ自由ト併行シ之ヲシテ之レト兩立スルヲ得セムヘカヲサレナリ然ルニ今若シ小漢貧民ヲシテ代議人ヲ保舉スルヲ得セシメ之ヲシテ其欲望ヲ實現スルヲ得セシメハ渠レ必ラス虚無黨與ノ口氣ヲ吐キ以テ其贊成ヲ己レ所撰ノ議官ニ請フナラン而シテ之ヲ議官ニシテ若能ク自己所撰ノ主義ヲ固シテ賤民ノ贊成ヲ以テ自家所唱ノ説ヲ左右スルコトナカクシメハ政治或ハ其中適チ得ルヲランモ若シ之ニテ賤民多數ノ投票ヲ得テ其位置ヲ堅クセシメコトヲ欲シ已レ所撰ノ主義ヲ在ケソノ欲望ヲ贊成スルアラハ其弊ヤ誠ニ極ル所ナク終ニ虚無黨與ノ妄想ヲ以テ一國政治ノ實權ヲ舉行シ所謂ル賤民擅治ノ實アルニ丁ハラン耳是レ豈ニ吾人真正ノ自由ヲ切愛スルモノト望望スル所ナランヤ之ヲ要スルニ賤民ヲシテ其欲望ヲ實行スルヲ得セシムルハ議官其人ノ罪ニ由ルト雖モ抑モ又撰舉權ヲ奪ケテ之ヲ小漢貧民ニ付與シ之ヲ議官ノ動作ヲ左右スルヲ得セシムルニ由ル由スル多ホシ余故ニ曰ク賤民ニシテ右族ノ徒ニ籠絡セラレス自カク其欲望ヲ肆マシニスルノ時ニ際シ普通撰舉ノ制ヲ布カハ其弊ヤ流レテ賤民擅治ノ實ヲ爲サント吁

擅制ノ治理ハ其一人ニ依ルト其万人ニ依ルトナ同ハス共ニ吾人自由民ノ情ム所ナリ吾人豈コ之ヲ痛惜セサルヲ得ンヤ

唯タ夫レ普通撰舉ノ制ハ實ニ二ツノ弊害アリ必ラス其一ニ居ラザルヲ得ヌ是ヲ以テ其名ハ公正其聲ハ平等ナリト雖モ其核實ニ至テハ大ニ其名聲ノ善美ナルニ似ス寧ロ人間平等ノ治理ヲ攪亂スルモノナルヲ知ルナリ是レ普通撰舉法ノ一終ニ實行スルヲ得ザル所以コシテ余ハ斷シテ之ヲ採ラザルナリ余既ニ斷シテ普通撰舉ノ制ヲ採ラス則チ立限撰舉ノ制ヲ以テ施行的ノ便法ト爲ヌハ又是レ必至ノ狀勢ナリ然リト雖モ他人ヲ抑制シテ自己ヲ私利スルハ人類ノ通性ナレハ立限ソノ宜シキヲ失シ撰舉ノ權若シ或ハ國民一二ノ部局ニ畫限スルノ實アラハ其弊ヤ又流レテ右族專制ノ實ヲ爲サン耳故ニ立限其中ヲ得ルノ制ヲ講シソノ當ヲ得セシムルハ吾人立限撰舉ノ制ヲ執スルモノ、一大要務ニシテ余モ亦之ヲ講究スルヲ怠ルヘカラス

辨端小兒彌ハ共ニ自稱シテ普通撰舉ノ制ヲ是認スルモノト爲スト雖モ細カニ其論述スル所ヲ極メ之レカ歸結ヲ切言スレハ自カク立限撰舉ノ制ヲ執スル論者ノ

一ニ屬ス辨端ハ其國憲考按ニ緒言ヲ曰ク其男子タルト女子タルトヲ問ハス未成人ニ與フルニ撰舉ノ權利ヲ以テセサルノ理ニツアリ第一未成人ハ躬親カラ自家ノ事ヲ辨理スルコト能ハス常ニ他人ニ依怙スルモノナレハ勢ヒソノ干涉ヲ拒絶スルヲ得ス第二、年ノ長幼ヲ以テ撰舉權ノ與不與ヲ定ムルハ自カラソノ期限アリ所謂ル暫時ノ事タルニ過キサレハ其期ニ及ンテ必ラス之ヲ之ニ與フヘク夫ノ男女ノ別ヲ立テ之ヲ限ルモノト同視スヘカラサルナリ加之夫ノ顛狂ヲ患フル者、各種ノ犯罪ヲ爲ス者及ヒ撰舉ノ際ソノ暴力ヲ振ヒ他人ノ投票ヲ威迫スルモノ、如キハ之ヲ除却シテ撰舉ノ權利ヲ享有セシメサルノ理アリト既ニノ又曰ク女子及ヒ未成丁ノ男子、文字ヲ誦讀スル能ハサル者並ニ通曉ノ人ハ撰舉人タルノ分限ヲ除クヘクト小彌兒モマコ曰ク撰舉ノ權利ハ宜シク普及ナルヘシ然レトモ其々ノ種族ヲ除却シテ其權利ヲ享有スルヲ得セシメス以テ限ル所アルハ事ノ誠ニ止ムヲ得サルモノナリ今余ヲ以テ之ヲ言ヘハ夫ノ文字ヲ誦讀スルコト能ハス文字ヲ書寫スルコト能ハス及ヒ普通ノ計算ヲ爲スコト能ハサルモノハ全ク之ヲ除却シテ撰舉ノ事ニ與カルヲ得セシムヘカラス抑モ撰舉ノ事ハ文字ヲ讀寫シ及ヒ普

通ノ計算ヲ爲スコト事ト相關セス自カラ別事ナルカ如シト雖モ夫ノ普通ノ教育ハ其貧富ヲ問ハス人々ノ宜シク享受スヘキモノニシテ正理ノ風ニ許ス所ナレハ其之ヲ能クセサルモノヲ除却シテ撰舉ノ權利ヲ與ヘサルハ事ノ固ヨリ不當ナルモノニアラサレハナリ願フニ若シ能ク其制ヲ立テ此徒ヲ除却スルノ實ヲ前サハコレカ人民タルモノ必ラス其理ヲ明カニシ無丁字ノ人ニ與フルニ之ヲ以テセサルハ無能言ノ孩兒ニ與フルニ之ヲ以テセサルモノト同視シ數テ之ヲ怪シムコトナマニ至ラン而シテ其除却ハ社會コレヲ爲スニアラサレテ除却ヲ受クルモノノ懶惰實ニ之ヲ招クヲ知ル命偶然之ニ見レハ撰舉ノ權利ヲ有セシムルニ膏數以外爾々某ノノ學識アルヲ要スヘキカ如シ假令ハ地球ノ形骸及ヒ天然ノ經界、政治ノ經界ヲ知ルカ如キ万國史書ノ大跡ヲ記スルカ如キ國史圖典ノ大跡ヲ知ルカ如キ其撰舉人ノ品等ト爲スヘキカ如シ然レトモ至般ノ人民ニ對シ此數種ノ學識ヲ備フルヲ望ムハ勢ノ爲スヘカヲサルモノニシテ北米ヲ除クノ外本邦ト雖モ爾々且ツ之ヲ難スルモノナルノミナラス又其備不備ヲ明知スルノ器械ニ乏シク爲メニ其要領ヲ得ルニ難スルモノナレハ今ノ時ニ當テ之ヲ實行スルハ偶々僥倖ノ事ヲ爲

シ欺瞞詐偽ヲ長セシムルモノタルニ過キス但夫ノ書數ノ能否ヲ知ルニ至リテハ則チ難カラス集レ來リテ撰舉人ノ名簿ニ登記セシコトヲ求メシ乎先ツ渠ヲシテ一文章ヲ抄寫セシメ又之ヲシテ加減乘除ノ計算ヲ爲シムヘシ渠レノ能否自カラ顯ハレシト是ニ因テ之ヲ觀レハ辨彌ノ二家共ニ立限ノ撰舉ヲ執スルモノナルニ背カス之ヲ取テ之ヲ其論者ノ一派ニ屬スルハ決シテ附會ノ説ニアラザルナリ豈ニ唯々辨彌ノ二家ノニ立限撰舉論派ノ一ニ屬スルノヨナラシヤ夫普通撰舉ノ名聲ニ迷ヒ半狂半亂ノ勢アル佛國人種ト雖モ又或ハ立限撰舉論者ノ一派ニ屬スルカ如シ佛國人種ノ普通撰舉ニ取爾セシハ一千七百九十三年(我光格帝寬政五年)ノ前後トス而シテ今マ余レ當時ノ憲法ニシテ大統領、總見坊ノ署名スルモノヲ見ルニ猶ホ能撰所撰ノ權利ヲ盡シテ之ヲ成年ノ男子ニ限リ敢テ之ヲ女子等ニ及ホサ、ルアリ是レ豈ニ立限撰舉ノ實アルモノニアラザラシヤ李振曰ク撰舉ノ權利ハ宜シク廣濶ナルヘシ然レトモ普通撰舉ノ主義ハ英國人種ノ採ル所ニアラスト嗚呼立限撰舉ノ制ハ天下ノ通勢ナリ豈ニ唯々英國人種ノ所採ナルニ止マランヤ

嗚呼立限ノ撰舉ハ天下ノ通勢ナリ勢ヒ之ニ沿ハサルヲ得ス然レトモ立限ニシテ其中適ノ法ヲ得サレハ其弊ヤ流レテ代議政治ノ實益ヲ失シシノ能ク有族專制ノ害ヲ蒙ラサルモノ殆ント稀レナリ故ニ立限ノ中適ヲ講シ其宜シキヲ制スルハ自カラ一大緊切ノ問案ト爲ス而シテ余ヲ以テ之ヲ見レハ英國某爵ノ説最モ老實ニシテ最モ行ヒ易キヲ觀ル請フ茲ニ其全文ヲ引キ以テ余カ贊同ノ意ヲ表セム某爵嘗テ撰舉權ノ事ヲ論シテ曰ク撰舉人ト被撰人トヲシテ其利害ヲ同フセシムルノ手段ハ吾人既ニ之ヲ論セリ今ヤ又考索ノ歩武ヲ進メ何人ヲシテコノ撰舉ノ事ヲ行ハシムヘキ乎ヲ究ムルニ万般ノ事皆ナ斯ノ一案ニ依テ決スルヲ知ル既ニ論スルカ如ク代議人在職ノ期限ヲ短縮スルハ撰舉人ト被撰人トシテ其利害ヲ同フセシメムルノ一大方便ナリ然リト雖モ若シ撰舉人ヲシテ社會全般ノ人民ト其利害ヲ異ニスルモノナラシメハ此ノ方便モ亦ク自カラ無用ニ屬セキヲ得ス蓋シ撰舉人ヲシテ社會全般ノ人民ト其利害ヲ同フセキルアラシメハ彼ノ徒必ク自家トシノ利害ヲ同フスルモノヲ撰舉シ會テ社會全般ノ得失如何ヲ顧ミサルヘケレハナリ吾人ノ熟知スルカ如ク已レ其權ヲ專ラシ之ヲ以テ人ヲ服從スルヲ得

ハ直ナコ之ヲ用キ其人ヲ屈シ自カラ其私ヲ濟スヲ憚ラサルハ是レ人間ノ通性ナ  
 ナ故ニ今試ミニ一人ヲノ専ラニ人民ノ代議人ヲ撰舉セシメテ乎彼レ必ツス自家  
 ノ私利ヲ謀ラシムルコ便宜アル者ヲ撰舉セン又試ミニ某ノ寡人ヲノ之ヲ撰舉  
 セシメン乎彼徒ノ所爲又必ス一人ノ所爲ニ似ム又試ミニ一小部局ノ人ヲノ之ヲ  
 撰舉セシメン乎彼ノ徒モ亦ク必ツス一人若クハ寡人ノ所爲ニ倣ヒ以テ爾餘部局  
 ノ人民ヲ屈辱シ之ヲ奴隸視役スルニ至ラン爾フコ若ク不幸ニ此類ノ事アルニ  
 遇ハ、代議政治ノ實益ハ冥々ノ中ニ在テ消糜シ章ロ一人若クハ寡人ノ私欲ヲ濟  
 度スルノ實アルコ過キカラシノミ是ヲ以テ撰舉人ヲレテ社會全般ノ人民トシ  
 利害ヲ同フセシメス之ヲ異ニセシメハ故ヒ議會ヲ開キ政事ヲ公議セシム  
 ルモ余レ未ダ社會ヲ益スル所以ヲ知ラキルナリ唯ク夫レ此ノ如シ故ニ社會全般  
 ノ人民ヲシテ咸ク撰舉人タルヲ得セシムルハ最モ可ナルカ如シ然レトモ社會全般  
 ノ人民ヲシテ咸ク撰舉人タルヲ得セシムルノ事又一ノ難事ニ屬ス是ヲ以テ今ノ  
 時ニ當テ吾人ノ討究シテ決論スヘキモノハ唯ク社會某ノ部局ノ人ヲ定メ之ヲ撰  
 舉人ト爲サハ果シテ社會全般ト其利益ヲ同フスルヤ否ヤノ一問ニ在リ依テ自カ

ヲ考フルニ其利益ニシテ他人ノ利益中ニ包含シ己レ直接ニ之ヲ享有セキモ他  
 人之ヲ享有スルヲ以テ間接ニ之ヲ享クルヲ得ルモノハ咸ク撰舉ノ權利ヲ有セシ  
 メスシテ不可ナキヲ知ル是ヲ以テ婦女及ヒ幼年ノ子弟ハ撰舉ノ權利ヲ享有セシ  
 メスシテ共ニ妨ケナキカ如シ蓋シ幼年子弟ノ利ハ毎ニ父母ノ利中ニ包含シ婦女  
 ノ利益ハ殆ソト皆ナ双親良人ノ利中ニ包含レ彼此共ニ間接ニ之ヲ享有スルヲ得  
 ヘケレハナリ唯ク夫レ是ヲ以テ社會全般ノ人衆トシノ利益ヲ共ニスルノ其徳ハ  
 之ヲ總共ノ成男ニ求ムヘク夫ノ成男コソ實ニ社會天然ノ代人ト謂ツヘキカ如シ  
 然レトモ成男ノ中間ニ或ハ社會ノ代當タルニ堪ヘスシテ之ヲ除却セサルヲ得キ  
 ルモノアラシ惟ク若シ之レアルニ際シ之ヲ除却スルアラハ夫ノ殘餘ノ部局ハ  
 能ク社會全般ノ代當タルニ足ル乎是レ實ニ緊要ノ一問ナリ吾人勢ヒ其仔細ヲ講  
 究セサルヲ得ス依テ先ツ孰レカ其代當タルニ適シ孰レカ之ニ適セキ乎判別  
 スルノ法ヲ索ムルコ人ノ内實ノ長短ハ外ヨリ容易ニ付度スヘキモノニ非ラズ到  
 處其優劣ヲ明知スヘキモノニアラサレハ勢ヒ其外貌ニ表發スルモノヲ以テ之ヲ  
 別ツテ要ト爲サシルヘカラス而シテ余ヲ以テ之ヲ觀レハ夫ノ年齢、財產、職業ノ三

者ハ實ニ外貌ノ表章ナルガ如シ何ヲ以テ年齢ニ由テ彼此ヲ別ツト謂フ曰ク某ノ  
 年齢ヲ限リ其期ニ至レハ始メテ代議人ヲ撰舉スルノ權ヲ得セシムルヲ謂フ是レ  
 ナリ何ヲ以テ財産ニ由テ彼此ヲ別ツト謂フ曰ク代議人撰舉ノ權ヲ與フルヲ謂フ  
 之ヲ若干ノ財産ヲ有シ若干ハ若干ノ所入アルモノニ限ルヲ謂フ是レナリ何ヲ以  
 テ藝業ニ由テ彼此ヲ別ツト謂フ曰ク代議人撰舉ノ權ヲ與フルヲ限リ之ヲ某ノ學  
 術ニ富ミ某ノ藝能ニ通シ若干ハ某ノ生業ヲ營ム者ニ盡スルヲ謂フ是レナリ是レ  
 於テ乎更ニ觀察ノ地歩ヲ進メ斯三種ノ制限ニ依リ某ノ部局ヲ界限分別シ代議  
 人ヲ撰舉スルノ機關トセハ果シテ能ク社會全般ノ利益ヲ害スルコトナキ乎ヲ講  
 スルニ又各々其細論ヲ要ス第一年齢ヲ以テ之ヲ限ルモノハ之ヲ上セテ某ノ高  
 度ニ致スモ猶ホ且ツ不可ナキカ如ク今試ミニ滿四十歳ヲ以テ撰舉權ヲ享有スル  
 ノ起初トセンニ余レ未タ其不可ナル所以ヲ見ス蓋シ天下ノ政令法律ニシテ唯リ  
 不動以上ノ人ニ利便アリテ自餘ノ人民ニ不利ナルモノアツサレハナリ惟フニ是  
 レ他故アルニアラス唯不動以上ノ人能ク年少ノ爲メニ其福祉ヲ謀リシノ不利ヲ  
 致スナキヲ必スヘケレハナリ若シ否ラストセン乎是レ天然ノ大法ニ背ケリ今余

ヲ以テ之ヲ見レハ長老ノ多數ハ大抵ソノ兒孫アリ而シテ彼レ實ニ兒孫ノ利益ヲ  
 以テ自家利益ノ一大要部トナスアリ余故ニ曰ク年齢ヲ以テ撰舉ノ權利ヲ制限ス  
 ルノ度ヲ昇ホシ之ヲ某ノ高點ニ致スモ未ダ一二ノ危險アルヲ見ス年少ノ利益  
 ハ長老ニ妨ケラルコトナシト誠ニ其理キサルヲ知レナリ其次ハ財産ノ有無ヲ  
 問ヒ撰舉人ノ品等ヲ定置スルノ一問ナリ惟フニ若シ若干ノ財産ヲ所有シ若干ノ  
 所入アルコトヲサレハ撰舉人タルヲ得サルノ制ヲ立テ之ヲ實行スルヲ爲サハ斯  
 撰舉人タル者果シテ能ク社會全般ノ人民ト其利益ヲ同フスル乎是レモ亦一種ノ  
 疑問ニ屬ス試ニ其度階ヲ上シテ甚ク之ヲ高カラシメ數百ノ寡人ノモ唯リソノ權  
 利ヲ占有スルヲ得セシメン乎其歸結宛モ寡數ノ右族ヲシテ代議人撰舉ノ事ヲ承  
 辨セシムルニ均シカラシ是レ吾人ノ既ニ論究スル所ニシテ其弊ヤ右族專制ノ實  
 ニ陥リ到處代議ノ實益ヲ亡失スルモノタルヲ免レヌ唯夫レ是ヲ以テ財産ノ品等  
 ハ勢ヒ之ヲ高崇ノ所ニ定ムヘカラス若シ之ヲ之ニ定メン乎彼レ必ラス政治ノ途  
 ナ誤マラン然ラハ則チ之ヲ卑下ノ所ニ定ム公衆ノ過半數ヲシテ咸ク撰舉人タル  
 ノ權利ヲ得セシメハ則チ可ナシ乎是レモ亦多少ノ考察ヲ要セリ未ダ概クソノ

如何ヲ明言スヘカヲサルナリ抑モ制度ノ利害ヲ蒙ムルハ所有財産ノ多寡ニ依テ之レカ關係ヲ殊ニモセス其制度ニシテ果シテ財産ヲ多有スルモノハ不利セン乎又均シク之ヲ寡有スルモノハ害セン否ナリ財産ヲ多有スルモノハ不利必ラス之ヲ寡有スルモノハ利便ニアラサルナリ唯々夫レ此ノ如シ是ヲ以テ一面ヨリシテ之ヲ見レハ財産ノ品等ヲ定メ之ヲ卑下ノ所ニ置キ公衆ノ最多數ヲシテ成ク撰舉人タルノ權利ヲ得セシムルモ未ダ其弊害ヲ見サルカ如シ然レトモ又一面ヨリシテ之ヲ見レハ一國所有ノ有産者ヲノ威ク撰舉ノ權利ヲ有セシメハ或ハ品等ノ過卑ナルコト失シ撰舉ソノ宜シキヲ失フノ虞ナキヲ保スルコト能ハス若シ能ク其絶無ヲ保スルトセン乎吾人勢ヒ財産ヲ所有セサルモノヲ稱シテ撰舉ノ權ヲ限ルモノト謂フヘカラス蓋シテ財産ヲ寡有スル者ノ利便ト之ヲ所有セサル者ノ利便ハ甚ク相密適シテ殆ントコレヲ別異フヘカヲサルモノナレハナリ唯夫レ然リ故ニ財産品等ノ過卑ナルハ撰舉ソノ宜シキヲ得ルノ保固ト爲スニ足ラサルヲ知ルナリ吁過高ノ品等ハ既ニ富豪寡人ノ弊政ヲ致スノ恐レアリ而シテソノ過卑モ亦テ社會ヲシテ賤民放肆ノ禍害ヲ蒙ムルヲ免レサラシメハ吾人勢ヒ高下兩極ノ間ニ就テ

撰舉權ヲ與否スルノ分限ヲ定メサルヲ得ス然レトモ何等ノ度階ニ取テ其品等ヲ定ムル乎ノ一案ハ事ノ甚ク決シ難キモノニシテ吾人ヲ殆ント其據ル所ナキニ迷ハシム願フニ其品等ヲ定ムルノ法ニツアリ曰ク有衆ノ過半數ヲ包含セシムルニ足ルヲ期ス曰ク其過半數ニ比スレハ稍々寡ナル人民ヲ包含セシムルニ足ルヲ期ス是レナリ今試ミニ有衆ノ過半數ヲ包含セシムルニ足ルヲ期セシムルニ比シテ是レトモ是レ甚ク大ナラス夫レ多數中定ムルトセン乎一疑問アリ武ヲ接シテ來ル曰ク斯過半數ノ民人ハ夫ノ政權ヲ失却セシ少數ノ民人ニ對シテ能ク其令徳ヲ全フスル乎彼レ或ハ之ヲ抑制スルノ禍心ヲ抱クナカラシ乎曰ク或ハ之レアラシ然レトモ是レ甚ク大ナラス夫レ多數中ノ一人ハ其禍心ナキニ非ラス然リト雖モ之ヲ以テ單獨ノ一人ニ比スレハ自カラ小少ナルヲ覺テ是ヲ以テ多數ノ民人ニシテ少數ニ超過スルニ倍ノ多キアラシメハ其一人ノ抱藏スル禍心ハ單獨ノ一人ニ比シテ之レカ一半ヲ減スルアルヲ知ル果シテ然リ是ヲ以テ斯時ニ當テ政治ノ善莫ナルニ由テ各人ノ所享スル利益ハ其兇惡ナルニ由テ撰舉者自家ノ損奪スル私利ヨリ重大ナルヲ以テ撰舉ノ事ニ當ル者自カラ其私心ヲ克服シ隨テ撰舉ノ宜ヲ得隨テ良政府ヲ得ルノ甚ク難カラサル

ヲ知ルナリ之ニ反シ若シ過半数ノ人民ヲシテ撰舉ノ權ヲ有セシメス之ヲ稍々寡  
 少ナル人民ノ手ニ歸スルトセシ乎其關係全ク前者ニ反セリ而シテ其觀念は減シ  
 テ撰舉人ノ私心愈々増長シ其極ヤ惡政府ヲ出スニ終ハラン耳嗚呼財產ヲ以テ撰  
 舉人ノ品等ヲ限ルヲ論スルハ難シ而シテ余ノ如キハ殆ント之ヲ詳論スルコト能  
 ハサルナリ其三ハ某ノ藝業アルモノヲ允シ撰舉人タルノ分限ヲ有セシムル是  
 レナリ論スル者曰ク撰舉人ノ最善ナル者ハ某ノ藝業アル種族ヲ以テ之ヲ組織ス  
 ルモノニ在リ惟フニ彼ノ輩ニシテ其代議人ヲ差出スルヲ得ン乎社會ノ民人ハ咸  
 シ其代議人ヲ差出スルニ均シカラシムルニシテ斯ノ種族タル固ヨリ私利ヲ營ムノ處  
 ナキニ非ラスト雖トモ若シ三四別種ノ藝業者ヲ合同シ以テ其事ニ從ハシメハ彼  
 レ必ラス非政ヲ行ヒ自カラ利スルヲ冀ハス軍口善政ヲ布キ共ニ其慶ニ頼ルヲ勉  
 ムルナラシムト果シテ是レ信然ナル乎余レ將サコ之レヲ考察スルアラントス依テ  
 顧ミテ斯一案ノ由來ヲ釋スルニ其來ル甚々遠カラス實ニ一千七百九十三年我光  
 格帝寛政五年ノ夏ニ在リ當時宰相廣禮氏ノ改正撰舉法案ヲ建議スルヤ利波弗兒  
 侯其議ニ反シ頗ル之ヲ熱論セリ侯ハ曰ク下議院ハ本邦各色ノ民人ヲ代表スルモ

ソコシテ實ニ代議人ノ一体アリ願フニ何色ノ種族カ最モ其重キヲ占ム曰ク土地  
 ナ有スル者はレナラン夫レ土地ヲ有スル者ハ一國ノ根本ナリ而シテ製作ニ從事  
 スル者商業ヲ營ム者實ニ之ニ次ケリ然レトモ此二者アルヲ以テ各色ノ人民ヲ代  
 表セント謂フヘカラス惟フニ二者以外稍ホ別ニ藝業ヲ事トスルノ種族アラン勢  
 ヒ之ヲ以テ下議院ヲ組成スルノ一大原質ト爲サシムルヲ得スト既ハシテ侯ハ又藝  
 業ヲ事トスル族類ノ意義ヲ釋シテ曰ク陸海軍ノ事ニ從ヒ及ヒ法律ニ從事シ以テ  
 本國顯要ノ官位ヲ辱フセシコトヲ冀望スル者ヲ謂フナリト既ニシテ侯ハ又藝業  
 ニ從事スル族類ヲ以テ下議院ノ一部ヲ組成スヘキ所以ノ理ヲ説ク曰ク夫ノ農商  
 ナ事トセル民人ハ多クハ一國顯要ノ地ニ居ルヲ冀ハス然レトモ本國顯要ノ文官  
 ハ下議院ノ出身ヲササルヘカラス故ニ藝業ニ從事セル族類ヲシテソノ一部ヲ組  
 成セシメ以テ預メ之ヲ出スノ備ヲ爲サシムルヘカラスナルナリ加之議院ハ是レ一國  
 ノ大事ヲ討議スルノ政局ナリ故ニ之ヲ討議スルノ實歴アルモノヲシテ其局ニ當  
 ラシメサルヲ得ス惟フニ夫ノ藝業ニ從事スルノ族類ハ必ラス其實歴アルモノナ  
 ラム然レトモ是レ理ノ猶ホ輕少ナルモノナリ惟フニ又此ヨリ更ニ大ナルモノア



ラン試ミニ議官ヲシテ成シ農ヲ代表スルモノナラシメン乎議院ハ全國人民ノ議  
 院ニ非ラスシテ農家ノ議院ヲラン又試ミニ議官ヲシテ成ク商工ヨリ出ラシメン  
 乎議院ハ又全國人民ノ議院ニアラスシテ商工二家ノ議院ヲラン又試ミニ農商等  
 タシテ共ニ其代議人ヲ差出スルヲ得セムトセン乎農商ハ相角争セシテ而シテ商  
 コシテ若シ農ト相角スルノ實力ヲ有スルナカラシ平各色人民ノ利益ハ必ク農  
 ノ左右スル所トナラン是レ營業ニ從事セル族類ヲレテ其間ニ中立セシメ以テ其  
 宜ヲ制スヘキモノニシテ彼ノ徒ヲシテ合同放肆ノ欲ヲ逞フスルヲ得サラン隨  
 テ本邦各色ノ人ヲシテ各々其利便ヲ全フスルヲ得セシムヘシト且ツ當時廣瀨氏  
 ノ撰擧法ノ同一式様ナランコトヲ建議スルヤ侯ハ又之ニ反論シテ曰ク撰擧ノ法  
 宜シク異別不同ナルヘシ若シ之ヲシテ同一式様ナラシメン乎議院ハ必クス一種  
 色ノ人ヲ以テ之ヲ組成スルコトハラシ之ニ反シテ異別不同ノ式様ナラシメン乎  
 議院ハ異色ノ人ヲ以テ之ヲ組成スルヲ得ント上來ハ是レ利波弗兒侯演說ノ大體  
 タリ惟フニ讀者ハ如何カ斯說ヲ觀ル今余ヲ以テ之ヲ官ヘハ侯ノ謂フ所問ク議ス  
 ヘキモノナシトセス然レトモソノ營業ニ從事スルノ人ヲ以テ均勢調停ノ器ト爲

シ社會全般ノ利益ヲ保護セシメント欲スルコト至テハ其利便殆ント争フヘカラス  
 ルヲ知ル故ニ某々ノ營業ニ從事スル人ヲシテ撰擧人タルノ分限ヲ有セシムルハ  
 余レ其利益アルヲ見テ未ク其不利アルヲ見スト

某翁ノ說實ニ上來ノ如シ而シテ今其說ク所ヲ概括スルニ即チ曰ク人々ノ内心ノ品  
 等ハ他人之ヲ忖度スヘカラス勢ヒ其外貌ニ表ハルモノヲ以テ之ヲ測知シ之レ  
 カ制ヲ立テササテ得ス而シテ年齡ノ長少財產ノ有無學藝ノ精疎實ハ之ヲ定ムル  
 ノ章表ナリト但某翁ハ年齡ヲ限リ之ヲ某々ノ高點ニ上スモ敢テ妨ケナシト謂フ  
 一雖モ余ヲ以テ之ヲ觀レハ之ヲ上ホシテ滿四十歳ノ上ニ致スハ小害ヲ見テ未タ  
 其利ヲ見ス余嘗テ民法之骨ナル者ヲ策シ成年ノ事ヲ論スルアリ曰ク夫レ自治ノ  
 能否ニ依テ某々ノ位地ヲ與奪シ以テ其人ノ權利ヲ保護シ併セテ他人ノ權利ヲ保  
 護スルハ事ノ止ムヲ得サルモノニシテ素ヨリ不可ナル無シ然リ而シテ物ノ長短  
 ハ吾人度量ニ依テ之ヲ知リ物ノ輕重ハ吾人權衡ニ依テ之ヲ知ル寒氣ハ驗温器ニ  
 依リ晴陰ハ晴雨儀ニ依ル等事甚ク難カラズ但ク自治ノ能否ニ至リテハ天下未タ  
 之ヲ量ルノ器械アラサルナリ若シ夫レ然ラハ天下終ニ自治ノ能否ヲ知ルニ由テ

キ乎曰ク否ナ未ク全ク其由ナシトスヘカラサルナリ抑モ自治ノ能否ハ智識ノ開  
 否ニ依リ智識ノ開否ハ多クハ年齢長少ノ結果ナレハ吾人之由テ零ホ自治ノ能  
 否ヲ推知スヘキナリ是レ法制上成丁ノ期ヲ立テ年齢ノ長幼ヲ問ヒ某ノ位地ヲ  
 與奪スヘキ所以ニシテ吾人未ク其弊アルヲ見サル也曰ク然ラハ何ノ年齢ヲ以テ  
 成丁ノ期ト爲スヘキ乎曰ク滿二十一歳ヲ以テ成丁ノ期ト爲ス最モ理ニ近シト  
 爲ス蓋シ天下多數ノ人ニ就テ之ヲ言ヘハ齡既ニ弱冠ヲ越ヘ漸ク童子ノ地ヲ去ル  
 遠キニ及ハシ大抵自治ノ精神ヲ發生シ隨テ他人直接ノ補助ヲ要セス各土之ヲ實  
 際ニ經驗シテ未ク許多ノ弊アルヲ聞カサレハナリ且ツ若シ之ニ反シ更ニ年齢ノ  
 度數ヲ増加シ試ニ之ヲ滿二十五歳ト制定スルアラフ平其弊ヲ却テ自治ノ精神ヲ  
 束縛シ自能ノ人ヲシテ徒ニ他人ノ檢束ニ困苦セムルニ至ラムト其論スル所專  
 フニ民法ノ上ニ在リト雖ヒ今引テ之ヲ國憲ノ上ニ及ホスヘキヲ知ル余故ニ曰ク  
 之ヲ上ホシテ滿四十歳ノ甚シキニ致スハ未ク其可ナル所以ヲ見スト余レ豈ニ自  
 カテ欺カンヤ又財産ノ品等ト藝業ノ品等ヲ論スルモノニ至テハ某爵ノ説共ニ當  
 レリ但テ利波飛兒侯ノ所説ニ據テ藝業ノ義ヲ釋シテ海陸軍及ヒ法律ニ從事スル

モノト爲ハ狭シ余ハ更ニ之ヲ擴ケテ之ヲ文學ノ士ニ及ホヤント欲スルナリ  
 理論上撰舉權ヲ制限スルノ法子概テ此ノ如シ今ヤ又述説ノ通例ニ依リ歐米各土  
 ノ典故ヲ釋スルニ彼此頗ル異同アルヲ覺テ依テ一ニ其憲法ヲ涉獵シ英國以下歐  
 國ノ實例ヲ示ス左ノ如シ

英國ハ一千八百六十七年(我今上明治元年)及ヒ八年ノ改革法案ヲ以テ撰舉權與  
 否ノ法度ヲ改定シ之ヲ英倫以下諸州ニ行ヘリ今其條款ヲ按スルニ第三第四ノ  
 二款最モ英倫ニ切ナリ而シテ其第三款ハ城邑ノ有宅者ニ關スル撰舉ノ權限ヲ  
 定メ第四款ハ之ヲ諸郡ノ有産者ニ附與スルノ權限ヲ定ム其第三款ノ文曰ク  
 凡左ニ掲記スル資格ニ適合スル者ハ皆ニ撰舉人トシ其姓名ヲ撰舉人名簿ノ中  
 ニ記スルコトヲ得若シ一旦之ニ記入セハ其城邑ノ代議官ヲ撰舉スルヲ得ヘレ  
 ト第一成年ニ滿テ且ツ從來法律上ノ權利ヲ失ハサル者第二其年七月三十一日  
 ニ於テ其城邑内ニ家屋ヲ占メ且其前滿十二ヶ月ノ間其家屋ヲ所有シ若シハ之  
 ニ借宅スル者第三右家屋住居ノ間貧民賑救ノ事ニ就キ其邸宅ニ賦課シタル諸  
 稅ヲ普通ノ割合ヲ以テ納付セシ者但其家屋ハ當人ノ所有ナルト之ヲ賃借スル

モノナルトヲ問ハス第四其年一月五日マテ其邸宅ニ賦課シタル賦金ヲ後文ニ載スルカ如キ方法ニ據リ普通ノ居民ト同一ノ割合ヲ以テ同年七月二十日マテニ皆納セシ者及ヒ寄寓人ニシテ一家ノ一部ヲ借り切り其借料ハ家具ヲ付セスノ全年五十圓以上ニ至リ而モ七月三十一日ノ前滿十二ヶ月ノ間之ニ貸住シ且ツ其後撰舉人調査ノ時ニ際シ其名簿ニ記名ヲ請求スヘキ者但何人ト雖モ他人ト共同シテ貸住スル者ハ此限ニ在ラス又其第四款ノ文ニ曰ク凡左ニ掲ケル條項ニ合格ノ品等アル者ハ皆撰舉人トシテ其姓名ヲ撰舉人名簿ノ中ニ記入スルヲ得一旦之ニ記入スル時ハ其郡ノ代議官ヲ撰舉スルヲ得ヘント第一成年ニ滿チ從來法律上ノ權利ヲ失ハス且ツ法律ニ違テ終身關若クハ其子、學生間若クハ更ニ長キ年月ノ間「コヒーホルト」以下諸種ノ土地ヲ所持シ「フリースホルド」ヲ除ク其借料費用ヲ除キ一歳ノ純益二十五圓ヲ得ル者及最初ノ立約六十年ヨリ下ツサル年期ノ間(其時殘年ノ長短ヲ論セス「フリースホルド」以下諸種ノ土地ヲ借耕シ若クハ預リ居リ其借料費用ヲ除キ一年ノ純益二十五圓以上ヲ得ル者第二其年七月ノ末日ニ於テ其郡中ニ一年ノ課金六十圓以上ノ土地ヲ有スルカ若クハ之

ヲ借り而モ其以前滿十二ヶ月ノ間之ニ住居スル者第三其地ニ住居スル間之ニ賦課シタル貧民ノ救助金ヲ納附スル者第四其年一月五日マテ其地ニ賦課シタル貧民ノ救助金ヲ七月二十日ヲ期シ皆納シタル者以上ハ是レ英倫ノ郡邑ニ充ツルノ制度ニシテ其蘇格蘭ニ充ツル者ト愛倫ニ充ツルモノハ少ク之ニ異ナレリ今其蘇格蘭ニ充ツルモノヲ考フルニ第一成年ニ滿チ從來法律上ノ權利ヲ失ハス滿十二ヶ月ノ間家屋ヲ所有シ若クハ貸住スルモノハ咸チ其郡邑ノ撰舉ニ參スルヲ得但右十二ヶ月ノ間其窮困ノ故ヲ以テ貧民救助ノ課金ヲ免カレ若クハ之ヲ納付スルヲ怠リ若クハ自カラ其救助ヲ受クルモノハ此限ニ在ラス第二寄寓人ニシテ家屋ノ一部ヲ借り切り其借料ハ家具ヲ附セスシテ全年五十圓以上ニ至リ而モ滿十二ヶ月ノ間之ニ貸住シ且其後撰舉人ノ調査ニ際シ其名簿ニ記名ヲ請求スヘキ者ハ其邑ノ撰舉ニ參スルヲ得第三諸郡ニ在リテ若干ノ土地ヲ所持シソノ借料若クハ雜費ヲ除キ一年ノ純益二十五圓以上ヲ得而モ六ヶ月間之ニ住居スル者ハ其郡ノ撰舉ニ參スルコトヲ得ルトアリ而シテ其之ヲ愛倫ニ充ツル者ヲ考フルニ諸邑ノ撰舉權ニ就テ家屋課金ノ額ヲ減シテ廿圓ト爲

スノ外ハ一切英倫ノ制ニ同シ  
李魯士ノ制ハ偶然之ヲ見ハ頗ル撰舉權ノ伸濶ナルヲ覺フ然レトモ仔細ニ其及  
フ所ヲ究ムレハ稍々富豪ニ偏スルノ實アルヲ免レス其憲法第七十條ニ據ルニ  
凡ソ李魯士國民コシテ滿二十四歳ニ至リ民權ヲ享有シ六個月以上本邑ニ住居  
シ嘗テ濟貧料ヲ受ケサルモノハ咸ク初撰權ヲ有ストアリ然レトモソノ第七十  
一條ニ據ルニ直税ヲ納ルルモノヲ三分シテ第一第二第三ノ部類ヲ立テ第一部  
ハ富有ノ民人ヲ合シ直税額全數ノ三分一ヲ納ルル者ヲ謂ヒ第二部ハ中等ノ民  
人ヲ合シ直税額全數ノ三分一ヲ納ルル者ヲ謂ヒ第三部ハ下等ノ民人ヲ合シ  
直税額全數ノ三分一ヲ納ルル者ヲ稱シ每部各々撰舉人ノ三分一ヲ撰舉ストア  
リ其權自カラ富豪ニ歸シ稍々之ニ偏スルノ勢アリ蓋シ中等ノ直税ヲ納ルルモノハ  
ノハ下等ノ納税者ニ比シテ其數自カラ多カラス又最高ノ直税ヲ納ルルモノハ  
中等ノ納税者ニ比シテ其數自カラ少ナカルヘケレハナリ  
佛蘭西第一共和政治ノ憲法ハ別ニ撰舉權ノ品等ヲ立テス但成年ノ男子ヲ稱シ  
佛蘭西國民ト謂ヒ之ヲ其代議人ヲ保舉セシム其路易十八世所定ノ憲法ハ則

チ然ラス其第三十四條ニ曰ク未ク二十五歳ニ滿クテ面モ法律所定ノ品等六十  
圓以上ノ直税ヲ納ルル者ヲ指ス其具ヘキ者ハ撰舉人トシテ得スト以テ其限ル  
所アリト見ルヘシ  
白耳義王國ノ憲法ハ稍々吾人ノ意ヲ得ルモノト知レ其憲法第四十七條及ヒ撰  
舉法ニ據ルニ一年ノ國民ハ直税四圓以上ヲ納ムルヲ以テ撰舉人ノ品等ト  
爲シ又別ニ文學ニ長スル者及ヒ法律ニ精キ者醫學ニ通スル者ヲ撰舉權  
ヲ享有スルノ榮ヲ得セムルカ如レ其精神精々余カ所採ノ説ニ近キヲ知ル  
瑞士聯邦ハ單ニ年齢ト國民タルノ權利トヲ以テ撰舉人ノ品等ト爲スカ如レ其  
憲法第六十三條ニ曰ク瑞士國人ニ年齢二十ニ滿テ所轄列邦ノ憲法ニ據リ國  
民タルノ權利ヲ觀察セラルルコトナキ者ハ皆テ投票ノ權ヲ有スト是レナリ  
葡萄牙王國ハ其增補憲法第五條ヲ以テ撰舉權ノ事ヲ定ム今其全文ヲ引用スル  
ニ即チ曰ク凡ソ民權ヲ全有シ及ヒ政權ノ享有ヲ阻礙セラルル者ハ(葡國白海及ヒ  
犯罪者ノ如キハ政權ノ享有ヲ阻礙セラルル者ト定例トス)葡萄牙國人ニテ在リ  
事項ヲ具備スルヲ証明スルモノハ皆テ撰舉人タルヲ得第一土地若クハ元寶金

若シハ實業工業ヨリ生ズル所入若シハ求職者ノ俸給ヨリ生ズル所得ノ純益金  
三百二十圓四十圓以上有シテ事但テ大學ヲ得業生ハ其所入ノ証明ヲ裏ヒ  
テ第二條法ヨリ成年即チ二十五歳ニ至ル事但シ滿二十一歳ニ至リ先ニ猶クハ身  
分ノ平等有スル者ハ其ノ之ヲ成年ト見做ス事會ノ附註(一)有妻ノ男子(二)陸海軍  
ノ士官(三)成法ニ準テ設置セル大學ノ得業生是レナリト云フ  
丁 殊に國ノ品行端正ニテ著ク汚名ナク而シテ國民タルヲ務限リ享有シ滿三十歳ニ  
到リテモモシラレテ撰舉ノ權利ヲ得セムルヲ定メ左ノ四者ヲ除去シテ  
其權有セシムルニ曰クハウノ取便ヲ爲シ得ル者ニ在リテ有セシムル者ニ曰ク  
現ニ救助金ヲ受ク者及シテ其債ノ償還ヲ終ル海軍者若シハ自ラ之ヲ償却セ  
ル者注ニ曰ク治産ノ自由ヲ得ル者則チ曰ク其撰舉區内ニ住居シ未タ一年  
以入居居ル者是レ計ノ區内ニ在リテ居ル者ニ在リテ居ル者ニ在リテ居ル者  
諸國ノ憲法ハ稍々前文ノ數者ト同レカラス既ニ第二十章ニ引用スルカ如  
ク王國ノ公民ニシテ年齡二十歳ニ滿テ現ニ官吏タル者並ニ其官吏タル者  
若シハ百六十五圓以上ノ價アリテ不働產ヲ有スル者若シハ五年以上ノ定期ヲ立

テ上文ノ土地ヲ小作スル者及ヒ都府民タルノ權利ヲ得タルモノハ皆ナ撰舉ノ  
權利ヲ有ストアリ

上來ノ外宇宙ノ間立憲ノ政治ヲ爲スモノ凡ソ六十有餘國アリ今ソノ憲法ヲ案ス  
ルニ大抵皆ナ某ノ品等ヲ設ケ撰舉權ノ附與ヲ制限シ夫ノ普通撰舉法ヲ施行ス  
ルヲ以テ自カラ高フリ自カラ誇ル者ト雖モ猶ホ且ツ男女ノ別ヲ立テ年齡ノ長幼  
ヲ問ヒ之ヲ與奪スルノ實アルヲ免レズ到處有限撰舉ノ一法タルニ過キサルナリ  
之ヲ要スルニ撰舉權ノ有限ナルヘキハ天下ノ大勢ナリ宇宙ノ間立憲ノ政治ヲ行  
フ者無慮七十國ニ近シ而シテ其能ク此大勢ニ反シコレカ制度ヲ立ツル者蓋シ幾  
邦アル乎天下ノ廣キ宇宙ノ大未タ曾テ無限撰舉ノ制ヲ實行スルモノアルト見サ  
ルナリ然リト雖モ撰舉其限リヲ立ツルハ大勢ニ隨フ者ニシテ元ト已ムテ得サル  
ニ出ツ故ニ社會ノ文化漸ク其度ヲ進メ撰舉其權ヲ伸張スルヲ得ハ勢ヒ之ヲ稽留  
メ之ヲ與フル無キニ了ハル可ラサルナリ是ヲ以テ吾黨ノ人ハ相議シ曰ク社會進  
歩ノ度ニ隨ヒ撰舉權ヲ伸張スヘシト蓋シ又天下ノ大勢ニ隨ハント欲スル也

第廿三章 議政官ヲ細論ス六。下議院ノ組織ヲ論ス二。撰舉ノ法規。歐米慣行法ノ多弊。多少兩數ノ併撰。六種ノ考案。立限投票法。積聚投票法。名籍投票法。中意投票法。代作投票法二種。候補喚名ノ得失。

下議院ノ組織ニ係ル第二ノ題案ハ撰舉ノ法規ニシテソノ法ハ何等ノ制ニ據ル乎  
 歐米慣行ノ法ニ據リ多數ヲシテ少數ヲ壓セシムル乎將タ多數少數共ニ其代議官  
 ナ差出スルヲ得セシムル乎一問トス而シテ此問案タルヤ頗ル混擾ノモノニシ  
 テ歐米名家ノ夙ニ熟論スル所ナレハ後學ノ之ヲ講スル勢ヒ亦タ多少ノ困苦ヲ嘗  
 メサルヲ得ス

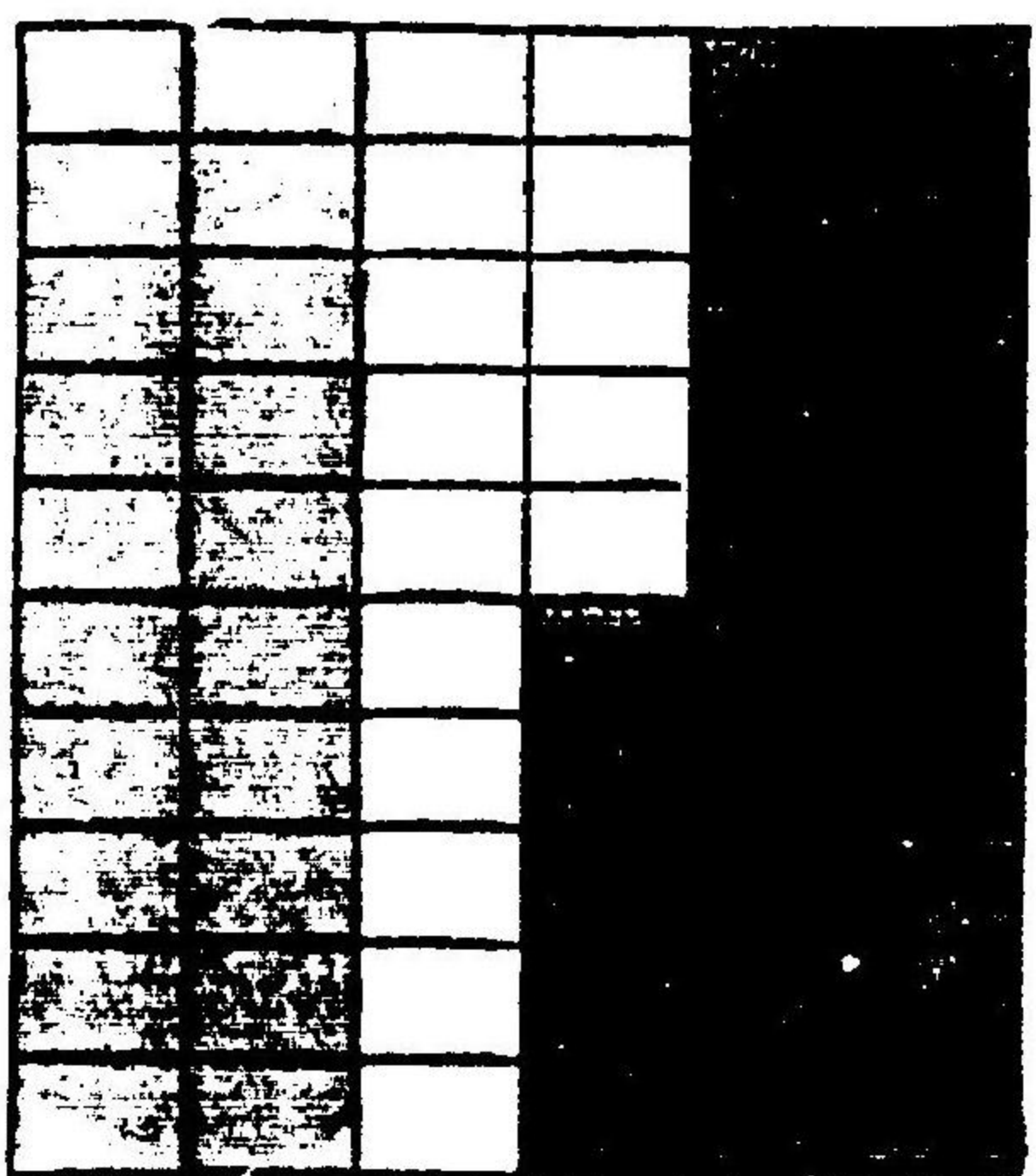
美良房嘗テ曰ク代議會ノ國民ニ於ケルハ恰カモ地圖ノ土地ニ於ケルカ如シ地圖  
 能ク土地ノ形狀位地ヲ示シ能ク其全局ヲ表ハス夫ノ議會モ亦タ斯ノ如シ彼レ實  
 ニ人民ノ縮圖ナリ其人民ノ持論氣象意思ヲ表發スルノ狀宛モ地圖ノ山谷、湖川、林  
 野、都邑ヲ表示スルカ如シト代議會ノ本質實ニ此ノ如シ而シテ此ノ縮圖ヲ製作ス  
 ルノ器機ハ果シテ何者ナル乎豈ニ撰舉其法ニ非ラサルナキヲ得ンヤ故ニ撰舉其  
 法ヲ盡シ所在ノ人民ヲシテ咸クソノ代議官ヲ差出スルヲ得セシメ夫ノ多數少數

チシテ共ニ其意思ヲ表章スルヲ得セシムヘキハ事ノ著明ナルモノニシテ理勢ノ  
 争フヘカラサルモノナリ然ルニ歐米ノ通語ニ曰ク多數ハ少數ノ敵ニアラス少數  
 ハ宜シク多數ニ服従スヘシト斯ノ通語タルヤ久シク歐米ノ間ニ行ハレ人々ソノ  
 眞理ナルヲ信憑シ未ダ曾テ之ヲ疑ハス撰擧ノ際モ亦々常ニ其眞理ナルヲ信シ少  
 數ノ人往々其弊ヲ蒙ムルアリ夫ノ辨端ノ如キ夙ニ眞理ヲ發明スルヲ以テ自カラ  
 任シ其名聲ヲ古今ニ轟カシタルモノト雖モ猶ホ且ツ其眞利ニ背カサルヲ公言シ  
 敢テ其非理ナルヲ言ハス然リト雖モ是レ古傳ノ熟語ヲ慣用シ其理非ノ如何ヲ極  
 メサルモノニシテ素ヨリ眞理ノ旨ニ合フモノニアラス蓋シ其少不利アリト雖モ  
 之ヲ以テ大利益ヲ全フスルヲ得ハ之ヲ斷行シテ敢テ妨グル所ナシトハ夫ノ大小  
 ノ利益ヲ併有スル能ハサルニ際ニ寧ロ其小ヲ捨テ、其大ヲ全フセシコトヲ冀ヒ  
 所謂ル尋チ枉ケテ尺ヲ直フセントスルモノナレハナリ是ヲ以テ若シ苟クモ夫ノ  
 小不利ヲ療醫スルヲ得、大小ノ利益ヲ併致スルノ術アラハ之ニ若手レテ敢テ遺ス  
 コトナキハ吾人ノ勉ムヘキ急ニシテ決シテ忽諸コ付スヘキモノニアラサルナリ  
 今按スルニ撰擧ノ際少數ノ人民ヲシテ多數ノ人民ト均シクソノ代議人ト差出ス

ルヲ得セシムルノ方術未ダ終無ト謂フヘカラス然ルニ今之ヲ極メテ却テ之カ辭  
 チ作り一概ニ多數ハ少數ノ敵ニアラス少數ハ多數ニ服従スヘシト謂ハ、余レ寧  
 ロ德義ノ欠所アルヲ覺フルナリ小兒習俗ノ之ヲ論シテ曰ク少數ハ多數ニ服従シ  
 小者ハ大者ニ隨伴スヘシトハ燕臺ノ説語ニシテ人々之ニ習習シ未ダ曾テ之ヲ怪  
 マス隨テ少數ノ人ヲシテ多數ノ人ト均シク其權力ヲ有セシムルノ方便アルヲ講  
 究セス偶然之ヲ看過シテ未ダ其利害得失ヲ極メサルナリ夫レ代議官ノ相集同シ  
 テ公事ヲ商議スルヤ勢ヒ多數ヲシテ少數ヲ制御セシメ少數ヲシテ多數ニ服事セ  
 シメサルヲ得ス隨テ多數ノ人民ヲシテ少數ノ人民ヲ管理セシメサルヲ得サルハ  
 事ノ固ニ止ムヲ得サルモノナリ然リト雖モ決事多數ニ依ルノ故ヲ以テ少數ノ人  
 民ヲシテ全然ソノ代議官ヲ出サシムルヲ要セサルノ理アル乎又多數議決ノ故ヲ  
 以テ少數ヲシテ全然ソノ發言ヲ爲スヲ得セシムルヲ要セサルノ理アル乎又少數  
 ノ説ハ之ヲ打聽スルヲ要セス成ク之ヲ取ルコ足ラストスルノ理アル乎惟フニ燕  
 臺狎習ノ弊ヲ蒙ムルモノニアラサルヨリハ必ラス能ク其非理ノ事ナルヲ曉ルヲ  
 得ン天下豈ニ少數ノ人民ヲシテ全然ソノ代議官ヲ出サシムルヲ要セサルノ理アル

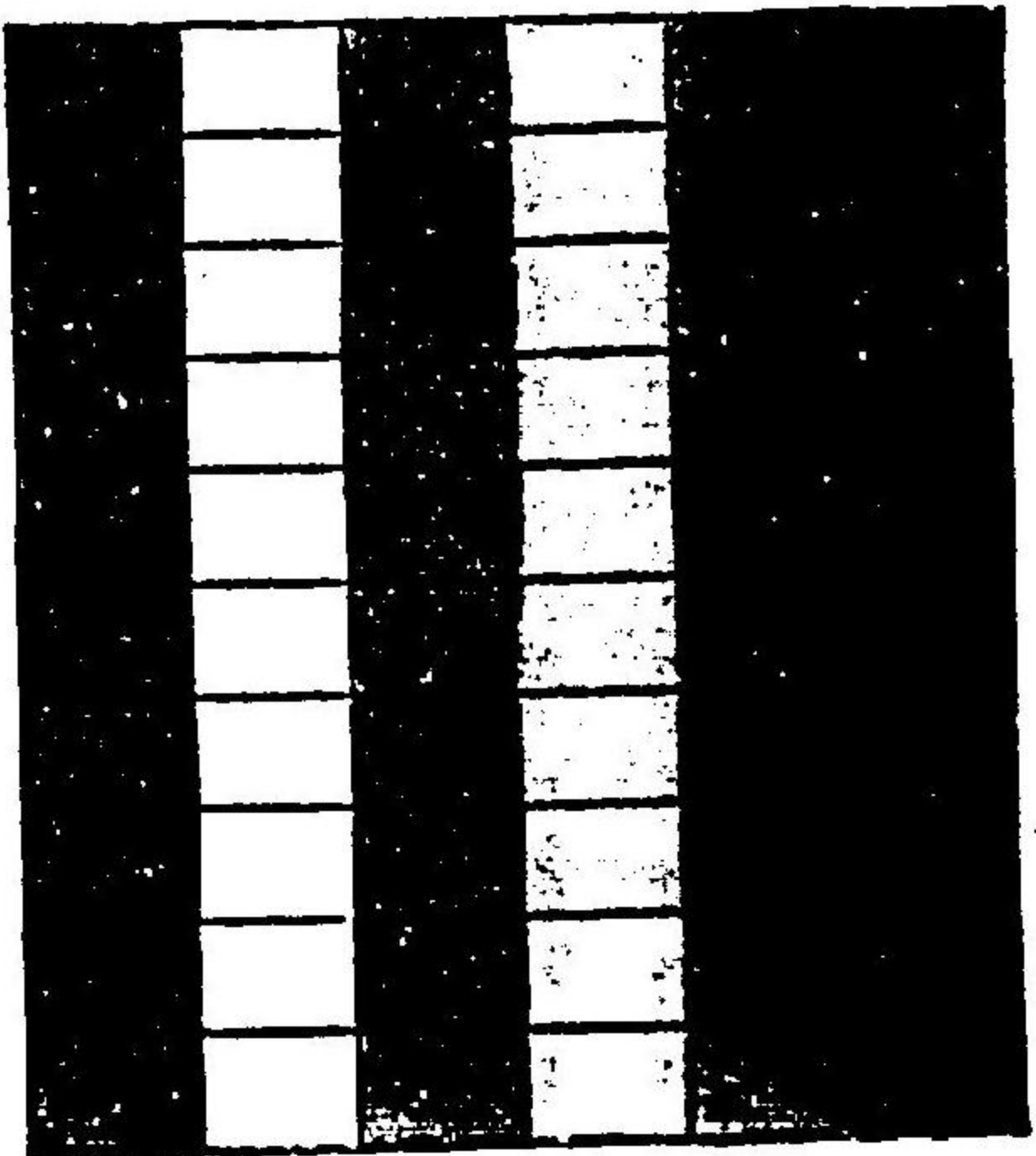
ランヤ又豈ニ之ヲシテ全然ソノ發言ヲ爲スヲ得セシムルヲ要セサルノ理アラシ  
 ヤ而シテ夫ノ少數ノ説ト雖モ必ラス之ヲ打聽スヘキノ理アリ否ト平等ニ人民ヲ  
 シテ參政ノ權利ヲ得セシメント欲セハ勢ヒ所在ノ人民ヲシテ其多少ノ數ニ比例  
 シテ威ク之レカ代議官ヲ出スノ自由ヲ全フセシメサルヲ得ス夫ノ撰舉人ニシテ  
 多數ナラシメン乎之ヲシテ多數ノ代議官ヲ出スヲ得セシムヘシ又撰舉人ニシテ  
 少數ナラシメン乎又能ク之ヲシテ其配額ノ代議官ヲ出スヲ得セシメサルヘカ  
 スト是レ少數ノ人民ヲシテ多數ノ人民ト均シク撰舉ノ權利ヲ全フルヲ得セシム  
 ヘキ所以ノ原理ニシテ其之ヲ實行スルノ方便モ亦自カラ備ハルカ如シ  
 且ツ米慣行ノ舊法ニ據テ議官ノ撰舉ヲ行フトセハ其弊ヤ獨リ少數ノ人民ヲシ  
 テ撰舉權ヲ空フセシムルニ止マラス又或ハ多數ノ人民ヲシテソノ權利ヲ空却セ  
 シムルノ實アルヲ免レス到底少數ヲシテ多數ヲ管理セシムルノ害アルニ終ハシ  
 ヲ耳其故如何トナレハ比較多數中ノ多數ハ之ヲ全數ノ過半數ニ比スレハ自カラ  
 少小ナルモノニシテ能ク全數ノ多數ヲ爲サシムルノ理アレハナリ試ニ左圖ヲ取  
 リ實形ニ就テ其理ヲ示サシムルニ圖中ノ一段ヲ假想シテ投票一千枚ヲ表章スルモノ

トセハ吾人ハ今圖中ニ就テ六十段畫ヲ得ルヲ以テ一六六万枚ノ投票アルヲ假想  
 スルヲ得シテ而シテ其四方枚以上ハ全數ノ多數  
 ニシテ若シ圖中紅白ノ二色ヲ合セテ威ク一致ノ  
 撰舉ニ出テシメハ黃色ノ人民即チ二萬人ハ其適  
 意ノ人ヲ撰舉スルヲ得サルノ弊ヲ蒙ランモ猶ホ  
 且ツ夫ノ最多數ナル紅白二色ノ人民即チ四万人  
 ハ其適意ノ人ヲ差出スルヲ得ルノ理アリ然レト  
 モ若シ紅白二色ノ人民ニシテ一致ノ撰舉ニ出ツ  
 ルヲ得ス各々其所好ノ候補ヲ立ツルアラシメン乎其關係ハ全ク前者ト相反セサ  
 ルヲ得ス蓋シ此ノ時ニ當テハ紅色ノ人民ハ唯纔ニ白黃各別ニ對スルノ比較多數  
 ダルニ過キスシテ其全數ニ就テ之ヲ言ヘハ却テ少數ノ者タルヘケレハナリ然レ  
 トモ是レ弊ノ少ナキモノナリ今ヤ又別ニ其一例ヲ示サシムルノ弊ノ極マルモノヲ示  
 サシムルニ又圖形ニ據テ之レヲ舉示スルヲ便ナリトス讀者幸コ下ノ圖繪ニ就キ仔細  
 ニ圖中幾種ノ着色アルヲ見ヨ君必ラス青、黃、赤、白、黒ノ五色アルヲ見シテ其



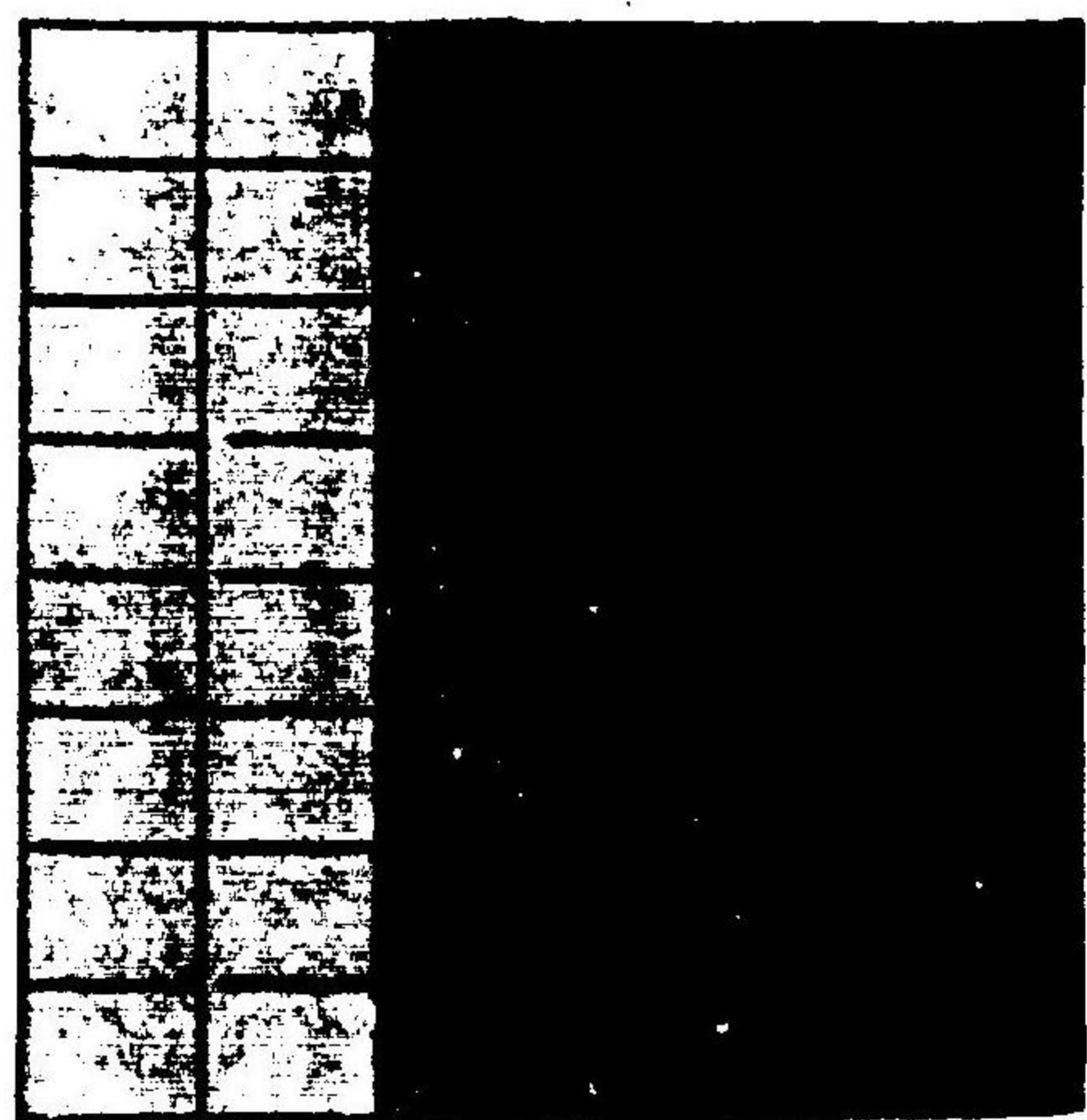
トモ是レ弊ノ少ナキモノナリ今ヤ又別ニ其一例ヲ示サシムルノ弊ノ極マルモノヲ示  
 サシムルニ又圖形ニ據テ之レヲ舉示スルヲ便ナリトス讀者幸コ下ノ圖繪ニ就キ仔細  
 ニ圖中幾種ノ着色アルヲ見ヨ君必ラス青、黃、赤、白、黒ノ五色アルヲ見シテ其





段ハ前者ノ如ク一千枚ノ投票ヲ表章スルトセハ  
 青ハ二万枚ヲ表章シ黄以下ハ各一萬枚ヲ表章  
 スルモノナルヲ知ラン願フニ歐米慣行ノ舊法ニ  
 據テ其被撰人ヲ定ムトセハ青ノ投票ヲ得ルモノ  
 ハ必ラス撰ハレテ其位ニ立テ夫ノ黄赤以下ノ投  
 票ハ全然無用ニ歸シ了ハラシ耳然レモ願フテ青  
 ノ投票ヲ以テ之ヲ全數ニ比スレハ六分ノ二即チ  
 三分ノ一タルニ過キス到處四万人ノ利益ヲ放テ二万人ノ侵掠ニ任スノ實アルヲ  
 免レス被撰人候補ノ數愈々多クシテ其弊愈々大ニ其種々恒ニ少數ヲシテ多數ヲ  
 管理セシムルノ實ヲ爲シ其寡人政府ノ害ヲ表ハサシルモノ殆ント希レナリ之ニ  
 加フルニ多數中ノ多數ハ全數ノ少數ナルハ事ノ恒ナル者ニシテ吾人ノ屬見聞  
 スル所ナレハ最モ用意シテ其弊ヲ避ケサルヲ得ス讀者又試ニ下ノ圖繪ニ就テ之  
 ナ考察セヨ其藍黒ノ二色ハ是レ全數ノ多數ヲ表章シ其黄色ハ是レ全數ノ少數ヲ  
 表章ス而シテソノ藍色ハ全數中ノ多數ヲ表ハシソノ黒色ハ多數中ノ少數ヲ表ハ

スモノナリ讀者ハ如何カ之ヲ觀察ス必ラス藍色  
 ノ段數二十四箇ハ黒黄二色ヲ併合スル段數三十  
 四箇ニ比スレハ十箇ノ不足アルヲ見シ是レ多數  
 中ノ多數ハ全數ノ少數ナル實跡ニシテ歐米慣行  
 ノ舊法ニ依レハ議決ノ時勢ヒ此二十四箇ノ小數  
 ナシテ三十四箇ノ多數ヲ抑制セシムルノ實アラ  
 シメサルヲ得ス蓋シ小數ナル黄色ノ如キハ撰舉  
 ノ際既ニ投票ノ效ヲ失シ議院中ニ一箇ノ議官ヲ  
 差出スルコト能ハサルヲ以テ其意望自カラ議院ノ中ニ表ハレス而シテ黒色ノ如  
 キハ撰舉ノ際投票偶々其效ヲ奏シ能ク議官ヲ差出スルヲ得タリト雖モ議決ノ際  
 所謂ル多數中ノ多數ニ抑制セラレ之カ議官タルモノソノ議論ヲ貫徹スルコト能  
 ハサルヲ以テ其意望又議院中ニ行ハレス彼此併セテ三十四箇ノ意望ヲシテ空  
 シ二十四箇ノ意望ニ制御セラルルノ實アラシメサルヲ得サレハナリ是レ皆撰  
 舉ソノ法ヲ盡サス多數ト少數トヲシテ併ニ其代議官ヲ出スヲ得セシメサルノ致



スモノナリ讀者ハ如何カ之ヲ觀察ス必ラス藍色  
 ノ段數二十四箇ハ黒黄二色ヲ併合スル段數三十  
 四箇ニ比スレハ十箇ノ不足アルヲ見シ是レ多數  
 中ノ多數ハ全數ノ少數ナル實跡ニシテ歐米慣行  
 ノ舊法ニ依レハ議決ノ時勢ヒ此二十四箇ノ小數  
 ナシテ三十四箇ノ多數ヲ抑制セシムルノ實アラ  
 シメサルヲ得ス蓋シ小數ナル黄色ノ如キハ撰舉  
 ノ際既ニ投票ノ效ヲ失シ議院中ニ一箇ノ議官ヲ  
 差出スルコト能ハサルヲ以テ其意望自カラ議院ノ中ニ表ハレス而シテ黒色ノ如  
 キハ撰舉ノ際投票偶々其效ヲ奏シ能ク議官ヲ差出スルヲ得タリト雖モ議決ノ際  
 所謂ル多數中ノ多數ニ抑制セラレ之カ議官タルモノソノ議論ヲ貫徹スルコト能  
 ハサルヲ以テ其意望又議院中ニ行ハレス彼此併セテ三十四箇ノ意望ヲシテ空  
 シ二十四箇ノ意望ニ制御セラルルノ實アラシメサルヲ得サレハナリ是レ皆撰  
 舉ソノ法ヲ盡サス多數ト少數トヲシテ併ニ其代議官ヲ出スヲ得セシメサルノ致

ス所ニシテ吾人勢ヒソノ流弊ヲ矯正セサルヲ得ス  
 之ニ加フルニ慣行ノ舊法ニ據レハ代議官其人ヲ得サルノ弊甚多キヲ知ル蓋シ撰  
 舉ノ際撰舉人ノ思念必ラス二途アラサルヲ得ス曰ク正當ノ人ヲ得ンコトヲ思フ  
 曰ク其所撰スル候補ノ多票ヲ得ンコトヲ思フ是レナリ而シテ斯ノ思念ヤ時々一  
 致ノ動作ヲ爲スヲ得ス間々或ハ相背馳シ正當ノ人ヲ得ンコト欲セハ多數ノ贊同ヲ  
 得ス多數ノ贊同ヲ得ンコト欲セハ正當ノ人ヲ得サルコト多ホシ蓋シ古今内外ノ間  
 有爲活潑ノ士ハ常ニ其行爲ヲ露出シテ天下毀譽ノ巷ニ立ツテ以テ之ヲ友視スル  
 モノ之ヲ敵視スルモノ殆ント相半ハシ其全体ノ贊同ヲ得テ多數ノ所望ヲ聚シモ  
 ノ誠ニ希レナレハナリ然ルニ政黨相争ヒ各々其多數ヲ占有セント欲スルヤ勢ヒ  
 多數ノ贊同ヲ得ルノ備ヲ爲サシムルハカラス而シテ之ヲ得ルノ術ハ物議ニ沙ル最  
 モ少ナキモノヲ撰ンテ其候補ト爲スニ在リ顧フニ何種ノ人物カ最モ物議ニ沙ル  
 稀少ニシテ能ク多數ノ贊同ヲ得易キ乎曰ク其行爲未タ外ニ顯ハレズ未タ會テ毀  
 譽褒貶ノ巷ニ立タサルモノ是レナリ是レ歐米諸州ニ在テ往々第二流ノ人ニ就キ  
 議官ノ候補ヲ擇ム所以ニシテ其弊ヤ流レテ其人ヲ得サルコト了ハル者多ク論者

間々其罪ヲ政黨ノ競争ニ歸スト雖モ是レ其實因テ極メサルモノナリ顧フニ其來  
 ル政黨相争ヒ各々其多數ヲ占有セント欲スルニ由ルカ如シ一雖モ夫ノ故ヤラニ  
 第二流ノ人ヲ擇ヒ之カ候補ト爲シ敢テ其人ヲ失スルヲ願ハサル者ハ撰舉其法ヲ  
 盡サズ專ラニ多數ニ取テ其議官ヲ立テ夫ノ多少配當ノ宜シキヲ得セシメサルニ  
 因ルナリ余嘗テ米洲聯邦ニ在リ時宛モ大統領ノ撰舉ニ遇フ當時頗ル成スル所ア  
 リ偶然二句ヲ得テリ可憐華聖東城主、不必米洲第一人ト蓋シ撰舉ノ際、兩黨互ニ第  
 二流ノ人ヲ立テ之カ候補ト爲シ以テ投票ノ多數ヲランコトヲ冀ヒ背リ第一流ノ  
 人物ヲ立テサルヲ願スルナリ噫々人孰レカ其正當ノ人ヲ得ルヲ冀ハサラン然レ  
 トモ其多數ヲ得サレハ全然投票ノ權ヲ虛フス故ニ寧ロ忍ンテ第二流ノ人ヲ擇ヒ  
 シノ投票ヲシテ有效ノ者ヲラシメント欲スルナリ  
 唯タ夫レ此ノ如シ故ニ近時泰西ニ在テ政治ノ學ヲ講シ其事ヲ實ニスルモノ然意  
 シテ之カ流弊ヲ避クルノ術ヲ求メ其法子ヲ案出スルモノ無慮十數人ニ下ラス而  
 シテ余ノ見聞スル所ニ據テ之ヲ謂ヘハ左ノ數案ノ如キハ蓋シ其要ナルモノト如  
 シ請フ先ツ試ニ其要略ヲ舉ゲ而シテ後チ余ノ自カラ収ル所ヲ示サム

第一ハ立限投票法ト稱シ博士句讀句ノ創意ニ出テ約翰羅是兒侯之ヲ祖述シ一千八百六十八年(我明治元年)之ヲ英國議院ノ公議ニ付セリ今其法案ニ據ルニ各人投票ノ數ヲ制限シテ撰舉スヘキ議官ノ數ニ相當セシメス必クス限ル所アラシム營ヘハソノ撰舉スヘキ議官ノ數三人ナラシメハ撰舉人ヲシテ各二枚ノ投票ヲ爲サシメ五人ナラシメハ三枚ノ投票ヲ爲サシムルカ如キ是レナリ蓋シ斯ノ如クセハ三分ノ一ニ當レル少數ハ一人ノ代議官ヲ差出スルヲ得ルノ理ニシテ稍ク少數ノ不満足ヲ醫スルノ望アリ然レトモ此法案タル未ク完善ノモノト謂フヘカラス願フニ若シ多數少數ヲシテ正當ノ平分ヲ得ス些毫ノ差異ヲ生シ多數ノ配額ヲテ少シク少數ノ均分ニ超過セシムルアラソシ平少數ハ忽チ其議官ヲ差出スルノ利便ヲ失シ到處多數ノ凌辱ヲ免ルコト能ハサルヤ必キ今ソノ極度ノ一例ヲ舉ケテ之ヲ証センコト若シ多數ノ黨派ヲシテ全數四分ノ三ヲ超過スル唯僅ニ一人ナラシムトセシ平少數ハ直ニソノ意ヲ満足スルヲ得サルヘシ讀者試シ一千六百名ノ撰舉人ヲ以テ三人ノ議官ヲ撰舉スト假想セヨ而シテ其多數ノ黨派ハ一千二百零一人(即チ四分ノ三ニ一人ヲ加フ)トセハ彼黨ハ二千四百枚ト外ニ二枚ヲ投票スル

ヲ得ソ今全數三千二百枚ニ就テコノ二千四百二枚ヲ扣除セハ少數ノ投票ヘキ殘餘ノ票紙ハ唯僅ニ七百九十八枚タルニ過キサル耳故ニ多數ノ黨派ニシテ若シ能ク巧ミヨ二千四百二枚ノ票紙ヲ分投シ之ヲ八百枚二箇ト八百二枚一箇トセハ三人ノ議官皆チ其黨中ヨリ差出スルヲ得少數ノ黨派ハ終ニ其法案ノ德澤ニ沐浴スルヲ得ス到處ソノ意望ヲ満足スルコト能ハサルナリ

第二ハ積聚投票法ト稱シ各撰舉人ヲシテ其當サニ投票スヘキ票紙ヲ積聚シ其全票若クハ其二票以上ヲ舉ケテ成ク之ヲ同一ノ候補ニ投却スルヲ得セシムル是レナリ譬ヘハ茲ニ四名ノ議官ヲ撰舉ストセハ各撰舉人ヲシテ其當ニ投却スヘキ票紙四枚ヲ積聚シ若クハ全票若クハ三票若クハ二票ヲ併セ成ク之ヲ同一ノ候補ニ投却スルヲ得セシムルカ如キ是ナリ此ノ法案タル元ト米洲聯邦ノ元老官馬禮遜ノ創意ニ出テ後チ代議官摩亞該兒之ヲ祖述シ其議一時米洲ノ議會ヲ動カシ特ニ憲判乃憲須洲會ノ如キハ現ニ之ヲ實行スト雖モ細カニ其及フ所ヲ詳カニシソノ結果ノ如何ヲ究ムレハ此モ亦未ク完全ノモノト言フヘカアラサルナリ衆人獨天翁之ヲ論シテ曰ク吾人ヲシテ能ク撰舉區畫ヲ廣大ナラシムルヲ得隨テ所在ノ少數

チシテ皆ナ其代議官ヲ差出スナル得セシメハ此法未ク其弊アリト見ス然レトモ  
 其撰舉區ニシテ廣大ナラス所撰ノ議官僅ニ三四人ニ過キカラシメテ其利  
 益アルヲ見ス率ニ多數少數相共ノ撰舉ヲ妨碍スルモノナリト宜ナル哉否ヤ  
 第三ハ名籍投票法ト稱シ始メ之ヲ瑞士ニ行フ今其概略ヲ舉グルニ何人タルカ  
 ハス撰舉人三十名以上ノ同意ヲ得ハ議官候補ノ名籍ヲ作ルヲ得セシメ之ニ記ス  
 ルニ常撰議官ノ員數ニ相當スル候補若干名ヲ以テセシメ撰舉ニ先ツ若干日之ヲ  
 撰舉事務ノ官長ニ出サシム而シテ撰舉事務長官ハ其名籍ニ附スルニ番号若干ハ  
 標記ヲ以テシ像ノ之ヲ國內ニ示シ撰舉ノ當日ニ及ンテ各撰舉人チシテ其番号若  
 クハ標記ヲ指シソノ投票ヲ爲セシム既ニ其投票ヲ終ハリ各名籍所得ノ投票ヲ計  
 ハ其投票ノ全數ニ對セル分數ノ多寡ニ應當シ各名籍ニ就テ順次其議官ヲ舉グル  
 テ法トス譬ヘハ一万人ノ撰舉人ニシテ議官十人ヲ保舉スルニ當テ候補名籍ヲ作  
 ルモノ四種アリ各々其定ムル所ニ從テ候補者十人ノ姓名ヲ記シ各撰舉人チシテ  
 其四種ノ一ニ就テ之カ投票ヲ爲セシム而シテ若シ甲ノ名籍ニ就テ投票スルモノ  
 四千人アリ乙ノ名籍ニ就テ投票スルモノ三千人丙ノ名籍ニ就テ投票スルモノ二

千人丁ノ名籍ニ就テ投票スルモノ一千人ナラシメハ甲ヨリ四人乙ヨリ三人丙ヨ  
 リ二人丁ヨリ一人ヲ撰舉セシムルカ如シ後テ米人必沙亞之ヲ擴充シ佛人刺也阿  
 之ヲ祖述セシト雖モ猶ホ未タ吾人ノ意ヲ満足セシムルコト足ラサルモノアリ蓋シ  
 此法ニ據テ議官ヲ撰舉スルヲ爲サハ名籍ヲ作爲スルノ際其滿員ヲ欲スルカ爲メ  
 強テ其人ヲ求メ之カ當器ノ人ヲ得ルコトアルヘケレハナキ  
 第四ハ透也阿ノ考案ニ出テ稱シテ中意投票法ト謂フ蓋シ撰舉人中意ノ人ヲ保舉  
 スルヲ得ルノ義ニ取レリ今其要ナルモノヲ舉ケンニ第一毎總撰舉ノ時ニ當テ全  
 議官ノ數目ヲ以テ全撰舉人ノ數目ヲ除シ其得ル所ノ數目ヲ以テ一議官ヲ撰舉シ  
 得ルノ程度トナシ其數目ニ相當スル投票ヲ得ル者ハ皆ナ立テラレテ議官タルヲ  
 得セシメ以テ撰舉ノ事ニ從ハシム譬ヘハ我帝國ノ議官ニシテ六百二人アリ撰舉人  
 ニシテ百二十万人アリトセハ六百ヲ以テ百二十万ヲ除クソノ所得ノ數目二万即  
 チ撰舉人二万ヲ以テ一議官ヲ撰舉スルノ程度トナシ候補ニシテ其數目ニ相當ス  
 ル投票即チ二万枚ヲ得ルモノハ皆ナ立テラレテ議官タルヲ得セシムルカ加ヘ  
 二候補者チシテ其姓名ヲ記録所ニ通報シ自カラ其撰舉區ノ候補者タルヲ宣言セ

レシ並ニ金若干ヲ納レシム營ヘハ候補者ヲシテ其姓名ヲ東京若クハ大坂ノ記録所ニ通報シ自カラ神奈川撰舉區ノ候補タルヲ宣言セシメ並ニ二百圓及至三百圓ノ金圓ヲ納レシムルカ如シ而シテ其金圓ヲ納レシムル所以ハ元ト撰舉ノ費悉ク支辨セシムルノ意ニ出ツト雖モ旁ク候補ノ濫撰ヲ豫防スルノ效アリ蓋レ必撰ノ希望アル者コアラサレハ納金ヲ徒費スルノ恐レアルヲ以テ自ラ躊躇スルノ情アルヘケレハナリ第三、記録所ヲシテ某々ノ新聞ヲ以テ候補者ノ姓名ヲ公告セシム而シテ候補者ノ姓名ヲ録載スル順序ハ第一ニ現在職官タルモノ及ヒ當テ職官アリシ者ヲ記シ其在職ノ長短ヲ以テ之ヲ序テ第二ニ新ニ候補ニ充ツル者ヲ記シ其齒ヲ以テ之ヲ序テシム蓋シ此ノ如クスルヲセハ各區ノ撰舉人ハ其告示ヲ以テ他區ノ候補者ヲ知ルヲ得隨テ中意ノ人ヲ撰舉スルノ便ヲ得ル第四、各區ノ撰舉人ヲシテ下ノ式樣ニ照シテノ投票ヲ爲サシム

投票番號(東京府一萬八千號)

撰舉人住所姓名(東京日本橋區通二丁目十番地國富邦安)

右國富邦安ハ此票單ヲ註トシ左ニ列記スル候補ノ第一署名者ヲ撰舉ス若シ

- 第一 扶桑改之進
- 第二 南海志願
- 第三 陸奥敬君
- 第四 筑紫愛氏
- 第五 山田有翁
- 第六 北陸勲邦

第一署名ノ候補ニシテ既ニ應撰相當ノ投票ヲ得ルハ若クハ相當ノ投票ヲ得ズシテ其撰舉ニ當ルヲ得サルアラハ第二署名者ノ者ヲ撰舉ス若シ又第二署名ノ者ニ失センカ第三以下遊ニ相續キ順序其撰ニ當ラシム

蓋シ斯ノ如クスルヲ爲セハ撰舉人ヲシテ第一署名ノ者ニ失セハ之ヲ第二署名ノ者ニ得第二署名ノ者ニ失セハ之ヲ第三若クハ第四署名ノ者ニ得セシメ或ハ其意ヲ満足スルコト能ハサルアラソモ未ク全然ソノ意望ヲ失却シテハラシメカレナリ加之署名ノ順次ヲ以テ候補者徳望ノ輕重ヲ知ルヲ得隨テ當撰ノ職官ヲシテ民信ノ厚薄ヲ知ルヲ得セシム第五、各區ノ投票ヲ終ハレハ之ヲ中央ノ事務局ニ集合

シ公正ノ方法ヲ以テ其計算ヲ爲シ先ツ第一ニ記名セル甲ノ票數ヲ計算シ之  
 ニシテ既ニ其適應ノ票數前例ニ據レハ同ク二万枚ヲ得ハ其餘利ノ投票ハ取テ之  
 ナ所得ノ票數ニ算入セス方クニ移シテ之ヲ第二記名者乙所得ノ者ト做レ乙モ亦  
 タ其適應ノ票數ヲ得ハ第三等丙丁戊等記名者所得ノ票數ニ計入セシム但票中記  
 名セシ者ノ中甲ノミ獨リ適應ノ數ヲ得他ハ之ヲ得ルニ至ラザルトキハ其票紙ヲ  
 計ヘテ必ラス甲ノ所得ニ入ルテ要ス蓋シ之ヲ餘利トシテ他ニ移ストキハ終ニ其  
 票紙ヲシテツノ效用ヲ奏セシメザレハナリ而シテ之カ計算ヲ終ハレハツノ票紙  
 ハ集メテ之ヲ官庫ノ中ニ封藏シ以テ後ノ争ニ備フ上來ハ是レ邊也阿氏考案ノ大  
 畧ニシテ其利便數多アリ曰ク撰舉者區分ノ數ニ配額正當シテ其代議人ヲ出ス  
 出ル一ナリ曰ク撰舉者若シ其本管内ノ候補者ニ滿タサルアルモ全國所在ノ候補  
 者ニ就テ其投票ヲ入ルニ得自カラ自己所信ノ代議人ヲ出スヲ得ル二十ナリ曰ク  
 其撰舉セラレタル代議人ハ實ニ撰舉者全數一致ノ代議人ニシテ撰舉人モ亦必  
 ス自家屬望ノ人材ヲ得其事ヲ代議セシムルヲ得ル三十ナリ曰ク衆多ノ候補者ニ就  
 テ之ヲ撰舉スルヲ以テ自カラ人材ヲ得易キ四十ナリ

第五ハ代作投票法ト稱シ其大畧ハ邊也阿ノ考案ニ類シ二種アリ其一ハ白禮ノ創  
 意ニ出テ候補者ニシテ其分額ニ加倍スルノ投票ヲ得ルモノハ其加倍ノ投票ヲ移  
 シテ之レヲ其所好ノ人ニ與ヘ以テ議官ヲラシムルモノヲ謂ヒ譬ヘハ某候補者  
 ニテ其分額一倍ノ投票即チ四方枚ヲ得ハ二万枚ヲ移シテ之ヲ其相知某甲ニ與ヘ  
 若シ二倍ノ投票六万枚ヲ得ハ之ヲ其相知甲乙ニ分與スルカ如シ此法簡ハ簡ナリ  
 ト雖モ大ニ時望ヲ負フ候補者ヲシテ其私意ヲ肆マシムルノ弊ナリト得ス  
 其二ハ候補者ヲシテ其投票ヲ得ルノ過不及ニ拘ハラス共ニ之ヲ移シテ他ノ候補  
 者ニ與ヘ其同主義ノ候補ヲシテ撰ハレテ議官タルヲ得セシムルモノヲ謂ヒ譬ヘ  
 ハ甲ノ候補ヲシテ其投票ヲ得ル自家相當ノ分額ニ超過スルヲシハコレヲ移シ  
 テ乙ノ候補ニ與ヘ其不足ヲ補ハシメ以テ當撰ノ途ニ就カシメ又甲ノ候補ヲシ  
 テ其投票ヲ得ル自家相當ノ分額ニ及ハサルコトヲラシムルモ尙ホ其全票ヲ移シ  
 テ之ヲ乙ニ與ヘ其不足ヲ補ハシメ以テ當撰ヲ得セシムルカ如シ  
 以上六種ノ考案ハ皆ナ多少ノ二數ヲシテ共ニ其議官ヲ差出スルヲ得セシメント  
 欲スルノ意ニ出テ畧ホ其意ヲ達スト雖モ余ヲ以テ之ヲ謂ヘハ邊也阿ノ考案邊モ

其大体ヲ得能クシノ宜シキヲ盡ステ見ル始メ此説ノ出ルヤ歐米ノ學者相率キテ  
 其得失ヲ論議シ當時頗ル其實行シ難キヲ疑ヒシ者多ホシ然レモ講究ノ久シキ漸  
 シ世論ノ贊成ヲ得特ニ小彌兒、法思、德須、天倫ノ徒相踵テ之ヲ贊成祖述シ丁抹前大  
 藏卿、安土、オ大同ノ法ヲ案シ之ヲ其國土ニ施行セシ以來世信益々固ク現ニ歐洲  
 民地ノ如キハ其議ヲ以テ之ヲ議會ノ討議ニ付シ佛蘭西ニ瑞士ニ米洲聯邦ニ日耳  
 曼ニ之ヲ贊成スル者頗ル多ク殆ソト宇内ノ輿望ヲ得ルカ如シ今ヤ我邦モ亦之ヲ將  
 ニ代議ノ政治ニ歸セントス故ニ余ハ歐米ノ國情ニ模倣セズ直ニ之ヲ實行シ代議  
 政治ノ真跡ヲ全フセシコトヲ冀メヤ切ナリ論者問フソノ法ノ煩擾ヲ議スルモノ  
 アリ然レトモ是レ所謂ル姑息ノ説タルニ過キス抑モ議會ハ輿論ノ縮圖ニシテ社  
 會ノ意思ヲ撰寫スル者ナレハ其之ヲ書ク固ヨリ之ヲ精細ニ盡シ決シテ杜撰ノ事  
 アルヘカラス豈ニ其煩擾ヲ厭ヒ以テ縮圖ノ粗惡ヲ甘スルヲ爲サシヤ小彌兒嘗テ  
 邊氏ノ考案ヲ稱シテ曰ク其政治ニ功アル古今殆ソト並ヒ無スルモノナレト誠ニ  
 溢美コソアラサルナリ

此同案ニ附帶シテ論辨スヘキ事項一ツアリ即チ候補喚名ノ式是レナリ候補喚名

ノ事米人間ニ其非政ナルヲ論スル者アリ特ニ宇兒聖ノ如キハ痛ク其弊ヲ論シ遂  
 ニ曰ク候補ヲ喚名スルノ風ハ會々不良ノ人ヲ黨派政治ニ害用スルヲ得セシメ  
 其不利最モ甚シト吳慈佛モ亦嘗テ米洲撰舉ノ弊源ヲ指シテ曰ク候補喚名ノ式  
 ニ在リト二家ノ所言未ダ全ク非ナラス然レトモ凡ソ事ソノ有害ノ一邊ニ偏シテ  
 之ヲ論スレハ天地間ノ万象皆々有害ナラサルハナク殆ソト一トシテ其用ニ供ス  
 ヘキモノアラサルナリ唯々害アルヤ又利アリ利害相較シテ利ノ勝ルモノヲ取ル  
 ニ及ソテ天地ノ万象又皆々有益ノモノナル耳特ニ政治ノ題目ノ如キハ利害毎々  
 相伴シ苟モ其害アルヲ厭ヒ之ヲ行ハサレハ到底其利ヲ占ムル能ハサルモノナレ  
 ハ最モ注意シテ其利害ヲ較シ利ノ稍々勝ルモノヲ取ラサルヲ得ズ夫レ候補ヲ喚  
 名スルハ余未ダソノ弊ナシト謂ハス然レトモソノ弊ニ伴フニソノ利ヲ以テレ能  
 グ通般ノ人民ヲシテ其適從スル所ヲ知ラシメ爲メニ其人ヲ得ルノ益アリ其利其  
 弊ニ勝ル甚多キヲ覺フ況ンヤ夫ノ政黨爲政ノ治ヲ爲スニ及ソテハ其候補ヲ喚名  
 シテ民人ノ贊同ヲ求ムルハ狀勢ノ誠ニ止ムヲ得サルモノ有ルアリ之ヲ如何シ其  
 式ヲ行フナキコト了ハルヲ得ンヤ唯々候補ノ喚名ヤ實ニ其弊ナキヲ保セス故ニ將

ク其式ヲ慎ミ杜撰ノ弊ヲ除去スルノ手段ヲ講スルハ又吾人ノ勉ムヘキ一タリ辨  
 端嘗テ議院撰舉ノ改正法案ヲ卿スルアリ其第三節第二條ニ曰ク議官ノ候補タル  
 コ二箇ノ須要アリ第一薦舉証書ヲ具フルコト第三條ノ如クセサルヘカラス第二  
 應撰ノ當人若クハ其代理ノ名ヲ以テ撰舉費補足金ヲ納レサルヘカラスト而シテ  
 其第三條ニ曰ク薦舉証書ハ左ノ書式ニ依リ六名以上十二名以下ノ連署ヲ要ス  
 吾儕何府縣何町村何番地何職業何職ノ爲人ヲ了知シ大英及ヒ愛蘭ノ人民ニ代  
 ハリ下議院議官タルコト足ルヲ信ス是ヲ以テ今議院之ヲ薦舉ス其他義ヲ全フレ  
 聰明電勉ナルハ吾儕ノ深ク信スル所ナリ且ツ其職ヲ全フシ其任ニ堪ユルハ他  
 人ニ賢ルアルモ之コト及ハサルノ憂ナキヲ保證ス  
 ト其言フ所或ハ論ナキヲ得スト雖モ若シ今邊也阿ノ説ヲ參酌シ併セテ之ヲ實行  
 スルヲセハ余ソノ大過ナキヲ知ルナリ

第廿四章 議政官ヲ細論ス七。 下議院ノ組織ヲ論ス三。 直撰間撰ノ得失。 辨  
 端乾德小彌兒李拔ノ所説。 歐米各土ノ典例。 英國暗密投票ノ成例。

議官ヲ保舉スルコト二條ノ順序アリ曰ク直撰曰ク間撰是レナリ直撰トハ國民ノ自  
 カラ投票シテ直ニ代議官ヲ撰舉スルノ制ヲ謂ヒ間撰トハ國民先ツ撰舉主務ノ者  
 ヲ撰ヒ之ヲシテ間接ニ代議官ヲ撰舉セシムルノ制ヲ稱シ二制今共ニ歐米諸州ノ  
 間ニ行ハレ學者モ亦々屬シソノ得失ヲ議スルアリ而シテ間撰ノ制ヲ存ス者曰ク  
 人民ノ中間ニ無識ニシテ其智議官ヲ撰舉スルニ堪ヘサルモノアリ願フニ若シ此  
 類ノ人民ヲシテ直ニ其代議官ヲ撰舉スルヲ得セシメン乎彼レ必ラス他人ニ非ハ  
 レ其教唆ニ依テ投票ヲ爲スフラン是レ詭譎ノ政事家ヲシテ其私意ヲ逞フスルヲ  
 得セシムルモノニシテ素ヨリ一國ノ利益ト謂フヘカラス故ニコレヲシテ其隣近  
 ノ某ノヲ撰ハシメ某ノヲ更ラシメ其議官ヲ撰舉スルヲ爲サシメハ議官自カラ  
 ソノ人ヲ得ルニ庶幾ラント佛人勢能兒實ニ此説ヲ持ス氏任テ説ヲ爲シテ曰ク直  
 撰ノ制ヲ取テ之ヲ實行スルヲセハ撰舉人ハ候補ニ就テ誰レカ最モ中意ノ人ナル  
 ヲ知ルニ由ナカラシ蓋シ此時ニ當テハ撰舉人タルモノ候補ノ諸人ト離隔シテ未



タ嘗テ相見ス隨テ其既往ノ行爲ヲ知ルニ由ナク又其意見性質ヲ詳ラカニスルヲ  
得ヘカヲサレハナリ今余ヲ以テ之ヲ見レハ夫ノ時事ニ通達スルモノト雖モ其本  
心ニ向テ君能ク悉ク君カ所撰ノ議官ヲ知り而シテ之ヲ撰フヤト問ハレ果レ如何  
カ之ヲ答フ巴黎所撰ノ議官四五十人アリ設ヒ其撰舉人ヨシテ通且ツ達ナクシム  
ルモ必ラス其全員ノ行爲意見性質ヲ詳ラカニスルヲ得キルヘシト呼ビ通達ノ撰舉  
人スラ尙ホ且ツ之ヲ詳カニスルヲ得ス況ンヤソノ下愚ナルモノニ至テハ勢之ヲ  
詳知スルニ由アラサルナリ是ヲ以テ喧嘩狡辯ノ徒相倚テ黨ヲ爲シ自カラ舉ケテ  
候補ノ位ニ居リ其名籍ヲ作爲シテ之ヲ撰舉人ノ目前ニ置キ以テ其撰舉ヲ強ユル  
ニ至ル唯撰舉人ヤ問レ或ハソノ意ニ中セサルモノアラン然リト雖モ其名籍ニ就  
テ之カ舉票ヲ投スルヲ爲スナクラン乎自家ノ黨派ソノ敗ヲ取リ對頭ノ黨派其勝  
ヲ制スルノ恐アリ故ニ少ラシ之カ投票ヲ爲シ以テ自カラ忍フ所又甚クシト謂  
ツヘシ願フニ此ノ制タル虛構假設ノモノト稱スヘシ撰舉人ハ其自主ヲ得ルニ似  
テ却テ自主ヲ得ス候補ノ性質如何ハ自家未ダ之ヲ知ラス是ヲ以テ其甲ヲ撰フ自  
家ノ意ニ中スルカ故ニアラス又其之ヲ撰ハサル自家ノ意ニ中セサルノ故ニアラ

サルナリ唯タ夫レ此ノ如シ故ニ直撰ノ制必ラニシモ民人直接ノ撰舉ト官フヘカ  
ラス其實間接ノ撰舉ニシテ保舉明ニ二段アルヲ知ル蓋シ所謂ル委員ナルモノア  
リテ己レ自カラ候補ノ名籍ヲ作爲シ自家ノ好惡ニ依テ其人ヲ取捨シ未ダ嘗テ撰  
舉ノ大任ニ當ルヲ顧ミス又ソノ委員ヲ組成スル間ニ急暴詐偽ノ餘ニ出テ其弊ヤ  
極マレリ而シテ之ニカ撰舉人タルモノ往レ其自主ヲ失シ只縱ニ委員所定ノ候補  
ニ對シ其認肯ノ意ヲ表スルニ過キサル耳且ツ此制タルヤ弊害殆ント絶ニ止マラ  
ズ又激論自喜ノ徒ニシテ屢々撰ノ機ヲ得ヒシメ爲メニ其宜シキヲ失スルアラ  
ム蓋シ極議自カラ喜ヒ激論獨リ快シトスル者ヲ好ニスルハ愚民癡氓ノ常ニシテ  
愚民癡氓間ニ各黨ノ多數ヲ占ムルモノナレハナリト宇兒聖ハ問撰ノ制ヲ駁シテ  
曰ク其非ニツアリ曰ク實行的ノ制度ト云フヘカラス是レ其非一ナリ蓋シ一國ノ  
人民ニシテ既ニ政治ノ意思ヲ備ヘ議院撰舉ノ投票ヲ爲スニ意アツシメハ彼レ間  
接ノ撰舉ヲ以テ自カラ足レリトセス必ラスヤ進テ之ヲ直撰センコトヲ希ヒ未ダ  
之ヲ得サレハ之ヲ得ンコトヲ勉メ既ニ之ヲ得ハ之ヲ失ナハサランコトヲ勉ムヘ  
ケレハナリ曰ク撰舉人ヲシテ其權ヲ重ンセシメス寧ロ其得喪ヲ顧ミサルノ情ヲ

興スニ至ラシメン是レ其非ニナリ蓋シ一國ノ民人ニシテ直ニ其代議官ヲ撰舉スルヲ得ス唯タ僅ニ其代議人ヲ撰薦スルニ止マラシメハ彼レ必ク其結果ヲ見ルノ遅キニ疲レソノ權ノ重要ナルヲ遺忘スルニ至ルヘケレハナリ顯シニ若シ能ク一國ノ民人ニ就テ聰明不明ノ別ヲ立ツルヲ得ハ宜シク不明ノ徒ヲシテ其撰權ヲ受クルヲ得サラシムヘシ豈ニ故ヲニ他人ヲ中間ニ挾ニ其舉行ヲ強ニルニ爲ヤンヤト李拔モ亦ク曰ク問撰ノ制ハ代議官ヲシテ人民ニ對シテ直接ノ責任ヲ免カレシメ又之ニ對シテ直接ノ感情ヲ起サシメテ人民ニ利ヲサラントス而シテソノ代議政治ノ要旨ヲ亂ルノ實アルハ夫ノ壓抑政府ノ威力ヲ失ナフニ當テ屢々此制ヲ布キ之ヲ恢復セソコトヲ謀リシテ以テ知ルヘシト是レ元ト暗ニ李魯士ノ非政ヲ指スモノナリト雖モ細ニ其意ノ所在ヲ味ヘハ頗ル真摯ノ趣旨アルヲ覺フ又辨端ハ直撰ヲ是トスルモノナリ嘗テ其説ヲ爲レテ曰ク之ヲシテ問撰ニ出テシメハ余レソノ害アルヲ見テ未ク其利アルヲ見ス而レテ其害ヤ二ツアリ曰ク人民ニ對シテ代議官ノ責任ヲ薄カラシム曰ク問撰人ノ數自カラ少小ナリ故ニ朋黨ノ弊ニ陥リ易シト小彌兒モ亦ク直撰ノ利ヲ舉ケ大ニ問撰ノ害ヲ説ケリ今其説ヲ要略スル

ニ即チ曰ク問撰ノ制ヲ行ハシ民人ノ利益ヲ減少スルノ弊アリ其不利率ニ直撰ノ危險ヲ避タルノ利ヨリ大ナリ直撰ノ危險ヤ無智不識ノ徒ヲシテ其撰舉ヲ誤マラシムルニ在リ而シテ其利益ヤ人民ヲシテ各々公同ノ心ヲ起サシメ其政治ノ意想ヲ養ハシムルニ在リ顯フニ問撰ノ制ヲ以テ能ク民人公同ノ心ヲ起サシメソノ政治ノ意想ヲ發セシムルヲ得ル乎蓋シ是レ難カラシ且ツ夫レ人民ニシテ直接ニ議官ヲ保舉スルヲ得サレハ必ラス投票ノ事ヲ重セス隨テ其職ヲ誤ルノ虞ナキヲ保セス况ンヤ無識ノ徒ニシテ實ニ其撰舉ヲ爲スニ意ヲ用フシメハ必ス其所信ノ人ニ就テ何人カ能ク議官タルニ足ルヲ推問スルナラム故ニ之ヲ直撰ノ制ニ取テ之ヲ必行スルモ余レ未ク其弊アルヲ見スト諸家ノ論スル所概テ上來ノ如ク其直撰ノ利ヲ説ク正ニ斯ノ如ク况ンヤ余ヲ以テ之ヲ謂ヘハ時勢ニ沿テ撰舉人ノ品等ヲ定メ夫ノ無智不識ノ愚民ニシテ撰舉ノ權ヲ善用スルモノヲ稽留シ諷諭ノ徒ニシテ乘スルノ好機ヲ得セシメサルアラハ直撰ノ弊隨テ絶無ニ歸スルヲ知ル是ニ於テ乎余ハ又讀者ニ示スニ普通撰舉ノ一弊ヲ以テスルノ機會ヲ得テリ蓋シ普通撰舉ノ制ヲ實行シ在所ノ人民ヲシテ咸ク撰舉ノ事ニ與カルヲ得セシメハ縱ヒ直撰ノ

制ヲ行フモ其弊ヤ流レテ間撰ノ實ヲ爲スニ至ルコトアルヘケレハナリ宇兒學堂  
 テ曰ク設ヒ直撰ノ制ヲ布キ其權ヲ舉ケテ之ヲ國民ニ委スルアルモ普通撰舉ノ制  
 ナ併行スルアラハ到處間接撰舉ノ實ヲ爲スニ至ラン蓋シ其國ニシテ既ニ政黨ノ  
 政治ニ歸シ黨派ノ競争ヲ爲スアラハ議官ノ候補ニテ黨派ノ撰定ニ出テ之レカ撰  
 舉人タルモノ問フニ候補ノ意見ヲ問フニ違マアラフス甚クシキハ其姓名ヲ議ル  
 サス又甚シキハ其惡名ヲ聞クアルモ夫ノ衆多ノ贊同ニ逼マラレ能ク之ヲ拒絕ス  
 ルヲ得サルノ情アレハナリト其弊ノ來ル半ハ政黨競争ノ餘ニ由ルト雖モ又愚民  
 陋低相率テ誦詐ノ政黨ニ籠絡セラレ終ニ衆多ノ勢ヲ爲スニ由ルモノ多クハ是  
 レ豈ニ普通撰舉ノ一弊ニアラスト謂テ得ンヤ依テ泰西各土ノ制ニ就キ其依據ス  
 ル所ヲ極ムルニ往々直撰ノ制ヲ取テ之ヲ用キソノ間撰ノ制ニ據ルモノ其ク少小  
 ナルヲ見ル曰ク英倫曰ク白耳義曰ク佛蘭西曰ク西班牙曰ク瑞士曰ク葡葡牙曰ク  
 和蘭曰ク米洲聯邦皆十直撰ノ制ヲ行フ曰ク李魯士曰ク丁抹曰ク埃地利皆十間撰  
 ノ制ヲ採ル讀者若シ李拔ノ言ヲ玩味シ能ク其意ヲ詳ニセハ英白數國ノ彼ノ制ヲ  
 取リ寺換諸國ノ此ノ制ヲ行フハ誠ニ由來スル所アルヲ知ラム

下議院ノ組織ニ係ル第四ノ問案ハ投票ヲ爲スノ式様ニシテ開示ヲ以テスル乎將  
 暗密ヲ以テスル乎ノ問目ニ在リ開示投票ノ制トハ何ソ曰ク撰舉人ナシテ公然其  
 姓名ヲ簽署セシメ展開シテ其票單ヲ投セシムル是レナリ暗密投票ノ制トハ何ソ  
 曰ク撰舉人ナシテ其姓名ヲ簽署セシメ密封シテ其票單ヲ投セシムルモノ是レ  
 ナリ辨端ハ近代ニ在テ精ク無記名投票ノ制ヲ主張セシ者ニシテ暗密投票ノ利便  
 ナ説ク甚ク詳ナリ氏嘗テ英國議會改正案ナルモノヲ著ハシ投票ノ宜シク暗密ナ  
 ルヘキヲ論シテ曰ク暗密ノ制ハ唯々其利便アルノミナラス又其實ニ切要ナルモ  
 ノトス蓋シ斯制ニ依ルニアラサレハ撰舉ノ自由ヲ全フシ其偽作ノ弊密ヲ避クル  
 ナ得サレハナリ偽作ノ撰舉其起ルニ因アリ曰ク畏懼怕駭ニ因ル曰ク賄賂情弊ニ  
 因ル是レナリ試ニ手下隸屬ノ一隊相率キテ撰舉場屋ニ入り管事者番本前後ヲ請  
 リ非違ヲ警ムル者ヲ見ヨ是レ主人ノ暴威ニ強迫セラレ其意ヲ迎ヘテ之カ投票ヲ  
 爲サントスルモノナリ又今試ニ暗密投票ノ制ヲ行ヒソノ撰舉ヲ爲サシメ夫ノ手  
 下屬隸ノ徒ヲシテ暴主人ノ眼界ヲ去リ隨意ニ其撰舉ヲ爲スヲ得セシムト假想セ  
 ヨ此ノ時ト雖モ彼ノ徒均シク暴主人ヲ畏懼シ相率キテ撰舉場屋ニ入ルアラン然

レトモ彼レ一タヒソノ屋舎ニ入り之カ舉票ヲ投スルニ及ンテハ既ニ暴主人ニ知  
 ラルニノ慮ナシ是ヲ以テ敢テ之ヲ畏懼スルヲセズ隨意ニ自家ノ所擇ニ取テ之ヲ  
 舉クルヤ必セリ且ツ暗密ノ制ニ據テ其舉票ヲ投却スルヲ爲サシメハ能ク賄賂ノ  
 弊ヲ避クルヲ得ム蓋シ其制ニ據テ之ヲ行ハシメハ其囑託ノ實行ヲ確知スル、由  
 ナク隨テ之ヲ贈與スルノ弊ヲ減殺スヘケレハナリ論者或ハ曰ク投票ニシテ暗密  
 スルヲ得ソノ所撰ノ公示ヲ要セサルアラハ撰舉人タル者自カラ利己ノ心ヲ逞フ  
 シ正當ノ候補ヲ保舉セス隨テ議官ソノ人ヲ失スルノ慮ナキヲ保セスト是レ然ク  
 ス願フニ天下堪能ノ人ニ換フルニ不能ノ人ヲ以テスルノ理アル乎若レ之レアラ  
 ソ乎是レ偶々之ヲ誤マルモノナリ若シ之ヲシテ誤認ニ出ルコアラヌ私ニ規カ  
 所アラシメシ平公開ノ制ニ據ルモ彼レ亦ク必ラス之ヲ爲サン余レ其暗密ノ制ニ  
 由來スル所以ナルヲ知ラサルナリト既ニシテ辨氏又大改革法案ヲ辨氏之ヲ説明  
 シテ曰ク撰舉ノ暗密ハ第一緊要事項ナリ蓋シ撰舉ニシテ其暗密ヲ得サレハ能ク  
 其眞ヲ全フスルヲ得サレハナリ何ニ因テ撰舉ソノ眞ヲ全フスルヲ得サレハ能ク  
 賄賂ニ由ルコアラサレハ必ラス強逼ニ由リ撰舉當人ノ意思ニ出テスノ賄賂スル

者若クハ強迫スル者ノ欺唆ニ成ルヲ以テナリ唯夫レ是ヲ以テ撰舉ノ事、毎ニ少數  
 ノ手ニ決シ其能ク公衆ノ幸福ヲ全フスル者誠ニ希小ナルヲ知ル余ヤ今此法案ヲ  
 辨氏竊ニ左ノ流弊ヲ去ルニ慮アリ而シテ暗密撰舉ノ如キハ最モ之ヲ去ルニ切要  
 ナルヲ覺フ所謂ニ流弊トハ何ソ曰ク撰舉ヲ誤ル曰ク撰舉ヲ失ス曰ク撰舉ヲ空フ  
 ス曰ク強壓ニ成ル曰ク不義ノ事ヲ逞ク曰ク不實ノ事ヲ爲ス曰ク無用ノ消費ヲ爲  
 ス曰ク彼此相怨ム曰ク本身財産ヲ害ス曰ク名譽ヲ損ス曰ク争訟ヲ起ス是レナリ  
 其弊ヤ實ニ此ノ如シ然レトモ暗密投票ノ制ニシテ能ク之ヲ布クヲ得ハ威ク之ヲ  
 除却スルヲ得ム設トヒ威ク之ヲ除却スルヲ得サルモ必ラス之ヲ減少スルヲ得ソ  
 之ニ反シ暗密投票ノ制ヲ行フヲ得サラン平政ヒ他ノ改正ヲ行フモ余レ未ダ其益  
 アルヲ見ス夫ノ役夫ヤ皂隸ヤ工人ヤ皆ナ其主人ニ屬隸レ夫ノ貧民ヤ實ニ其地方  
 ノ官吏ニ倚ル是ヲ以テ其投票ヲ爲ス毎ニ主人若クハ地官官吏ノ意思ヲ迎合シ敢  
 テ自カラ其意望ヲ表スルヲセズ勉メテ之ニ合ハキソコトヲ欲セリ而シテ彼ノ徒  
 ヤ實ニ一國民人ノ多數ヲ占ム故ニ議官モ亦ク隨テ其出處ヲ此間ニ決シ其行政官  
 吏ノ指呼ヲ受ケサルモノ殆ント希レナリ是レ其弊ノ最モ大ナルモノニシテ之ヲ

避クルノ術唯々暗密投票ノ制ヲ布クニ在ルノミ聞ク新約克州ハ暗密投票ノ制ヲ行フ既ニ四十二年其間未ダ嘗テ其弊害アルヲ見ス終ニ聯邦ノ諸州ヲシテ之ニ倣フノ意ヲ切ナラシムト誠ニ故アル哉論者或ハ曰ク投票ノ暗密必ク益ニモ益アラズ蓋シソノ人ヲシテ何人ヲ保舉セシムルヲ得レハナリト異ナル哉取ヤ說話時ニ欺瞞ナキヲ得ス天地ノ間人ノ能ク說話ヲ得サル者ヲ說話セシムルノ術アル乎夫ノ撰舉ノ事ヤ撰舉當人ヲ除却スルノ外未ダ一人ノ之ヲ覺知スルモノナシ故ニ彼レ自カラ人ノ知得ヲ避クルヲ得ルノミナラス又勢ヒ人ヲシテ之ヲ得セシムルヲ得サル也余レ試ミニ某甲ニ對シ揚言シ曰ク余レ今君ヲ指シ我カ舉票ヲ投セリト而シテ其言實ニ異ナラシムルモ又實ニ詐ナラシム某甲ハ能クソノ眞然ト詐言ヲ識ルニ由ナク只縱ニ其揚言ヲ打聽スルニ過キヤラソノ耳故ニ余揚言シ人ノ信ヲ得ルニ由ナク到處無用ノ口給タルニ過キヤル耳ト乾徳モ亦々暗密投票ノ制ヲ取ル者ノ如シ氏嘗テ曰ク撰舉法ノ改良ニ功績アルハ古今我聯邦ノ政府ニ超越スル者無シ看ヨ我レ實ニ制定ノ時期ニ於テ其撰舉ヲ施行シ又通般ニ暗密ヲ以テセシムルニ非スヤト之ニ加フルニ近時英國ノ政家多ク此制ノ要須ナル

ヲ説キ就中武來徳ノ如キハ痛シ其必須ナルヲ論シ終ニ之ヲ英國ニ實行セシメリ然レトモ其制未ダ全ク是ナリト謂フヘカラス聞ク又ソノ非ヲ議スルモノアリ就中小彌兒ノ如キハ最モ詳カニ其非ヲ説クカ如シ小彌兒曰ク事ヲ秘スル必ク是レモ非ナラス又必ク是レモ是ナラス或ハ直トナリ或ハ曲トナル而シテ暗密投票ノ制ヲ取テ之レヲ政事上ニ施行スルカ如キハ余未ダ其可ナル所以ヲ見ス暗密投票ノ制ヲ執スルモノ嘗テ其精神ヲ説テ曰ク夫レ撰舉ハ人ノ自家ノ私事ニシテ人ノ自カラ之レヲ行ヒ之レヲ以テ自カラ利スルヲ得決シテ公共ノ倚頼ヲ受ケコレヲ行フモノニアラサルナリ若シ之ヲシテ公共ノ托任ヲ行フモノナラシメ天下ヲシテ撰舉權ノ享有主ニシテ平天下ノ人ソノ舉票ノ如何ヲ明知スルノ權ヲ有セシ是豈ニ社會ノ利益ナラン哉ト武來徳ノ如キハ最モ斯説ヲ執シ常ニ撰舉ヲ以テ人ノ自家ノ私權ヲ行フモノト爲シ其公共ノ托任ヲ行フモノナルヲ説カス吁々マテ誤レリト謂フヘシ願フニ人生ノ間能ク自家ノ私權ヲ以テ他人ヲ統治スルヲ得ルノ理アル乎若シ之ニ類スルモノアラソ平是レ其倚託ヲ受ケ之ヲ行フモノナリ夫ノ撰舉人ト爲リ議官ト爲リ以テ其政事ヲ行フハ是レ人ヲ統治スルモノナリ彼レ

豈自家ノ私權ヲ以テ之ニ蔽ムヲ得ンヤ要スルニ公共ノ托任ヲ受ケ之ヲ行フニ  
 過キサルナリ況ンヤ若シ説者ノ言ノ如ク實ニ選舉ハ自家ノ私權ニシテ公共ノ托  
 任ヲ行フモノニアラザラシメハ余レ益々暗密ノ制ヲ執スル所以ノ理ヲ曉ル能ハ  
 ス彼ノ徒曰ク暗密ノ制ニ據ルニアラザレハ賄賂ニ依テ其舉票ヲ賈リ賄賂ノ爲メ  
 其選舉ヲ枉クルノ弊アリト然レトモ若シ之ヲシテ果シテ自家ノ私權ナラシメシ  
 乎之ヲ賣ルモ之ヲ枉クルモ決シテ妨クル所ナシ豈ニ敢テ之ヲ罪スルノ理アラシ  
 哉夫ノ家屋ノ如キ株券ノ如キハ是レ人ノ自家ノ私權アルモノナリ之ヲ賣リ之ヲ  
 與フ唯ク其隨意ノミ天下實ニ之ヲ是非スルヲ得サルニアラスヤ夫レ選舉ノ權ハ  
 人ノ該當ニ享有スヘキモノニシテ各人ノ之ヲ保有スルヲ得ヘキハ余固ヨリ之  
 ナルニ由ルト謂ハス却テ之ヲ以テ自治者ノ被治者ヲ待ツ所以ヲ正サシメント欲  
 スルニ由ルト謂フ是ヲ以テソノ選擇ハ自家ノ隨便ニ使テ之ヲ行フモノニ非ラス  
 但シ其自意ヲ以テ之ヲ決スルハ宛モ陪審官ノ批判ヲ公言スルノ時ニ當テ自意ヲ  
 以テ之ヲ決スルモノ、如シ唯ク夫レ選舉ノ事ハ人ノ職任ノ一タリ爾レテ之ヲ撰

擇スル必ラス社會ノ公益ヲ思ヒ以テ其最モ善キモノヲ取ラサルヲ得ス若シ之ニ  
 反スルノ意ヲ抱カン乎勢ヒ之ヲシテ之ヲ選擇セシムヘカラス蓋シ其人ニシテ私  
 家ノ爲メニ之ヲ選擇スルノ心ヲ抱カシメハ彼レ必ラス愛國ノ赤心ヲ失ヒ社會ノ  
 爲メニ其職任ヲ行フヲ忘レ天下ノ公事ヲ以テ其私慾ヲ肆マシムスルノ具ト爲ス  
 ニ至ルヘケレハナリ是レ暗密投票ノ私社協會ニ利便アルモ實ニ取テ之ヲ政事ノ  
 上ニ實行スヘカラス原理ニシテ彼此ノ間大ニ其情ヲ異ニスルモノアレハナリ  
 夫レ私社協會ノ會員ハ唯ク自家ノ爲メニ其利便ヲ謀ルヘシ必スシモ他人ノ便否  
 如何ヲ顧ミルヲ要セス而シテ其選擇ヲ爲ス只當キニ自家ノ好惡ニ之レ依ルヘシ  
 決シテ他人ノ利害如何ヲ顧ルヲ要セサルナリ唯夫レ此ノ如ク故ニ暗密ノ投票ヲ  
 以テ其職員ヲ選舉スルヲセハ彼此相啣ムノ弊ヲ避クルヲ得隨テ其利便多カラシ  
 且シ私社協會ニ在テハ詐偽ノ所爲ニ出ルノ虞自カラ少ナク況ンヤ同種同位置  
 ノ人ヲ以テ之ヲ組成スルモノナレハ彼此互ニ其選擇ノ難何ナルヲ同クナリ得ルノ  
 理ナシ是ヲ以テ其投票ヲ暗密ノ制ニ取リ之ヲ之ニ施スモ余未ダ其非ナル所以ヲ  
 見サルナリ但シ其官選舉ノ時ニ在テハ則チ然ラス蓋シ政事ノ選舉ニ在テハソ

ノ事ニ從フモノ倫義上自カラ社會ノ爲メコソノ公益ヲ謀ルノ職分ヲ有シ決シテ自家ノ私便ヲ謀ルヲ得ス自カラ任シテ予レ一人ヲ以テ新撰舉ヲ爲ス其當否ノ責予レニ在リト思惟シ以テ其撰舉ヲ慎ミ以テ其人ヲ得ルヲ勉ムヘキモノナレハナリ其核情實ニ此ノ如シ故ニ社會ノ眼前ニ在テ之ヲ公行レ之ヲシテ縱マシム之ヲ批評セシムヘキハ事ノ當然ナル者ニシテ猶ホ他ノ政務ヲ公關シテ之ヲ社會ニ明示スヘキカ知シ而シテ公然之ヲ行ヒ敢テ隱匿スル所アラズンハ吾人ヲシテ獨リ舉行ノ利便ヲ得セシムルノミナラス又必ラス其過失ヲ知ルノ機會ヲ得セシメン是レ理ノ最モ見易キ者論者之ヲ知ラザルニアラズ唯ク時弊ヲ救フニ切ナル會レ之ヲ忘却セリ然レトモ時弊ノ起ル元ト某ノ事實アルニ由ル必ラス之ヲ以テ通般ノ事ト爲スヘカラス抑モ開示ノ制ヲ行ヒ公然其撰舉ヲ爲スアラシメハ或ハ某ノ有力者ヲシテツノ暴威ヲ逞フスルノ機ヲ得セシメ爲メニ其弊害ヲ救スアラシ是レ事ノ核實ナルモノニシテ余レ固ヨリ之ヲ難セス而シテ其弊ノ大ナル間ク投票ノ秘密ナルニ依テ撰舉人ノ所教スル者ニ過シルアルハ又余ノ許ス所ナリ故ニ撰舉人ノ多數ニシテ若シ有力者ニ強迫セラルルノ因アラソ平暗密ノ弊自カラ輕

カラソ又撰舉人コシテ威ク奴隷ヲアシメソ平荷モ其執腕ヲ脱セシムルコ足ルアラハ何ヲ爲ストシテ乎可ナラサラム唯ク夫レ暗密ノ制ハ之ヲ行フニ時アリ唯夫ノ少數ノ暴威頗ル過大コシテ多數ノ人ソノ強迫ヲ受ケルノ時ニ當テ始メテ能ク之ヲ舉行スルヲ得ム是ヲ以テ羅馬共和政治ノ晩年ニ及ソテ暗密ノ制最モ切要ナルヲ致セリ蓋シ彼ノ時ニ當テ寡少ノ右族ハ日々コソノ富強壓抑ノ勢ヲ致シ多數ノ窮民ハ月々ニ其困乏屬隸ノ狀ヲ加ヘ寡少ノ人同クソノ暴威ヲ逞フレ撰舉ノ事ヲ弄用セシテ以テ勢ヒ之ニ對シ絶大絶強ノ保障ヲ建設セサルヲ得サルノ情勢アレハナリ加之雅典ノ如キモ亦タ均シク暗密投票ノ利ヲ受ケルカ如シ聞クナラテ雅典ノ人民ハ富豪ノ強逼ニ依ツテ其舉票ヲ在クル稀レナリト雖モ間ク賄賂ニ由テ之ヲ在ケ又ク亂民朋黨ノ暴横ニ依テ之ヲ在ケシコト多ホシト果シテ然ラン平暗密ノ制又ク誠ニ已ムヲ得サルヲ知ル然リト雖モ是レ既ニ往事ニ屬セリ今也歐州進歩ノ國土ニ在テハ其情頗ル昔日ト同シカラス特ニ我英國ノ如キハ撰舉人ヲ強逼スルノ威力日々ニ衰弱シテ振ハス其保舉ノ不其間ク撰舉人自家ノ私利ヲ經營スルニ依テ致スモノ多クソノ長懼ニ依テ之ヲ致スモノ甚希ナルヲ見ル是ヲ

以テ今ノ時ニ當テ暗密ノ制ヲ行フハ寧ロ其害アルヲ見テ未ダ其利便アルヲ見  
 ルナリト小彌兒ノ所説概テ此ノ如シ而シテ李拔モ亦テ殆ント其意ヲ知ルモノ  
 如シ氏嘗テ曰ク英國ノ人多ク暗密ノ投票ヲ以テ畏懼ノ弊ヲ避ケントス惟フニ或  
 ハ之ヲ以テ其弊ヲ避クルヲ得ン然レトモ余ヲ以テ之ヲ謂ヘハ其効用必ラス英人  
 ノ期スル所ニ似サルヲ知ル且ツ之ヲ暗匿スト雖モ間々他人ノ之ヲ知得スルアリ  
 暗密必ラス暗密ナルコアラサルナリト二家ノ言又共ニ重要ノ理題ヲ寓スルアル  
 フ觀ル

依テ退テ兩制ノ得失ヲ較シ平正ニ其當否ヲ斷スルニ小彌兒ノ説最モソノ當テ得  
 ルヲ知ル夫レ撰舉ハ進退ノ大權ヲ行フモノニシテ天下ノ公政事ヲ爲スモノナレ  
 ハ之ヲ公開シテ敢テ暗匿スルナキハ誠ニ其正ナリ但テ勢ニ由テ其正ヲ行フテ得  
 ス故ニ少ラク之ヲ暗匿セシメ以テ其難ヲ濟ス蓋シ是レ變ナリ故ニ正當ニ投票ノ  
 制ヲ論スレハ公開ニ若シハ莫シ唯々其國ニシテ少數自擅ノ弊アラン乎暗密ノ制  
 制少ラク其用ヲ表ハス耳余依テ願フニ我邦ノ民情ヲ察スルニ古來廉耻ノ風ヲ養  
 ヒ稍々賄賂ノ耻ツヘキヲ知リ又々剛毅ニシテ威力ニ畏レサルノ風アリ加フルニ

維新ノ更始ニ遇ヒ稍々右族自擅ノ舊習ヲ洗滌セシテ以テ今ヨリ以往寡人卑陋ノ  
 手段ヲ施スナク能ク今日ノ情勢ヲ改良スルヲ得ハ余レ明カニ其正ヲ行フテ得  
 變テ行フテ要セサルヲ知ル吾人豈ニ此際ニ勉メサルヘケンヤ論シテ茲ニ到リ願  
 ミテ泰西各土ノ憲法ヲ按スルニ英倫、白耳義、荷蘭ノ諸國及ヒ米洲聯邦ハ皆テ暗密  
 票投ノ制ヲ施行シ爾餘ノ諸國ハ共ニ開示ノ制ヲ行フヲ觀ル但英國ノ如キハ之ヲ  
 施行スルノ期ヲ立テ其得失ヲ試ムル者ノ如シ今余ノ記スル所ニ據テ之ヲ謂ヘハ  
 實ニ一千八百七十二年(我明治五年)八月ヲ以テ其施行ノ初期トシ同八十一年(我明  
 治十三年)十二月三十一日ヲ以テ其終期ト爲セリ今ヤ既ニ其期ヲ過キ英國人民ハ  
 八年ノ實驗ヲ經タリ願フニ其結果如何余未ダ其詳報ヲ聞クテ得サルナリ依テ今  
 因ニ英國匿名暗密投票ノ制ヲ按スルニ其法大約左ノ如シ曰ク投票ノ紙上ニ各候  
 補者ノ姓名ヲ顯記シ其紙背ニ番号ヲ記シ之ニ付スルニ番号ノ契符ヲ以テス而シ  
 テ投票ノ期至レハ當該ノ官吏ハソノ兩面ニ官印ヲ押捺シ之ヲ登時出頭ノ撰舉人  
 ニ交付シ撰舉人名簿ノ中ニ就テ其票紙ヲ交付セシ人ノ番号ヲ核檢シ以テ之ヲ前  
 ノ契符ニ記ス又撰舉人ハ其紙票ヲ受ケ退テ竊ニ其屬望セル候補者ノ姓名ニ記號



ヲ付シ之ヲ隠蔽シテ外ニ顯ハサズ再ヒ投票場ニ入り監吏ニ示スニ其紙背ノ官印ヲ以テシ而シテ后チ投票櫃ニ投却ストアリ

今又因ニ米人ノ暗密投票ヲ善ミシ却テ其精神ヲ亂ルノ一例ヲ舉ケ讀者ノ一衆ヲ博スヘシヲ拔營テ晒テ曰ク我米人ノ暗密投票ノ制ヲ喜フ殆ント狂スルカ以シ然レトモ彼レ展々其精神ヲ忘却シ敢テ顯ミサルカ如シ看ヨ各種ノ彩紙ヲ以テ其投票ヲ作り之カ所屬ノ黨派ヲ區別スルニ非ソヌヤ又嘗テ余カ前住ノ州郡ニ在テ黨派ノ競争甚々強ク殆ント相闘フノ勢アルニ際シ兩派ノ頭口相約シテ互ヒニ投票ノ期限ヲ別異セシコトアリ是レ實ニ暗密投票ノ精神ヲ亂ルモノヨシテ才人ノ宜シク惡ムヘキモノナリ然ルニ彼レ漠然之ヲ爲シテ怪々マヌ事口得意ノ情アルハ抑モ是レ何ソヤト又一場ノ笑柄ト爲スコ足ル

第廿五章

議政官ヲ細論ス八。下議院ノ組織ヲ論ス四。議官ノ品等。財産ノ品等ヲ要スルノ非。行政官吏ヲ除去スルノ不要。海外各土ノ典例。議官在職ノ期限。其長短ノ得失。改撰ノ方法。海外各土ノ典例。重撰ヲ許スノ原理。議官ノ員數。海外ノ典故。

論說ノ歩武漸々進シテ議官ノ品等ヲ説クノ機ニ會ヘリ論者或ハ曰ク議官ノ品等勢ヒ三種ヲ減スヘカラス曰ク某ノ年齢ニ滿ル者曰ク其國土ノ民人タル者曰ク某ノ財産ヲ有スル者是レナリト釋スル者曰ク年齢ノ長必ラスシモ才能ヲ長セス然レトモソノ老ルヤ必ラス世故ニ練熟スルアリ是レ某ノ年齢ヲ定メテ其後撰ノ品等ト爲ス所以ナリト釋スル者又曰ク一國ノ政事ハ一國人民ノ專掌スル所ナリ外人得テ其間ニ干スヘカラス是レ議官タルノ權利ヲ畫シテ之ヲ外人ニ與ヘサル所以ナリト釋スル者又曰ク財産ノ品等モ亦甚々切要ナリ蓋シ議官ニシテ恒産アルニ非ラサレハ自カラ恒心ナク爲メニ行政官職ノ弄權ヲ防クノ力ナク聞ク或ハ陷利ニ惑フモノナキヲ保スヘカラサレハナリト其年齢ヲ畫限シソノ外人ヲ除却スルノ説ハ世論恒ニ相投合シ今甚々其得失ヲ究ムルヲ要セス唯々財産ノ

品等ニ至テハ世論問トソノ一致ヲ得ス爲メニ多少ノ辨論ヲ要スルカ如シ  
 辨端ハ議官タルニ財産ノ品等ヲ要スルヲ非トスル者ナリ當テ判事タルニ財産ノ  
 品等アルヲ要スル者ヲ論シ終ニ國會議官タルニ之ヲ要スルモノニ及ホシテ曰ク  
 此案件國會議官ニ在テハ其關係自カラ他ノ案件判事ニ異ナレリ夫レ司法ノ能  
 ルハ天下ソノ人ニ乏シカラス然レモ爲政ノ才ヲ全フスルモノニ至テハ天下誠  
 其人ニ乏シ蓋シ政治ノ學猶ホ補綴ノ中ニ在テ存シ未ダ曾テ成熟ヒス學者之ヲ指  
 テ講セス夫ノ名聲ノ政治家ト雖モ猶ホ舊套ヲ沿習シテ未ク其眞理ヲ極メス宛モ  
 幼兒ノ穉言ヲ乳母ニ學ヒ苦ソテ之ヲ複習スルモノト如シ夫レ諸科ノ學問ハ吾人  
 之ヲ講習スルヲ得ム然レトモ之ヲ學ハント欲セハ勢ヒ其精神ヲ注カサルヲ得ス  
 政治ノ學モ亦吾人之ヲ講習スルヲ得ム然レトモ其學ヤ深遠難授甚ク學ヒ易カラ  
 ス故ニ若シ之ヲ學ハント欲セハ最モ其精神ヲ注キ熱意ヲ事ニ注シ深沈之  
 ナ修メサルヲ得ス願ミテ夫ノ安逸遊惰ノ徒ヲ見ルニ善ク熱意ヲ事ニ注シ深沈之  
 深沈之ヲ修ムルモノアル乎是レ誠ニ難シ唯タ夫レ彼ノ徒ヤ猶ホ補綴ノ中ニ  
 在リ其不能豫知スヘシ而シテ其職官ノ職ヲ受クルヤ只纔ニ自家ノ快樂ヲ求メソ

ノ解倦ヲ慰メント欲スルコト過キス其中所謂ル眞政事家ナルモノヲ求ムルニ未  
 一人タモ之ヲ得ス誠ニ以テスルコトアササルヨリハ殆ント之ヲ稱シテ政事家ト  
 リト謂フヲ得サルモノ多ホシ彼レヤ富貴其心ヲ勞セス以テ万般ノ事物ヲ攷ス  
 レ此ノ心ヲ勞セサルモノ能ク其意想ヲ使役スルヲ得ル乎蓋シ又難シト謂フヘシ  
 是ヲ以テ夫ノ爲政ノ事ニ從フ者ニシテ實ニ壯大有學ノ人ナルヲ要セン乎勢ヒ之  
 ナ貧微ノ人ニ崇メサルヲ得ス彼ノ貧微ノ人ヤ微賤未ダ顯ハレス故ニ壯志自カラ  
 憤リ窮カニ揚名ヲ期スル多ホシ之ニ反シテ夫ノ富豪ノ子弟ニシテ元老ノ官ニ居  
 ルモノ能ク倍加利亞亞當須美須ノ餘緒ヲ繼キ其大業ヲ全フセシモノアル乎曰ク  
 是レモ亦誠ニ難シ是ヲ以テ若シ財産ノ品等ヲ立テ議官タルノ制限ヲ爲スアラハ  
 凡庸ノ子弟獨リ之ヲ專ニシ有爲ノ能者間ニ其廢去ヲ被ルニ至ルヲ知ル論者曰ク  
 議官ハ人民ノ爲メニ行政官吏ノ侵掠ヲ防クノ責アリ是ヲ以テ自立特行人ニ誘惑  
 セラレサル者ニアラサレハ能ク其職ニ當ルヘカラス願フコト夫ノ恒産アル者ハ能  
 ク自立シテ行政官吏ノ陷利ニ陷ルコト寡シ是レ財産ノ品等ヲ立テ議官被擧ノ  
 權ヲ制限スル所以ナリト此説是ニ似テ却テ非ナリ夫ノ陷利ニ惑フモノ豈ニ唯

貧人ニ止マラシムヤ夫ノ富實餘裕アル人ト雖モ其位位ト其俸給ノ如何トニ由テ問  
 其心ヲ動カスモノ多ホシ且ツソノ品等ヲ立テ嚴コ之ヲ行ヒ夫ノ有爲ノ士ヲ廢  
 棄スルアラハ其法ヲ規避スルモノ相踵テ出テ到處徒法ヲラサルモノ殆ント稀レ  
 ナリ今ノ時ニ當テ大英下議院ノ議官コシテ特出ノ榮譽ヲ專フコヌルモノ多クハ  
 皆テ其法ヲ規避スルニ依テ出身セシニ非ラスヤ論者或ハ云ハソ之ヲ規避セハ之  
 ナ防クノ法ヲ布クヲ得ント然レトモ愈々檢束セテ愈々規避スルハ人生ノ常勢ナ  
 リ吾人豈コ之ヲ防止スルヲ得ンヤト論シテ殊々痛快ナルヲ覺フ議官豈コ財産ノ  
 品等アルヲ要センヤ若シ之ヲ要スルノ法ヲ立テ平必ヨラス徒法タルニ終ハラソ  
 耳蓋シ無産ノ人ニシテ議官タルヲ得ルノ機ニ會ハシ相知ノ富實アルモノ其財ヲ  
 假シテ其法ヲ逃ルノ道途ヲ得セシムヘケレハナリ況ンヤ且ツ代議官ハ一國衆望  
 ノ歸着ニ依テ始メテ其職ニ就キ國土ノ意思ヲ代表スルモノナレハ苟モ衆望ニ  
 テ之ニ歸着スルアラハ決シテ他ノ品等アルヲ要セサルナリ余是コ於テ平曰ク議  
 官タルコ財産ノ品等アルヲ要セスト敢テ過激ノ語ヲ爲スコ非クサルナリ  
 但行政ノ官吏ヲ稽留シテ議官ヲ兼ヌルヲ得セシメサルニ至テハ又多少ノ辨論ナ

キヲ得テ行政ノ官吏ヲ稽留シテ議官ノ職ヲ兼ヌルヲ得セシメサルハ北米聯邦ノ  
 憲法ヨリ嚴ナルハナレ聯邦ノ國憲第一條第六節ノ末文ニ曰ク凡聯邦ノ行政官  
 ルモノハ皆テ兩院ノ議官ヲ兼攝スルヲ得ストコレヲ釋スルモノ曰ク議官ヲシテ  
 其良徳ヲ養ハシメ隨テ議政官ノ獨立ヲ維持セント欲シテナリト是レ果シテ正當  
 ノ理趣アル乎余レ甚タ疑ナキ能ハス英國ノ憲法ハ即チ然ラス毎コ内閣ノ諸員若  
 シハ附録ノ行政官ヲシテ議官ヲ兼攝スルヲ得セシメ未タ會テ之ヲ禁セリルノ  
 ナラス又或ハ之ヲ懲息スルモノト如シ但ク議官ニシテ新コ行政官職ノ任ヲ受ク  
 ルモノ一タヒ之ヲ受ケハ直ニ議官ノ職ヲ去リ再ヒ撰擧セラルトニ非クヤレハ之  
 ナ兼攝スルヲ得ストアリ此制誠ニ便宜ヲ得ルカ如シ蓋シ先ツ行政ノ官職ヲ帶ヒ  
 後コ議官ノ職ニ就クハソノ屬望ヲ損スルノ虞ナキモ先ツ議官ノ職ヲ帶ヒ後ニ行  
 政ノ官ニ就クハ少シク其良徳ヲ損スルノ嫌ナキヲ得サレハナリ且ツ余ヲ以テ之  
 ナ見レハ某々行政ノ官吏ヲシテ代議ノ官職ヲ兼攝スルヲ得セシムルハ議政行政  
 ノ二官ヲシテ其併進共行ノ途ヲ得セシメ政治ノ運行ヲ圓滑ナラシムルモノナル  
 ナ知ル故ニ余ハ英國ノ古慣ヲ取リ之ヲ本邦ニ實施スルヲ望ムヤ切ナリ

論シテ茲ニ至リ願・テ泰西各土ノ典例ヲ講スルニ大抵皆十某ノ品等ヲ具フヘ  
キヲ申明シ稍々被撰ノ權ヲ盡限スルカ如シ請フ今其四五ヲ舉ケ爾者ノ便ニ供セ  
ム

英國ノ典例ヲ按スルニ古例若クハ成法ヲ以テ議官タルノ品等ヲ定ムルアリ即  
チ英國ノ民人ニシテ齡二十一歳ニ滿ル者ナラサルヘカラス而シテ英蘇ノ貴族  
歸化ノ英人(但國會ノ議定ニ由テ別ニ特許ヲ得タルモノハ期限ニ在ラス)一切ノ  
収税吏判事(平衡裁判所典籍長ハ此限ニ在ラス)英倫諸寺院ノ僧侶及執事蘇格蘭  
諸寺院ノ傳教師舊教ノ僧徒政府ノ諸吏各地方ノ長宰並ニ撰舉係ノ吏員及ヒ叛  
逆ノ大罪アルモノハ皆ナ應撰ノ權ナキモノトス但愛倫ノ貴族ハ同ク撰ヘレテ  
下院ニ出ツルコトアリ  
學魯士國憲第七十四條ニ曰ク凡ソ學魯士國民ニシテ滿三十年ニ至リ國民タル  
ノ權利ヲ保有シ而モ三年ノ間軍役ヲ經タル者ハ代議官ノ撰ニ當ルヲ得ト其尙  
武ノ國情ヲ觀ルニ足ル又前七十八條ニ據ルニ官吏ソノ本官ヲ以テ議官ヲ兼攝  
スルヲ許ス但テ代議官ニシテ新ニ行政ノ官吏ニ就キ若クハ既ニ兼攝スルモノ

ニシテ更ニ加俸ノ行政官ニ任セハ議官タルノ位置ヲ失シ再撰ヲ受クルコトヲ  
サレハ議官ノ任ニ復スルヲ得ストアリ零々英國ノ近制ト同シ

佛蘭西第一共和政治ノ憲法第廿八條ニ曰ク佛蘭西人民ニシテ國民タルノ榮譽  
ヲ全有スルモノハ皆ナ撰ハレテ代議官タルヲ得ト又其路易十八世所定ノ憲法  
第卅二條ニ曰ク年齡四十ニ滿テ直税二百圓以上ヲ納ルモノニ非テサレハ議  
官タルヲ得スト以テ佛國憲法ノ大要ヲ觀ルヘシ

白耳義王國ノ憲法ハ議官タルニ四種ノ品等アルヲ要ス第一白耳義本生ノ人若  
クハ大歸化ノ人タラサルヘカラス第二私權及政權ヲ全有スルモノタラサルヘ  
カラテ第三滿二十五年ノ者タラサルヘカラス第四白耳義國內ニ居住スル者  
ラサルヘカラスト其貧富ヲ問ハサルノ意見ルヘシ又其第三十六條及ヒ第八十  
八條ニ據ルニ行政ノ官吏議官ヲ兼スルヲ得議官コノ新ニ行政ノ職ヲ受ケハ其  
位ヲ失フトアリ又以テ其制ノ寬裕ナルヲ見ルヘシ

西班牙ノ舊憲ハ代議官タルニ四種ノ品等アルヲ要スルカ如シ曰ク西班牙國民  
タルノ全權ヲ有スル者ニ限ル曰ク俗人(僧侶ニ對シテ云フ)ノ籍ニ在ルモノニ限

ル曰ク年齢二十五歳ニ滿ルモノニ限ル曰ク私有ノ地ヨリ若干ノ入額アルヲ証  
 明シ若クハ直税若干ヲ納ル者ニ限ル是レナリ  
 瑞士ノ制ハ其憲法第六十四條及ヒ第六十六條ヲ以テ之ヲ定ム其第六十四條ノ  
 成文ニ曰ク瑞士國民コシテ能撰ノ權ヲ有シ而モ俗籍ニ在ルモノハ皆ナ撰ハレ  
 テ國會ノ議員タルヲ得共外人ノ歸化セテ瑞士國民タルモノハ歸化ノ後五年ヲ  
 經過スルニアラサレハ被撰ノ權ナシト又其第六十六條ノ成文ニ曰ク列邦議會  
 ノ議官及ヒ聯邦行政官ノ吏員ハ國會ノ議官ヲ兼攝スルヲ得スト以テ其限ル所  
 アルヲ見ルヘシ

葡萄牙王國ハ其増補憲法第七條ヲ以テ議官タルノ品等ヲ定ム今其法意ヲ略言  
 スルコ能撰ノ權ヲ有スルモノハ皆ナ兼テ議官タルノ權ヲ享テ其本住ノ人ナル  
 ト寄住ノ人ナルトヲ問ハス但歸化ノ人若クハ歲收ノ純益金四十万禮我四百八  
 十九圓六十錢ニ當ル以上ヲ有セサルモノハ此限ニ在ラストアリ

荷蘭ノ憲法モ亦其第七十九條ヲ以テ被撰ノ權限ヲ定ム其成文ニ曰ク荷蘭國民  
 ニシテ民權政權ヲ全有シ齡三十歳ニ滿ルコアラサレハ被撰ノ權ヲ享有スルヲ

得スト

北米聯邦ハ年齢住居及ヒ國民タルノ權利アルヲ以テ議官ノ品等ト爲シ滿二十  
 五歳コシテ聯邦ニ生レ若クハ聯邦ニ歸化シ其應撰ノ州ニ住居スルモノニ限ル  
 但テ財産ノ品等アルヲ要セス却テ行政官吏ノ之ヲ兼攝スルヲ嚴禁ス

各土ノ典例概テ此ノ如シ而シテ上來ノ外國會ヲ設クルノ國無慮六十餘國ニ下ラ  
 ス其典例間々異同ナキヲ得ス然レトモ其大體ニ至テハ多クハ上文ノ諸典ニ異ナ  
 ラス特ニ財産ノ品等ヲ設ケ之ヲ議官ニ留ムモノニ至テハ近時概テ其非ナルヲ知  
 リ其舊法ヲ改良スルモノ甚々稀少ナラサルヲ觀ル

前叙ノ問目ニ接踵シテ論決スヘキモノハ議官在職ノ期限ナリトス老彌兒君ヲ議  
 官ニシテ社會ト其利害得失ヲ共ニセシムル所以ノ要術ヲ論シテ曰ク在職ノ有限  
 ハ以テ其目的ニ中スルヲ得ヘシ蓋シ其時間ニシテ短少ナラシメハ其威權ヲ專ラ  
 ニスル自カラ限アリ之ヲ以テ自家非職ノ長修ニシテ其弊害ヲ受クルノ無量ナル  
 ニ比スレハ其得ル所失フ所ヲ償ハス是ヲ以テ議官タルモノ冥下ノ中ニ在テ自カ  
 ラ警メ能クシテ非政ヲ自防スルヲ爲セハナリト是レ古今不變ノ原理ニシテ其任

期ヲ定置スヘキノ要殆ント争フヘカラサルカ如シ但ク何ノ時期ヲ畫シ其任期ト  
 爲スヘキノ問案ニ至テハ世論問々其答詞ニ迷フカ如シ蓋シ其時期ヲシテ長修ニ  
 失セシメン平忽テ議官ヲシテ自擅ノ心ヲ生セシメ爲メニ代議政治ノ本質ヲ失却  
 シ去ルアラフ又之ヲシテ短少ニ失セシメン平議官ヲシテ自家ノ職任ニ熟スルノ  
 期ヲ得セシメス隨テ其職ヲ輕ニスルノ心ヲ起サシメ又其議決ノ進路如何ヲ明瞭  
 スルニ由ナカラシメム故ニ一定ノ道理ニ據テ其適中ノ時期ヲ定ムルハ事ノ其  
 艱難ナルモノニシテ先哲ノ說往々其一致ヲ得ス間々相異ナルカ如シ  
 辨端ハ毎年撰舉ヲ以テ正當ノ道理アリト稱ス其說ニ曰ク毎年撰舉ノ利一ニコレ  
 足ラス而シテ其大ナルモノヲ謂ヘハニアリ曰ク早ク不能ノ議官ヲ罷リ之ヲシテ  
 弊害ヲ社會ニ及ホサシメス曰ク議官ノ惡心ヲ抑ヘ其不長ヲ爲スナカラシム是レ  
 ナリト然レトモ其制ヲ駁論ナキヲ得ス曰ク廢シ撰舉ノ勞役ニ服シ爲メニ許多ノ  
 冗費ヲ消シ爲メニ數々政治ノ激動ヲ起サシメサルヲ得ス曰ク時期過短ナレハ同  
 一ノ政治家ヲシテ其議政ノ業ヲ全フスルニ足ラザラシム字原聖曰ク議政官在職  
 ノ期限ハ我聯邦各土ノ制(毎二年改撰ノ制ヲ指ス)ナリ以テ最モ善トス若シ之ヲ改メ

テ更ニ短少ナラシメン乎必ラス其政ノ運行ヲ亂リ無益ニ政論ノ搖動ヲ招カム願  
 フニ若シ之ヲ改定シテ更ニ之ヲ短縮セハ毎二年撰舉ノ制ニ換フルニ毎年撰舉ノ  
 制ヲ以テスルナラム然レトモ事理ノ通勢ヨリシテ之ヲ既レハ毎二年ノ制大ニ每  
 年ノ制ニ質ル所アリト言簡ニシテ能ク毎年撰舉ノ弊ヲ表ハス  
 之ニ反シ或人ハ其修長ナルヲ冀ヒ之ヲ定メテ滿七年ノ久シキニ歐カントスル者  
 アリ夫ノ英國毎七年改撰ノ法案ノ如キ即チ是レナリ史ニ稱ス一千七百十六年我  
 享保元年國會ハ毎七年改撰ノ法案ヲ可決シ之ヲ行フト此法ハ英國現行ノ成典ナ  
 リト雖モ其成ル元ト保守黨ノ詭計ニ出テ頗ル其弊ナキヲ得ス其過長ニシテ英國  
 民人ノ自主ニ害アルハ先哲ノ既ニ業ニ論スル所ナリ特ニ必的父子ノ如キハ前後  
 相踵テ其非政ナルヲ論シ必的ノ如キハ之ヲ稱シテ代議政治ノ大本ヲ亂ルモノ  
 ナリト謂ヘリ蓋シ至言ト謂フヘシ惟フニ之ヲ限ルノ時期ヲ明言スルハ事ノ艱難  
 ナルモノナリト雖モ之ヲ修長シテ七年ノ久シキニ致スハ余斷シテ其不可トルヲ  
 知ル老彌兒魯曰ク其時期ヲシテ眞ニ政治ニ須要アラシメン乎宜シク之ヲ與フ  
 ヘシ若シ之ヲシテ不要ナラシメン乎勢ヒ之ヲ與フヘカラスト蓋シ此ノ期ナリ

拔モ亦嘗テ此見禮ノ事ヲ叙シテ曰ク抑德比見禮ノ備國自由ノ精神ヲ設殺セント  
 スルヤ七年改撰ノ法案ヲ提出シ以テ之ヲ施行セリト言箱々詰々似タリト雖モ能  
 ク李翁ノ言タルニ背カス  
 小彌兒モ亦タ長短ノ宜シキヲ斷言スルヲ病メリ氏曰ク其國ニシテ民衆ノ勢力未  
 タ強カラズ猶ホソノ鼓舞獎勵ヲ要スルノ時ニ當テハ之カ職官タルモノ間々九重  
 ノ雲ニ入り朱門ノ煙ニ迷ヒ易ク常ニ其威力ニ誘惑セラレ醜然民衆ト相背キ夫ノ  
 民衆ノ爲ニスルノ圖ヲ改メテ冷眼ソノ利益ヲ若ルモノ多ホシ惟フニ斯時ニ在テ  
 ハ數々之ヲ改撰シ善良ノ精神ヲ維持スルハ勢ノ必至ナル者ニシテ三年ノ年期猶  
 ホ或ハ修長ニ失スルヲ覺フ況ンヤ其更ニ是ヨリ修長ナルモノニ於テオヤ之ニ反  
 シ民衆ノ力既ニ強大コシテ日々其勢ヲ加ヘ軍口之ヲ節制スヘキノ時ニ際シ政  
 治ソノ公行ヲ貴ヒ天下ノ記者論客縱々コソノ措置ヲ是非シ之レカ撰舉人ヲシ  
 テ直ニ其曲直ヲ判スルヲ得セシムルニ當テハ之レカ議官タルモノソノ勢力ニ制  
 御セラレ能ク民衆ノ爲メコソノ利ヲ謀ルノ精神ヲ維持シ其職ヲ恥カシムルモノ  
 少ナシ惟フコ此時ニ在テ數々之ヲ改撰シ徒ラコ長懼ノ念ヲ起サシムルハ決シテ

策ノ得タルモノニ非ラス或ハ之ヲ五年ノ久シキニ繼續セシムルモ猶ホ且ツ可ナ  
 ルカ如シ唯々夫レ任期ノ修短ハ國情ニ依テ其關係ヲ異ニス故ニ今通般ノ定則ヲ  
 言明スル誠ニ難シ願ミテ看ルコ四十年前ニ在テハ政治ノ進退ヲ黨フノ徒往々  
 毎年撰舉ノ事ヲ痛論シ問々之ヲ諒望セシト雖モ近時ニ及ンテ全ク其勢ヲ一變シ  
 今人殆ント之ヲ忘レタルカ如シ抑モ是レ他故ナシ其在任ノ末年ニ在テハ議官ノ  
 心情宛モ毎年撰舉ノ時ニ於ケルカ如ク勉メテ民衆ノ輿望ヲ失ナハサハ之レ謀  
 リ未タ嘗テ其長ト短トヲ問ハサルカ如クナレハ苟クモ在職ノ期ニシテ其長ト失  
 セサラシメハ能ク之ヲ以テ毎年撰舉ノ實蹟ヲ収ムルコ足ルヲ知得シタレハナリ  
 ト亦タ一家ノ言ト謂フヘシ

學者ノ所論概テ此ノ如ク而シテ孰レカ是コレヲ孰レカ非ナル余殆ント之ヲ言明  
 スルヲ得ス然レトモ今試ニ古今各土ノ經歷セシ實蹟ニ就キ其最モ折キモノヲ斷  
 スルニ每三年撰舉ノ制稍々中適ノ宜シキヲ得ルヲ覺フ蓋シ天下ノ政期月ニシテ  
 周布シ三年ニシテ成ルハ古今ノ經驗ニ徴シテ未タ其實ヲ改メサルノコトナク三  
 年毎ニ一タヒ之ヲ改撰セハ撰舉自カラ頻煩ニ失スルノ憂ナク一舉ニテ二利ヲ收

ムルヲ得ヘケレハナリ余之ヲ史家波刺謀ニ聞ク英國ノ古制ハ三年ヲ以テ議官ノ任期トセリト余ノ説是ニ於テ平基スル所アリ

前題ニ附帶シテ少シク論辨ヲ要スル者アリ曰ク何ゾ曰ク改撰ノ方法ヲ謂フナリ問者曰ク議會ハ一時ソノ全体ヲ改撰スヘキ乎將ク豫メ之ヲ部分シ時々互ニ其部局ヲ改撰スヘキ乎答者曰豫メ之ヲ部分シ互ニ其一部局ヲ改撰スヘキ若シ一時ニソノ全体ヲ改撰スルアラン乎政治間々其裁裁ヲ蒙リ治理恐クハ繼續ノ途ノ失セン是レ豈ニ社會ノ利便ナラン哉故ニ時々互ニ其一部局ヲ改撰ノ新舊交々相接レ以テ政治ノ繼續ヲ謀ラシムト其説是ニ似テ甚々非ナリ抑モ議會ハ社會ノ縮圖ナリ唯ク夫レ其縮圖ナリ是ヲ以テ議會ハ毎ニ社會ト其意向ノ大体ヲ同シ常ニ相伴ハサルヘカラス勢ヒ其意向ノ大体ヲ同シ常ニ相伴ハサルヘカラス勢ヒ其意向ノ大体ヲ同シ常ニ相伴ハサルヘカラス故ニ一時ニ其縮圖ヲ塗抹シ更ニ測定シテ之カ模型ヲ作ルハ又勢ノ已ムヘカラスナルモノナリ然ルニ今マ時々互ニ其一部局ヲ改撰スルコト止メ之カ全体ヲ改撰スルヲ爲サレハ其縮圖ハ能ク社會ノ眞ヲ寫出スルヲ得ル乎社會ノ輿論ハ必ラスシモ土地山川ノ如クナラス其變更稍々急速ナルモノナレハ勢ヒ一部局ノ改撰ヲ以テ其全体ノ

眞ヲ寫スルヲ得サルナリ能ク其全体ノ眞ヲ寫出スルヲ得サルアリ是レ一部局改撰ノ制ノ是ニ似テ非ナル所以ナリ況ンヤ議會ノ全体ヲ改撰スルノ事ヲ以テ成ク諸議官ヲ除却スルノ事ト混スヘカラス否ナ議會ノ全体ヲ改撰スト雖モ舊議官ハソノ重撰ヲ蒙リ再ヒ之カ職任ニ登ルヘケレハ政治ノ裁裁余レ其絶無ヲ必スルヲ得ルナリ唯ク舊議官ニシテ實ニ輿論ニ背馳シ其重撰ヲ蒙ルコトナカラン乎彼ノ徒所議ノ政治ハ社會ヲ不利スルヤ必セリ社會ニ不利アルノ政治ハ余ソノ繼續ヲ冀ハサルナリ李拔曰ク代議會ニノ一時全体ノ改撰ヲ爲スナクシテハ能ク代議會ノ本性ヲ全フスルヲ得スト旨アル哉言ヤ小彌兒モ亦曰ク代議會ニシテ時々互ニ其一部局ヲ改撰スルコト止メハ一時急ニ社會ヲ不利スルノ政黨ヲ除クノ手段ニ乏シク又各黨世信ノ強弱ヲ知ルノ方便ヲ得スト今引テ全体改撰ノ利ヲ示ス

依テ願ミテ海外諸國ノ典例ヲ講スルニ議官在職ノ期頗ル異同アリ而シテ其改撰ノ法モ亦々間々相同シカラサルアリ請フ今其要ナルモノヲ舉ク以テ續者ニ便セム

英國ハ一議會繼續ノ期ヲ定メテ七年トス而シテ之ヲ改撰スルヤ必ツス全体ニ



及ホス

普魯士、丁、瑞典、士ハ共ニ三年ヲ以テ其任期トシ、期滿ツレハ其全跡ヲ更撰ス。佛蘭西第一共和政治ノ憲法ハ、毎年更撰ノ制ヲ取リ、其路易十八世ノ憲法ハ、每五年更撰ノ法ヲ用ユ。

白耳義ハ憲法第五十一條ヲ以テ之ヲ定ム、其成文ニ曰ク、代議官ハ四年ヲ以テ一期トス、但撰舉法ニ定置スル次序ニ從ヒ、毎二年ソノ一半ヲ更撰スト、荷蘭ノ制モ亦タ此ニ同シ。

是班牙ノ舊憲法ハソノ任期ヲ定メテ五年トシ、實ニ憲法第二十四條ヲ以テ之ヲ定ム。

米洲聯邦ノ代議官ハ二年ヲ以テ其任期トシ、期滿レハ其全跡ヲ更撰ス。議官重撰ヲ得ルノ一項ハ、今時ニ在テ、泰西各土ノ通憲トナリ、内外ノ人殆ント皆之ヲ相親シ、ミ敢テ之ヲ爭フモノナシト雖モ、其終昔ニ在テハ、開ク之ヲ議スルモノアリシカ、如シ老彌兒之ヲ論シテ曰ク、議官ノ任期ヲ畫限スルノ意中、之ヲ變換スルノ意ヲ寓スルコトナシ、同一ノ人宜シク數クソノ重撰ヲ蒙リ、議官ノ職任ニ登ルヲ得ヘ

シ、蓋シ其任期ヲ短少ニシテ之カ弄權ヲ防止スルノ理ハ、其一回當撰ノ人ナルト其廿回當撰ノ人ナルトヲ以テ之カ充用ヲ異ニセス、況ンヤ其適任ノ人ヲ重撰シテ長シ之カ職ニ在ラシメ、ハ彼レ能ク政治ノ事ニ老熟シ、大ニ社會ヲ利スルアリト、今引テ議官重撰ヲ得ルノ原旨ヲ明カニス。

又議官ノ員數ヲ定ムルハ、一箇ノ難事ニ屬ス、蓋シ其員數ニシテ寡少ニ失ヒシメン平其弊ヤ、寡人ノ政治ニ流レム、又之ニシテ多夥ニ失ヒシメン手ソノ弊ヤ、議政ノ不便ヲ致サム、字兒聖之ヲ論シテ曰ク、之ヲシテ過少ナラシメン乎、斯屬ノ弊屢ニ行ハレン、又之ヲシテ過多ナラシメン乎、其弊ヤ更ニ大ナリ、蓋シ大衆ノ人ヲ集メ之ヲ一鳩ノ中ニ入ル、アラハ激論自カラ、其勝ヲ制シ易ク人々其責ヲ忘レ、易クレハナリ、夫レ數千人ノ議官ヲ集メテ之ヲ一場ノ中ニ會セシメ、善ク之ヲ整理スルノ難キハ、古代中世ノ市政ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘク、立憲政治ノ時ト雖モ亦タ均シク其弊ヲ避クル難キヲ知ル、願フニ大衆ニシテ相集同スルアラン乎、論辨衆人ノ聽ノ所ト爲ラス、隨テ討議ソノ宜シキヲ失シ、隨テ法律ソノ正ヲ誤マソシ、且ツ大衆整理ノ難キ細カニ事ヲ商量スルヲ得ス、爲メニ每事ソノ委員ヲ設ケ、若クハ少數ノ有力家

ナシテ之ヲ調査セシメサルヲ得ス是レ豈ニ弊ノ大ナルモノニアラザランヤ唯  
 夫レ是ヲ以テ其員數ヲ定メ之カ正ヲ得セシメント欲セハ勢ヒ實驗ニ依テ其最モ  
 中適ナルモノヲ取ラサルヲ得ス英國ノ下議院ハ六百有餘名ヲ以テ之ヲ組成シ其  
 全員既ニ多夥ニ失ス故ニ各員間ニ參席看事ノ事ヲ重セズ唯リ僅ニノ小數相會シ  
 其議事ヲ開クコト多ホシト乾徳モ亦ク吾テ米洲議會ノ爲メ言ヲ爲シテ曰ク下議  
 院議員ノ員數ハ今時ノ數(二百四十人)ヲ以テ既ニ足レリトス惟フニ今ニシテ若シ  
 人口ニ配對スルノ比例ヲ大ニシ議員ノ數ヲ減スルヲ勉メスンハ議員ノ過多ノ  
 弊ヲ生シ討論商議ノ便ヲ失スルニ至ラン夫レ廣ク各邦ノ事情ニ通スルモノヲ會  
 シ周ク人民ノ意想ヲ知ルモノヲ集メ政ノ得失ヲ討論評決セシムルハ議會ヲ起ス  
 ノ本旨ニシテ余固ヨリ之ヲ贊ス然レトモ其會員ノ數ニシテ既ニ之カ本旨ヲ全フ  
 スルニ足ルアラソ乎其加増スルハ必ラス商議ノ便利ヲ與ヘ國土ノ安康ヲ保スル  
 所以ニアラサルナリ嗚呼夫ノ多衆ノ人ヤ設ヒ其選擇ヲ慎ミ其人ヲ得ルアルモ一  
 且之ヲ會シ相築同スルアラハ間ニ情慾ニ制セラレ易ク隨テ其商議ノ精ヲ尽スニ  
 ト能ハサル多ホシト二家ノ言相待テ互ニ發明シ後人ヲシテ其據ル所ヲ失ナハシ

メス今余ヲ以テ之ヲ謂ヘハ一百乃至二百ノ員數稍ニ中適ニ近キヲ覺ユ依テ又例  
 ニ依リ海外諸國ノ典故ヲ按スルニ其要概ヲ左ノ如シ

英國ハ一千八百三十二年(我仁孝帝天保三年)ノ改正法案ヲ以テ英倫ノ諸郡ヲ分  
 ナ別ニ撰舉區ヲ立テ每區各自ニ其代議員ヲ差出スルヲ允ス是ヲ以テ議員差出  
 ノ特權アル區所頗ニ増加シテ八十二所ノ多キニ至リ其代議員モ亦隨テ増加  
 シ遂ニ一百五十九員ニ至レリ又其法案ニ據テ英倫ノ城邑中一千八百三十一年  
 (我天保二年)ニ當テ人口二千人ニ滿タサルモノハ爾來代議員ヲ差出スルノ權利  
 ヲ停止セラレ城邑併セテ五十六箇此代議員併テ一百一十一名ヲ減セリ又當時  
 其人口四千ニ滿タサル城邑三十箇ノ代議員ヲ減シテ各々一名トナシ其人口二  
 万五千以上アル城邑廿二箇ハ各々新ニ二名ノ代議員ヲ差出スルヲ得其人口一  
 万二千人以上アル城邑二十箇ハ各々一人ノ代議員ヲ差出スルノ權ヲ得テリ而  
 シテ蘇格蘭諸府ノ代議員ハ一十五人ヨリ加進シテ二十三人ニ至リ當初英蘇聯  
 合ノ時所定セル代議員ノ數ニ比スルニ實ニ八人ヲ増加セリ而シテ一千八百七  
 十三年(我明治六年)ノ調査ニ據レハ其數合計六百五十八人アリ

李魯士ハ其憲法第六十九條ヲ以テ其員數ヲ一定シ三百五十二人トス  
 佛蘭西第一共和政治ノ時ニ在テハ四万口毎ニ一議官ヲ差出セシメ其統領那破  
 烈翁ノ時ニ在テハ三万五千口毎ニ一議官ヲ撰舉セシム  
 白耳義ハ民口ニ應シテ代議官ノ數ヲ定メ四万人毎ニ一人ノ比例ヲ超越スルヲ  
 許サス一千八百六十九年(我明治二年)ノ調査ニ據ルニ議官ノ數總ヘテ一百十六  
 名トス

朔遷ハ別ニ其制ヲ設ケ地主ノ代議人二十人、都府民ノ代議人二十五人、邑城ノ  
 代議人二十五人、商工ノ代議人五人併セテ七十五人ヲ以テ其代議官ヲ構成ス  
 瑞士ハ人口二万毎ニ一人ノ比例ヲ以テ其國議官ヲ差出シ一千八百七十四年(我  
 明治七年)ノ調査ニ據ルニ議官一百三十五人アリ  
 丁抹ハ人口一万六千毎ニ一人ノ代議官ヲ差出セシメ今實ニ一百零一人アリ  
 埃地利ハ議官ノ數ヲ一定シテ三百三名トシ之ヲ各州ニ配額シテ其所撰ノ員數  
 ヲ定ム

米洲聯邦ハ始メ人口三万毎ニ一人ヲ差出スルノ制ヲ立テシト雖モ人口ノ漸ク

増加スルニ及ンテ勢ヒ其比例ニ依ルヲ得ス中コロ改メテ四万人毎ニ一人ヲ出  
 サシム然レトモ人口年々追フテ増殖シ勢ヒ又前ノ比例ニ據ルヲ得ス即チ又改  
 メテ四万七千七百人ニ一人ヲ出スノ制ヲ立テ現數二百四十八人アリ

第廿六章 議政官ヲ論ス九 下議院ノ組織ヲ論ス五。代議官ハ一地方ノ代人ナル乎將ク全國ノ惣代ナル乎。四大家ノ所説。泰西各土ノ典例。代議官俸銀支給ノ得失。小彌兒、宇兒聖ノ所論。歐米ノ典例。

代議官ハ宜シク撰舉地方人ノ意思ヲ代表スヘキ乎將ク全國人民ノ輿論ヲ表明スヘキ乎撰舉人ノ意見ニ基テ一國ノ政事ヲ議スヘキ乎將ク自己ノ意見ヲ以テ之ヲ決スヘキ乎ハ古今難問ノ一ニ屬シ獨逸聯邦ノ如キハ舊ト議官ヲシテ豫メ撰舉人ノ意見ヲ聽キ之ニ基テ其議ヲ建テシメ宛カモ遣外使臣ノ本國政府ニ於ケルカ如クセシメ英、米ノ如キハ現ニ議官自家ノ主説ヲ以テ直ニ其事ヲ討論スルヲ得セシメ學者互ニ其得失ヲ論シ今殆ント一定ノ説ナキカ如シ

接スルニ此題案ノ難問ナルハ孟的斯鳩早ク既ニ之ヲ知レルカ如シ萬法精理第十一篇第六章ニ謂ヘルアリ曰ク代議人ハ其主撰人ニ就テ大體ノ教誨ヲ受クヘキモノナリト雖モ日耳曼議會ノ如ク每事共訓示ヲ請フハ甚ク無用ノ事ニ屬ス蓋シ每事主撰人ノ訓示ヲ請ハシメ之ヲ以テ發議セシムルヲセハ代議官ノ説能ク一國ノ輿論ヲ表明スルヲ得ソノ利未ダ絶無ナラスト雖モ而モ又無限ノ滯滞ヲ政治ノ上